
小山町子ども・子育て支援事業計画 アンケート調査報告書

2019年8月

小山町

目 次

第1章 アンケート調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の方法及び回収結果	1
(1) 調査対象者と実施概要	1
(2) 回収結果	1
3 注意事項	1
第2章 調査の結果	2
1 回答者の属性について	2
(1) 居住地区	2
(2) 年齢及び学年	2
(3) きょうだいの人数	3
(4) 回答者	3
(5) 回答者の配偶者の有無	4
(6) 主に子育てをしている人	4
2 子どもの育ちをめぐる環境について	5
(1) 子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人	5
(2) 子どもをみてもらえる親族や知人等の有無	6
(3) 祖父母等の親族や友人・知人に子どもをみてもらっている状況	7
(4) 気軽に相談できる場所の有無	9
(5) 相談先	10
3 保護者の就労状況について	11
(1) 保護者の就労状況	11
(2) 就労日数、時間等	13
(3) パート・アルバイト等からフルタイムへの転換希望	15
(4) 就労していない人の就労への希望	16
(5) 幼稚園、保育園、認定こども園などの費用が無償化された場合の働き方	19
(6) 家庭類型	20
4 平日の定期的な幼稚園や保育園などの利用状況	23
(1) 幼稚園や保育園などの利用状況	23
(2) 幼稚園、保育園、認定こども園などの利用状況	24
(3) 平日「定期的に」利用したい事業	30
(4) 幼稚園の強い利用希望	31
5 地域の子育て支援事業の利用状況について	32
(1) 利用している地域子育て支援事業	32
(2) 今後の地域子育て支援事業の利用希望	33
(3) 各種子育て支援事業の認知状況、利用状況、利用意向	34
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な幼稚園や保育園などの利用希望	35
(1) 土曜・休日の利用希望	35
(2) 幼稚園利用者の長期休業中の利用希望	36
7 子どもが病気のときの対応	37
(1) 子どもが病気やケガなどで通園（通学）できなかったこと	37
(2) 通園（通学）できなかった場合の対処方法	38

(3) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望	40
(4) 望ましい事業形態	41
(5) 利用したくない理由	42
(6) 仕事を休んで子どもを看護する希望	43
(7) 休んで看護することが難しい理由【未就学】	43
(8) 休む際の勤め先の理解・対応等【小学生】	44
8 不定期に利用する事業について	45
(1) 保護者が通院、就労等の目的で不定期に利用している事業	45
(2) 利用していない理由	46
(3) 一時預かり等の事業を利用する必要	47
(4) 希望する一時預かり等の事業形態等	50
(5) 泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験	52
9 小学生の放課後の過ごし方	54
(1) 低学年の放課後の過ごし方の現状と希望	54
(2) 高学年の放課後の過ごし方の現状と希望	57
(3) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望	59
(4) 長期休業中の放課後児童クラブの利用希望	60
(5) 放課後児童クラブの利用にあたって感じていること	61
10 未就学児童の小学生になってから希望する放課後の過ごし方	63
(1) 小学生になってからの放課後の過ごさせたい場所	63
(2) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望	65
(3) 長期休業中の放課後児童クラブの利用希望	66
11 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について	67
(1) 未就学：保護者の育児休業の取得状況等	67
(2) 小学生：保護者の育児休業の取得状況	68
(3) 未就学：育児休業の取得について	69
12 子育ての悩みや不安	73
(1) 子育てに関する不安感や負担感	73
(2) 子育てに関して悩んでいること等	74
13 小山町における子育ての環境や支援について	75
(1) 小山町における子育ての環境や支援への満足度	75
(2) 子育てに関して地域の人に望むこと	77
(3) 保護者同士のつながり	79
(4) 町に期待する子育て支援施策	81

第1章 アンケート調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「小山町子ども・子育て支援事業計画」の見直し及び策定に向け、その基礎資料とするために、小山町に在住の未就学児童及び小学生児童のいる世帯を対象に、教育・保育や地域子ども・子育て支援事業の利用状況や利用希望を把握することを目的として実施しました。

2 調査の方法及び回収結果

(1) 調査対象者と実施概要

調査の対象者	①未就学児童のいる世帯 ②小学生児童のいる世帯
調査対象地域	小山町全域
調査形式	アンケート調査
配布・回収方法	・未就学児童のいる世帯：就園児→園経由にて配布・回収 未就園児→郵送にて配布・回収 ・小学生児童のいる世帯：町内小学生→学校経由にて配布・回収 町外小学生→郵送にて配布・回収
調査期間	2019年2月

(2) 回収結果

	配布数	回収数	回収率
未就学児童調査	700件	497件	71.0%
小学生児童調査	710件	615件	86.6%

3 注意事項

- 比率は小数点以下第2位を四捨五入しており、合計が100.0%とならないこともあります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っています。このため、比率計が100.0%を超えることがあります。
- グラフの（n=〇〇）という表記は、number of case の略であり、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数）を表しています。
- 調査の分析にあたっては、年齢別など特徴的な傾向がみられたクロス集計を掲載します。クロス集計表の表側（分類層）は、非該当を表記していないため、各層の実数と集計対象総数が一致しないことがあります。
- 「無回答」には不明回答を含みます。
- 回答数が30件未満の場合は比率が上下しやすいため、参考値として掲載するにとどめるものとします。
- 集計及び分析にあたっては、未就学児童調査を「未就学」、小学生児童調査を「小学生」と表記しています。

第2章 調査の結果

1 回答者の属性について

(1) 居住地区

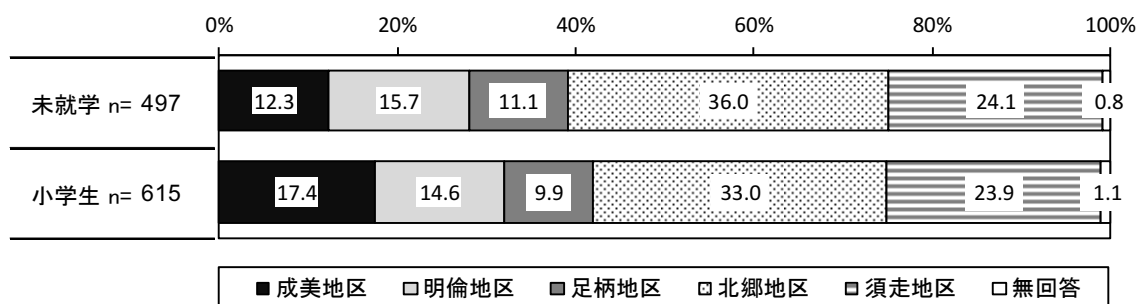
未就学 問1 お住まいの地区をご記入ください。

- 居住地区は、「北郷地区（36.0%）」が最も多く、次いで「須走地区（24.1%）」となり、「明倫地区（15.7%）」及び「成美地区（12.3%）」「足柄地区（11.1%）」は1割台となっています。

小学生 問1 お住まいの地区をご記入ください。

- 居住地区は、「北郷地区（33.0%）」が多数を占め、次いで「須走地区（23.9%）」となり、「成美地区（17.4%）」及び「明倫地区（14.6%）」「足柄地区（9.9%）」は1～2割弱となっています。

居住地区



(2) 年齢及び学年

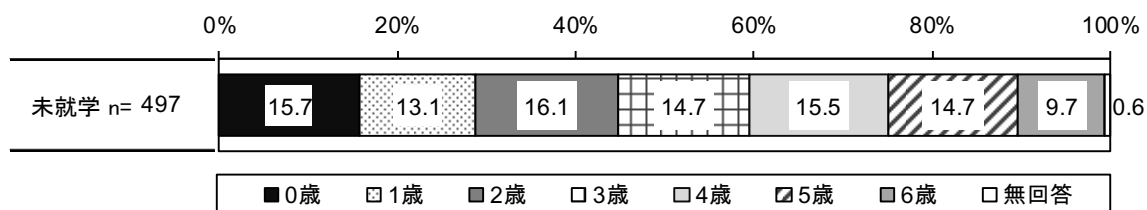
未就学 問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。（□内に数字で記入）

- 年齢はほぼ均等に分布していますが、「6歳（9.7%）」がやや少なく、その他の年齢は1割台半ばとなっています。

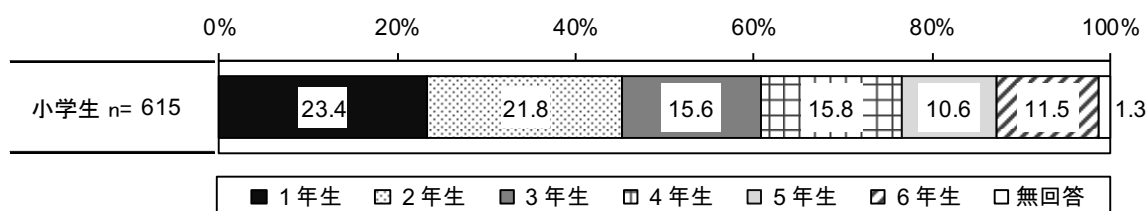
小学生 問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。（□内に数字で記入）※学年

- 学年は、「1年生（23.4%）」が最も多く、次いで「2年生（21.8%）」となり、その他の学年は1割台となっています。

【未就学】年齢



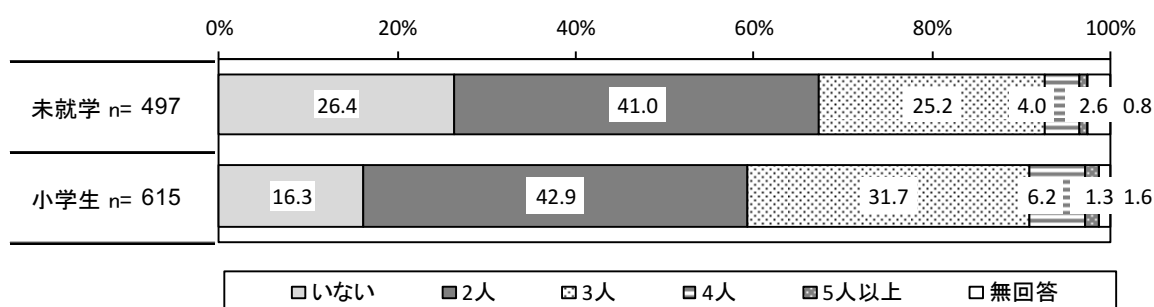
【小学生】学年



(3) きょうだいの人数

未就学	問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。（口内に数字で記入）
● きょうだいの人数は、「2人（41.0%）」が最も多く、次いで「いない（26.4%）」「3人（25.2%）」となっています。	
小学生	問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。（口内に数字で記入）
● きょうだいの人数は、「2人（42.9%）」が最も多く、次いで「3人（31.7%）」「いない（16.3%）」となっています。	

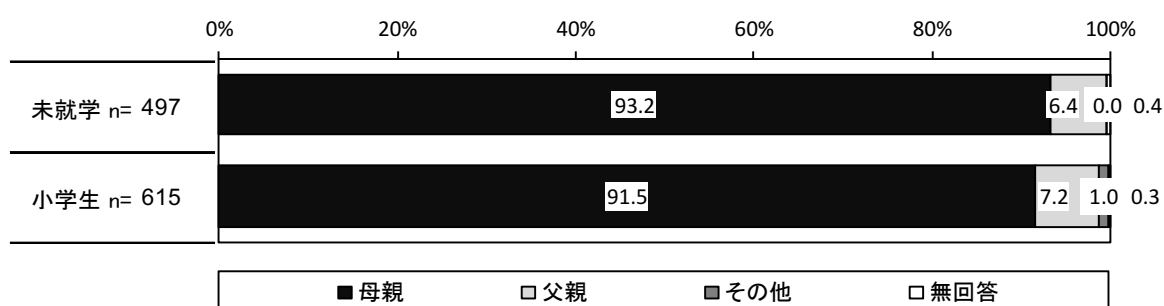
きょうだいの人数



(4) 回答者

未就学	問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（当てはまる番号1つに○）
● 回答者は、「母親（93.2%）」が多数を占め、「父親（6.4%）」は1割を割っています。	
小学生	問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（当てはまる番号1つに○）
● 回答者は、「母親（91.5%）」が多数を占め、「父親（7.2%）」は1割を割っています。	

回答者

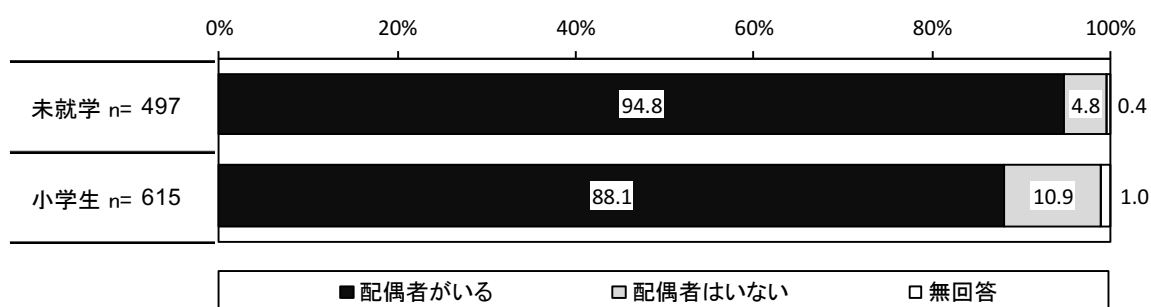


第2章 調査の結果

(5) 回答者の配偶者の有無

未就学	問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（当てはまる番号1つに○）
回答者の配偶者の有無については、「配偶者がいる（94.8%）」が多数を占め、「配偶者はいない（4.8%）」はわずかとなっています。	
小学生	問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。（当てはまる番号1つに○）
回答者の配偶者の有無については、「配偶者がいる（88.1%）」が多数を占め、「配偶者はいない（10.9%）」は約1割となっています。	

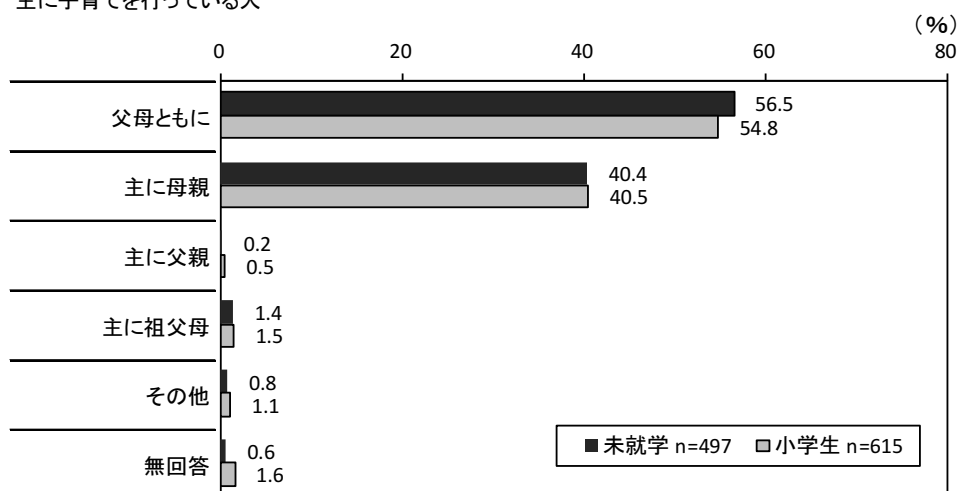
回答者の配偶者の有無



(6) 主に子育てをしている人

未就学	問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（当てはまる番号1つに○）
主に子育てをしている人は、「父母ともに（56.5%）」が最も多く、次いで「主に母親（40.4%）」となっています。	
小学生	問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（当てはまる番号1つに○）
主に子育てをしている人は、「父母ともに（54.8%）」が最も多く、次いで「主に母親（40.5%）」となっています。	

主に子育てを行っている人

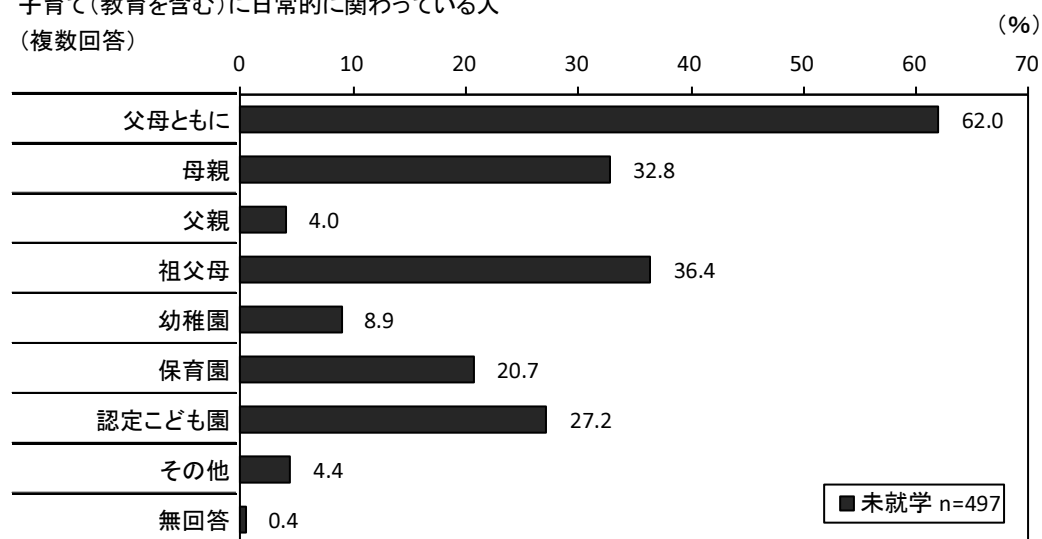


2 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人

未就学	問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（当てはまる番号すべてに○）
● 子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人は、「父母ともに（62.0%）」が最も多く、次いで「祖父母（36.4%）」「母親（32.8%）」「認定こども園（27.2%）」となっています。 ● 年齢別では、0歳・1歳は「母親」が4割台と比較的比率が高くなっています。「父母ともに」は、年齢が上がるほど比率が上昇する傾向がみられます。	

子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人
（複数回答）



(件,%)

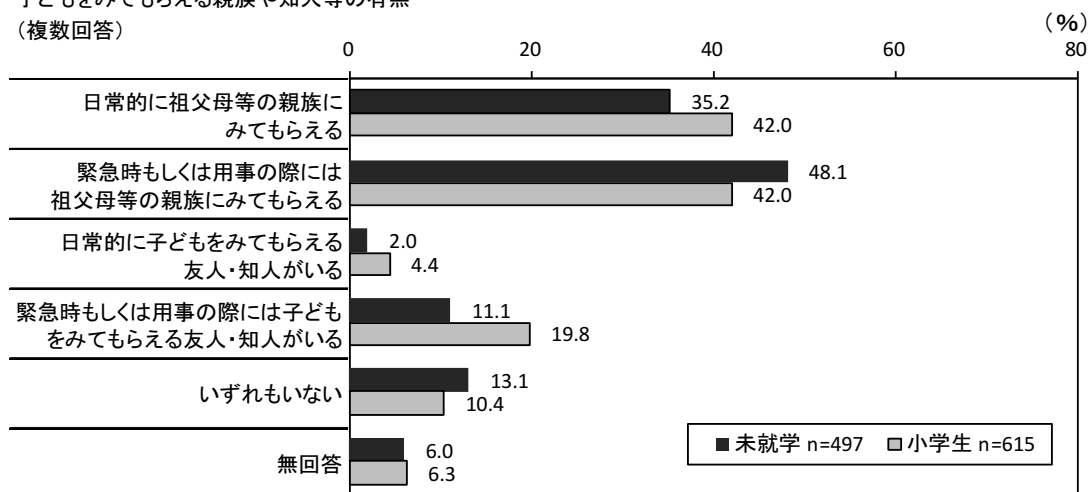
		件数 (n)	父母ともに	母親	父親	祖父母	幼稚園
全体		497	62.0	32.8	4.0	36.4	8.9
年齢別	0歳	78	53.8	46.2	1.3	24.4	-
	1歳	65	55.4	43.1	7.7	32.3	1.5
	2歳	80	63.8	28.8	2.5	35.0	-
	3歳	73	58.9	31.5	2.7	30.1	2.7
	4歳	77	68.8	23.4	3.9	51.9	16.9
	5歳	73	65.8	28.8	6.8	38.4	21.9
	6歳	48	68.8	27.1	4.2	45.8	25.0
		件数 (n)	保育園	認定こども園	その他	無回答	
全体		497	20.7	27.2	4.4	0.4	
年齢別	0歳	78	3.8	5.1	1.3	-	
	1歳	65	9.2	18.5	7.7	-	
	2歳	80	26.3	32.5	5.0	-	
	3歳	73	24.7	27.4	4.1	1.4	
	4歳	77	33.8	35.1	3.9	1.3	
	5歳	73	24.7	38.4	4.1	-	
	6歳	48	22.9	37.5	6.3	-	

第2章 調査の結果

(2) 子どもをみてもらえる親族や知人等の有無

未就学	問8 保育園等施設の利用の有無に関わらず、日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族や友人・知人はいますか。（当てはまる番号すべてに○）
- 子どもをみてもらえる親族や知人等の有無については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる（48.1%）」が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる（35.2%）」となり、「いずれもない（13.1%）」が1割強となっています。 - 地区別では、須走地区は「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が1割強にとどまり、「いずれもない」が約3割となっています。	
小学生	問7 保育園等施設の利用の有無に関わらず、日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族や友人・知人はいますか。（当てはまる番号すべてに○）
- 子どもをみてもらえる親族や知人等の有無については、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる（42.0%）」及び「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる（42.0%）」が同率で最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる（19.8%）」となり、「いずれもない（10.4%）」は約1割となっています。 - 地区別では、須走地区は「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が2割を割り、「いずれもない」が約3割となっています。	

子どもをみてもらえる親族や知人等の有無
(複数回答)



(件,%)

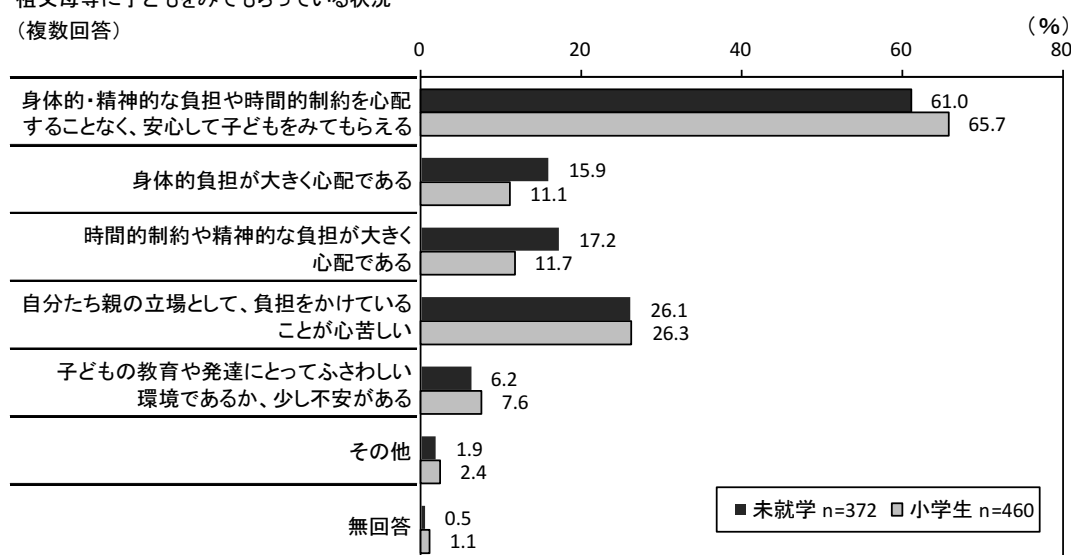
		件数 (n)	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
未就学	全体	374	27.4	81.1	38.2	12.0	-	-
	地区別							
	成美地区	61	49.2	42.6	1.6	6.6	9.8	9.8
	明倫地区	78	39.7	50.0	-	3.8	9.0	7.7
	足柄地区	55	41.8	49.1	1.8	7.3	5.5	9.1
	北郷地区	179	41.3	56.4	1.7	10.1	6.7	3.9
小学生	全体	615	42.0	42.0	4.4	19.8	10.4	6.3
	地区別							
	成美地区	107	48.6	34.6	6.5	20.6	8.4	5.6
	明倫地区	90	50.0	42.2	5.6	17.8	4.4	6.7
	足柄地区	61	45.9	47.5	4.9	16.4	8.2	8.2
	北郷地区	203	50.2	51.7	3.4	19.2	1.5	3.4
須走地区		147	19.0	32.0	3.4	23.8	29.3	7.5

(3) 祖父母等の親族や友人・知人に子どもをみてもらっている状況

① 祖父母等に子どもをみてもらっている状況

未就学	問8-1 祖父母等の親族や友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(1)(2)それぞれ、当てはまる番号すべてに○) (1)問8で「1.」または「2.」を回答した祖父母等の親族に預かってもらえる方
● 祖父母等に子どもをみてもらっている状況については、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる(61.0%)」が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい(26.1%)」となっています。	
小学生	問7 保育園等施設の利用の有無に関わらず、日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族や友人・知人はいますか。(当てはまる番号すべてに○)
● 祖父母等に子どもをみてもらっている状況については、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる(65.7%)」が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい(26.3%)」となっています。	

祖父母等に子どもをみてもらっている状況
(複数回答)



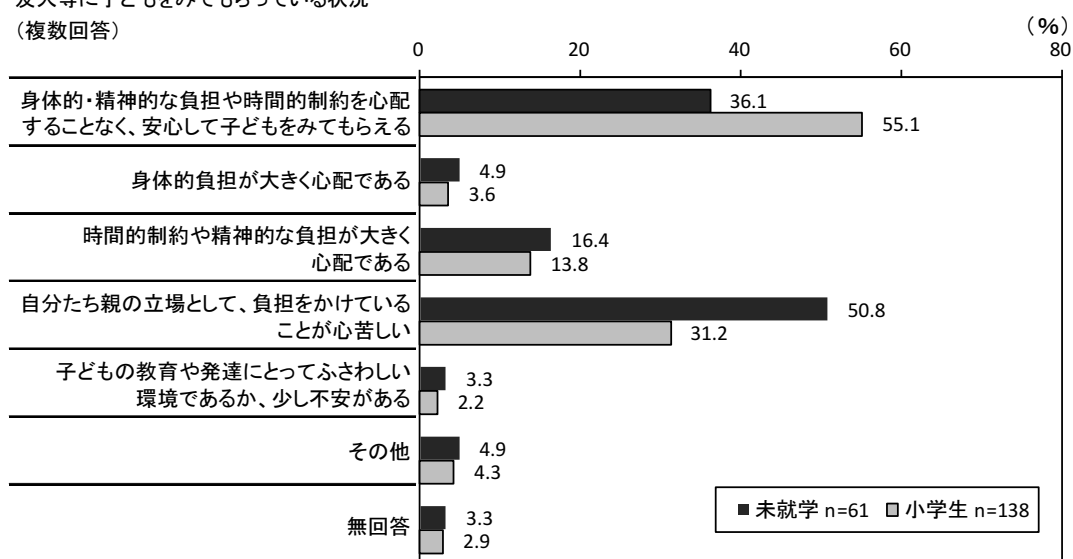
第2章 調査の結果

② 友人等に子どもをみてもらっている状況

未就学	(2) 問8で「3.」または「4.」を回答した	友人・知人に預かってもらえる方
● 友人等に子どもをみてもらっている状況については、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい(50.8%)」が最も多く、次いで「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる(36.1%)」となっています。		
小学生	(2) 問8で「3.」または「4.」を回答した	友人・知人に預かってもらえる方
● 友人等に子どもをみてもらっている状況については、「身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる(55.1%)」が最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい(31.2%)」となっています。		

友人等に子どもをみてもらっている状況

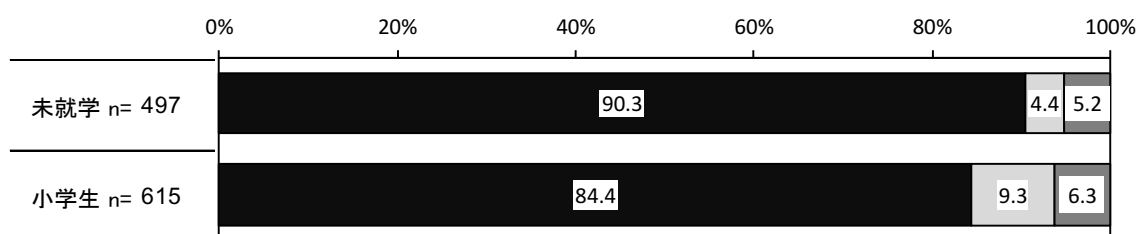
(複数回答)



(4) 気軽に相談できる場所の有無

未就学	問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談、または相談できる場所がありますか。（当てはまる番号1つに○）
● 気軽に相談できる場所の有無については、「ある（90.3%）」が大多数となっていますが、「ない（4.4%）」も若干みられます。 ● 地区別では、須走地区は「ある」が8割強となり、他地区よりもやや低い比率となっています。	
小学生	問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談、または相談できる場所がありますか。（当てはまる番号1つに○）
● 気軽に相談できる場所の有無については、「ある（84.4%）」が大多数となっていますが、「ない（9.3%）」も約1割みられます。 ● 地区別では、足柄地区は「ある」が8割弱となり、他地区よりもやや低い比率となっています。	

気軽に相談できる場所の有無



■ ある □ ない ■ 無回答
(件,%)

		未就学				小学生			
		件数 (n)	ある	ない	無回答	件数 (n)	ある	ない	無回答
全体		374	90.3	4.4	5.2	615	84.4	9.3	6.3
地区別	成美地区	61	93.4	1.6	4.9	107	83.2	12.1	4.7
	明倫地区	78	92.3	3.8	3.8	90	85.6	8.9	5.6
	足柄地区	55	89.1	7.3	3.6	61	77.0	9.8	13.1
	北郷地区	179	93.3	1.1	5.6	203	88.7	6.9	4.4
	須走地区	120	83.3	10.0	6.7	147	83.0	10.2	6.8

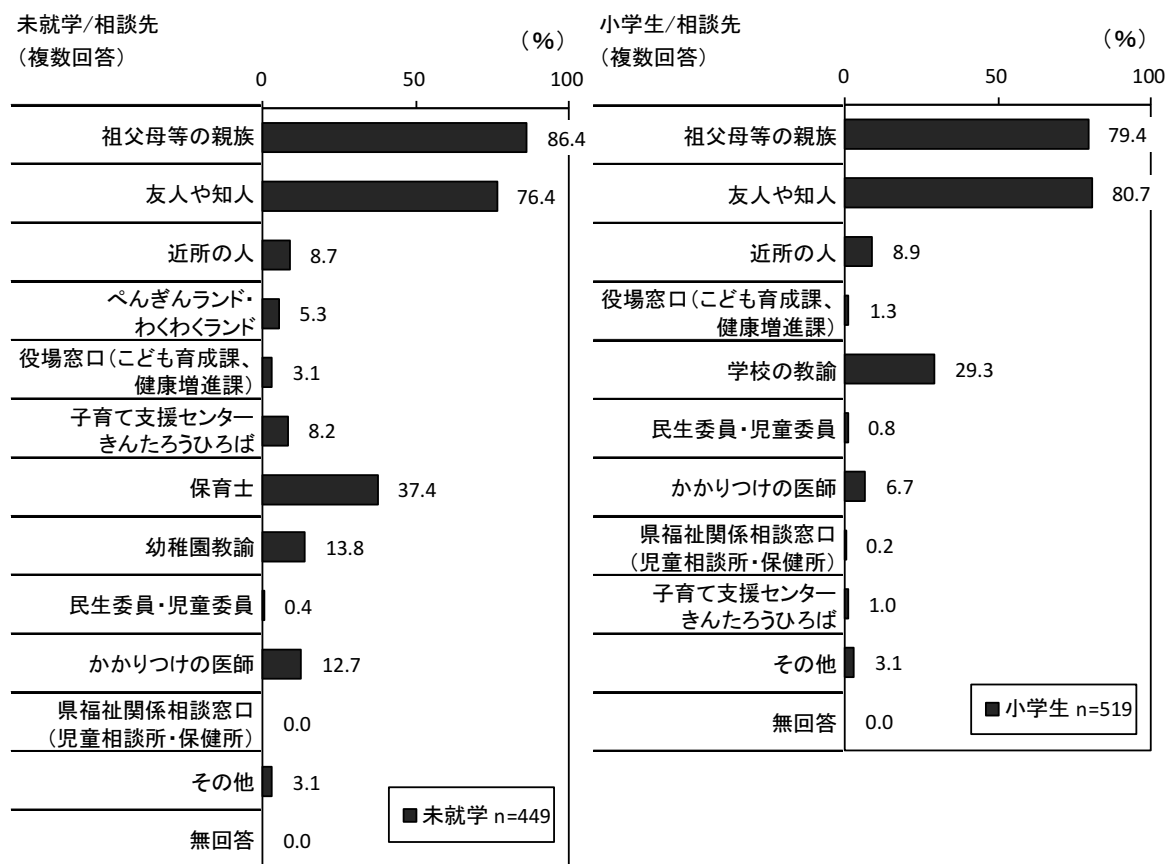
(件,%)

	未就学		小学生	
	今回	前回 n=692	今回 n=615	前回 n=514
ある	90.3	90.2	84.4	92.6
ない	4.4	3.6	9.3	4.9
無回答	5.2	6.2	6.3	2.5

第2章 調査の結果

(5) 相談先

未就学	問9で「1. ある」に○をつけた方にうかがいます。 問9-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（当てはまる番号すべてに○）
	● 相談先は、「祖父母等の親族（86.4%）」が最も多く、次いで「友人や知人（76.4%）」「保育士（37.4%）」となっています。
小学生	問8で「1. ある」に○をつけた方にうかがいます。 問8-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（当てはまる番号すべてに○）
	● 相談先は、「友人や知人（80.7%）」及び「祖父母等の親族（79.4%）」が約8割と多く、次いで「学校の教諭（29.3%）」となっています。

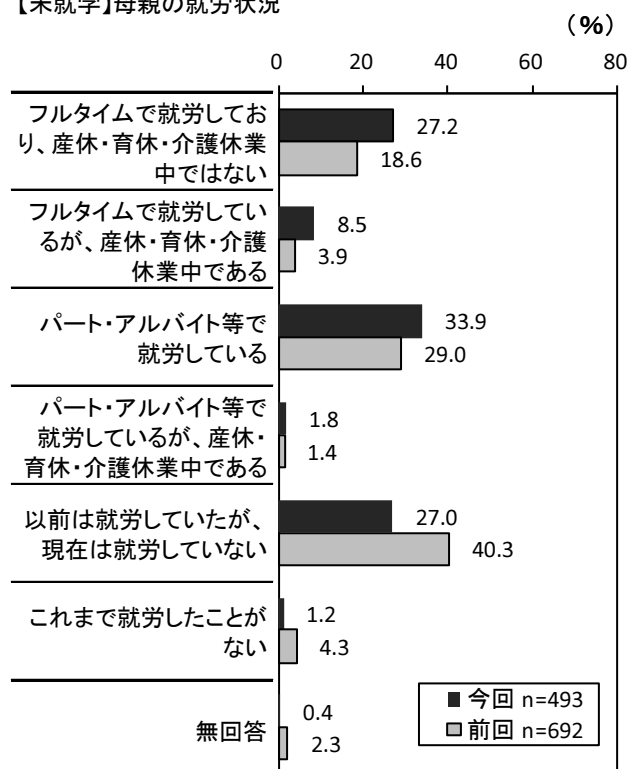


3 保護者の就労状況について

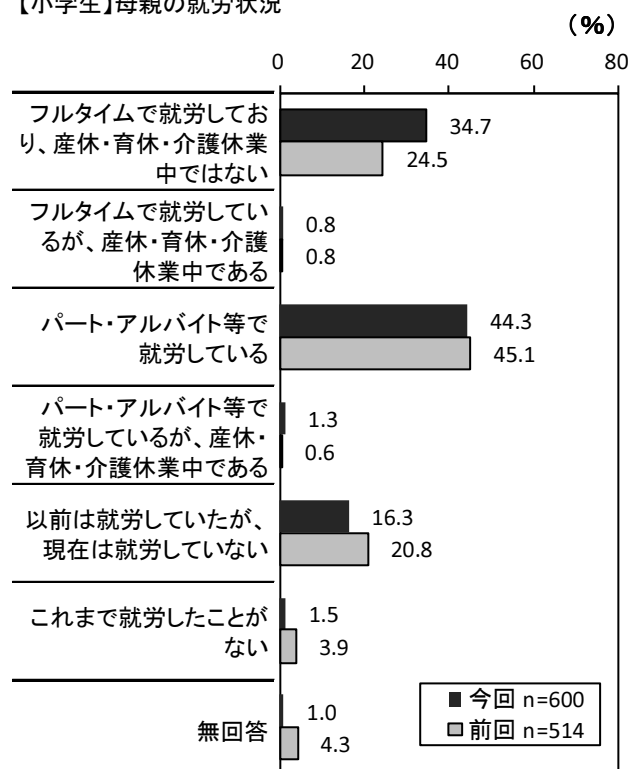
(1) 保護者の就労状況

未就学	問 10 宛名のお子さんの保護者の、現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。（①母親、②父親それぞれ、当てはまる番号 1 つに○）
● 母親の就労状況については、「パート・アルバイト等で就労している（33.9%）」が最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（27.2%）」「以前は就労していたが、現在は就労していない（27.0%）」がとなっています。 ● 前回と比較すると、母親は就労している比率が上昇しており、中でも「フルタイムで就労している」は 8.6 ポイントと大きく上昇しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は 13.3 ポイント低下しています。	
小学生	問 10 宛名のお子さんの保護者の、現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。（①母親、②父親それぞれ、当てはまる番号 1 つに○）
● 母親の就労状況については、「パート・アルバイト等で就労している（44.3%）」が最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（34.7%）」「以前は就労していたが、現在は就労していない（16.3%）」がとなっています。 ● 前回と比較すると、母親は就労している比率が上昇しており、中でも「フルタイムで就労している」は 10.2 ポイントと大きく上昇しています。一方、「以前は就労していたが、現在は就労していない」は 4.5 ポイント低下しています。	

【未就学】母親の就労状況



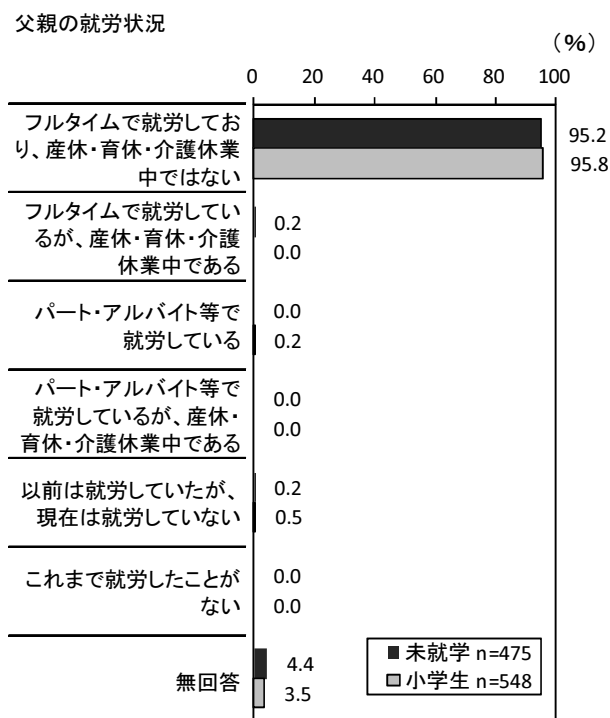
【小学生】母親の就労状況



第2章 調査の結果

【父親】

未就学	● 父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（95.2%）」が大多数を占めています。
小学生	● 父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（95.8%）」が大多数を占めています。

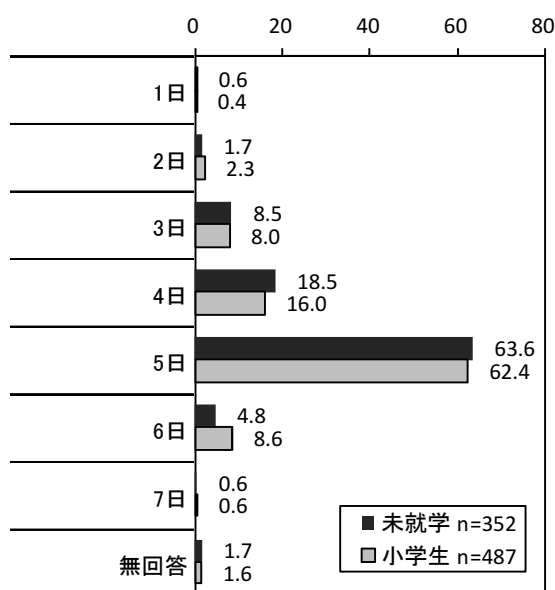


(2) 就労日数、時間等

未就学	問 10①②で「1. ～ 4. 」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
	問 10-1 1週当たりの「就労日数」及び1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」と「帰宅時刻」をお答えください。(①母親、②父親それぞれ、□内に数字で記入)
● 母親の週当たりの就労日数は、「5日(63.6%)」が最も多く、1日当たりの就労時間は「8～10時間未満(40.1%)」が多くなっています。 ● 家を出る時間は、「7時台」「8時台」が多く、帰宅時間は「16～17時台」「18～19時台」が多くなっています。	
小学生	問 9①②で「1. ～ 4. 」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
	問 9-1 1週当たりの「就労日数」及び1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」と「帰宅時刻」をお答えください。(①母親、②父親それぞれ、□内に数字で記入)
● 母親の週当たりの就労日数は、「5日(62.4%)」が最も多く、1日当たりの就労時間は「8～10時間未満(35.5%)」が多くなっています。 ● 家を出る時間は、「8時台」が最も多く、「7時台」も多くなっています。帰宅時間は「16～17時台」が最も大奥、「18～19時台」も多くなっています。	

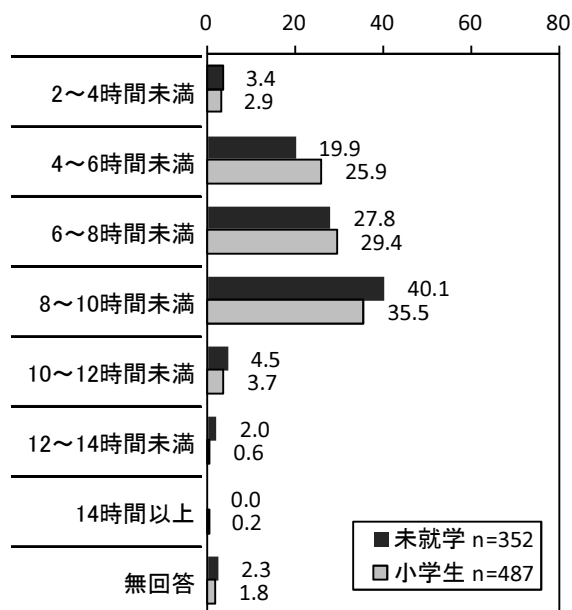
母親:週当たりの就労日数

(%)



母親:1日当たりの就労時間

(%)



(件)

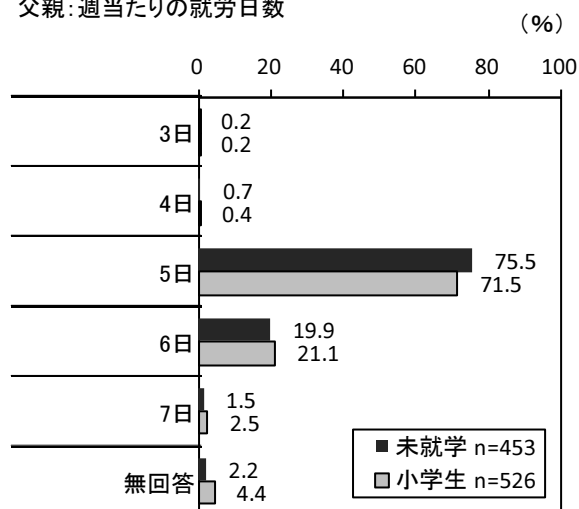
未就学				小学生			
家を出る時間	件数	帰宅時間	件数	家を出る時間	件数	帰宅時間	件数
5時台	1	0時台	1	3～4時台	2	0～2時台	4
6時台	8	8時台	2	5時台	2	3～5時台	2
7時台	125	12～13時台	14	6時台	15	6～8時台	5
8時台	163	14～15時台	59	7時台	158	9～11時台	4
9時台	31	16～17時台	132	8時台	241	12～13時台	32
10時台	7	18～19時台	115	9時台	41	14～15時台	109
15時台	1	20～21時台	10	10時台	7	16～17時台	165
17時台	1	22～23時台	2	12時台	2	18～19時台	136
19時台	1	無回答	17	15時台	1	20～21時台	8
無回答	14	合計	352	17時台	1	22～23時台	1
合計	352			19時台	1	無回答	21
				無回答	16	合計	487
				合計	487		

第2章 調査の結果

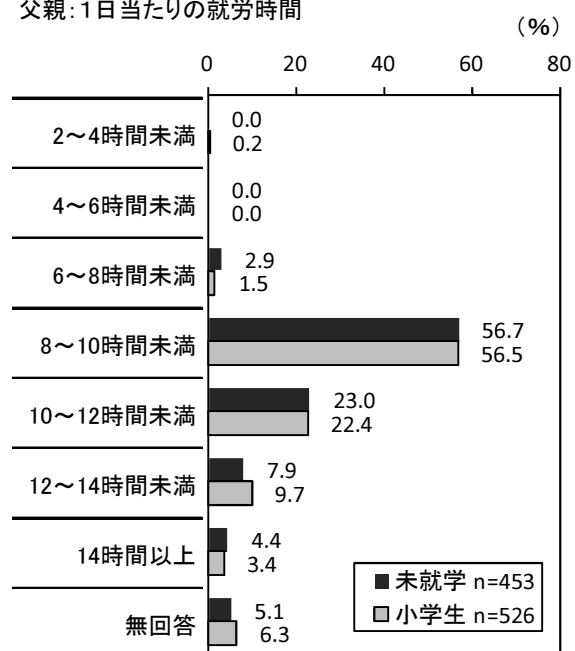
【父親】

未就学	● 父親の週当たりの就労日数は、「5日（75.5%）」が最も多く、1日当たりの就労時間は「8～10 時間未満（56.7%）」が多くなっています。 ● 家を出る時間は、「7 時台」が最も多く、次いで「6 時台」となっています。帰宅時間は「18～19 時台」が最も多く、「20～21 時台」も多くなっています。
小学生	● 父親の週当たりの就労日数は、「5日（71.5%）」が最も多く、1日当たりの就労時間は「8～10 時間未満（56.5%）」が多くなっています。 ● 家を出る時間は、「7 時台」が最も多く、次いで「6 時台」となっています。帰宅時間は「18～19 時台」が最も多く、「20～21 時台」も多くなっています。

父親：週当たりの就労日数



父親：1日当たりの就労時間



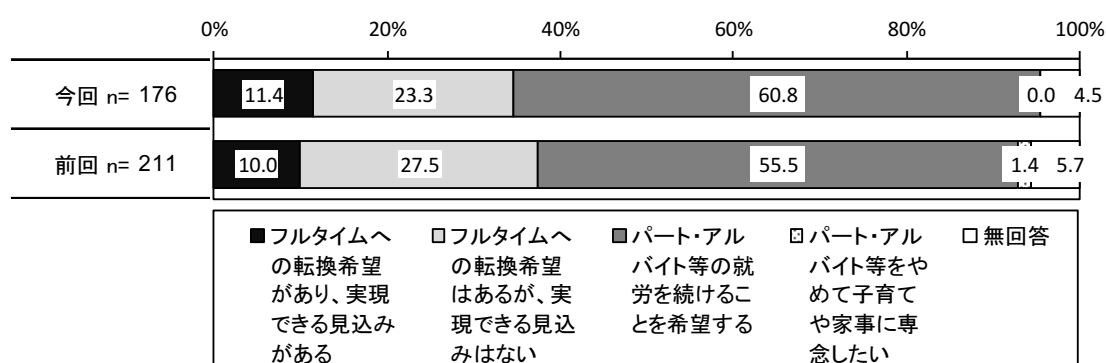
(件)

未就学				小学生			
家を出る時間	件数	帰宅時間	件数	家を出る時間	件数	帰宅時間	件数
0～4時台	6	0～2時台	8	0～4時台	5	0～2時台	5
5時台	11	3～5時台	0	5時台	15	3～5時台	2
6時台	94	6～8時台	9	6時台	120	6～8時台	8
7時台	233	9～11時台	3	7時台	264	9～11時台	7
8時台	69	12～13時台	0	8時台	65	12～13時台	1
9時台	9	14～15時台	1	9時台	12	14～15時台	3
10時台	3	16～17時台	46	10時台	1	16～17時台	63
13時台	2	18～19時台	233	12時台	5	18～19時台	253
18時台	1	20～21時台	100	15～17時台	4	20～21時台	108
無回答	25	22～23時台	28	18～20時台	1	22～23時台	39
合計	453	無回答	25	21～23時台	1	無回答	37
		合計	453	無回答	33	合計	526
				合計	526		

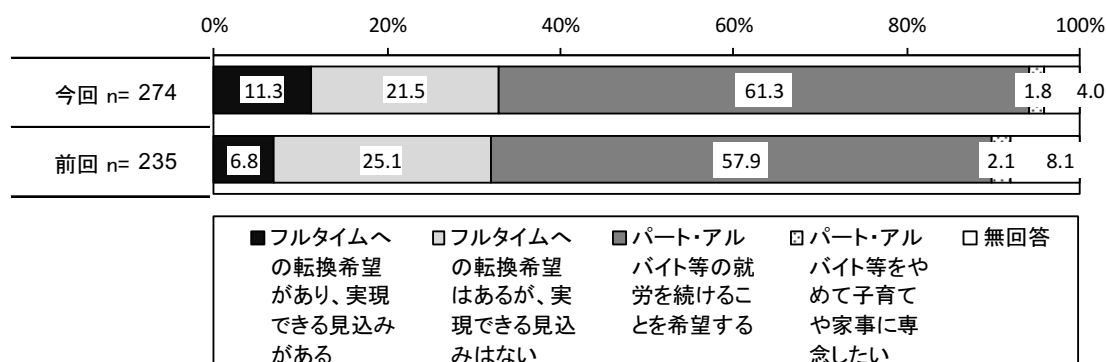
(3) パート・アルバイト等からフルタイムへの転換希望

未就学	問10①②で、「3. 4. 」(パート・アルバイト等で就労)に○をつけた方にうかがいます。 問 10-2 フルタイムへの転換希望はありますか。(①母親、②父親それぞれ、当てはまる番号1つに○) ● 母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する(60.8%)」が最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない(23.3%)」「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある(11.4%)」となっています。 ● 前回と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」は 5.3 ポイント上昇しています。 ● 父親については、対象者がいません。
小学生	問9①②で、「3. 4. 」(パート・アルバイト等で就労)に○をつけた方にうかがいます。 問 9-2 フルタイムへの転換希望はありますか。(①母親、②父親それぞれ、当てはまる番号1つに○) ● 母親のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する(61.3%)」が最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない(21.5%)」「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある(11.3%)」となっています。 ● 前回と比較すると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」は 3.4 ポイント上昇しています。 ● 父親は回答対象者数がわずかなため、参考値として件数表を表示します。

【未就学】母親：フルタイムへの転換希望



【小学生】母親：フルタイムへの転換希望



父親：フルタイムへの転換希望

(件)

	合計	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	無回答
未就学	0	0	0	0	0	0
小学生	1	0	0	1	0	0

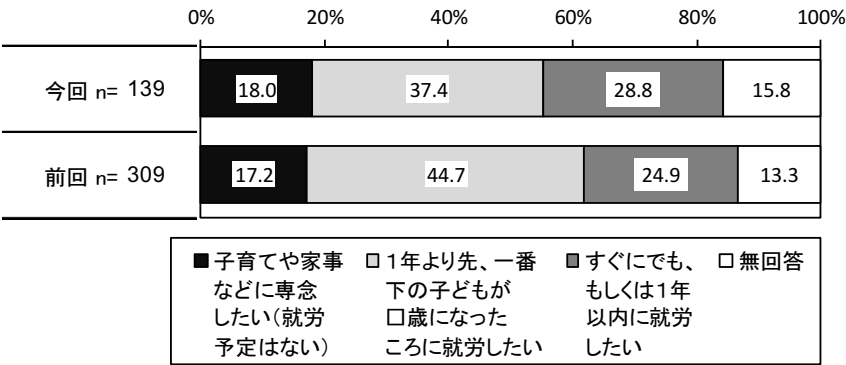
第2章 調査の結果

(4) 就労していない人の就労への希望

① 就労していない人の就労への希望

未就学	問 10①②で、「5. 6.」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。 問 10-3 就労したいという希望はありますか。（①母親、②父親それぞれ、当てはまる番号1つに○／「2.」を選択した方は年齢を□内に数字で記入）
- 就労していない母親の就労への希望は、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい（37.4%）」が最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい（28.8%）」「子育てや家事などに専念したい（就労予定はない）（18.0%）」となっています。 なお、1年より先に就労したいと思う人は、一番下の子どもの年齢が2～3歳になった時が最も多くなっています。 - 前回と比較すると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は3.9ポイント上昇しています。一方、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい」は7.3ポイント低下しています。 - 父親は回答対象者数がわずかなため、参考値として件数表を表示します。	

【未就学】母親：就労していない人の就労への希望



働き始めたいと思う一番下の子どもの年齢(件)

母親	
未就学	
年齢	件数
0～1歳	3
2～3歳	18
4～5歳	11
6～7歳	16
8～9歳	1
10歳	2
無回答	1
合計	52

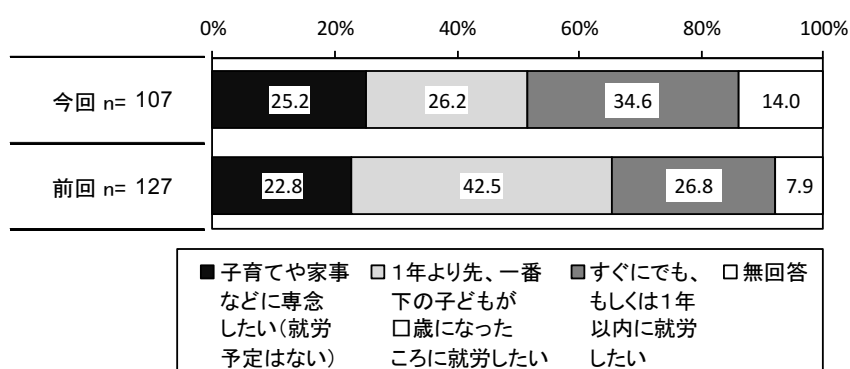
父親：就労していない人の就労への希望

(件)

	合計	子育てや家事などに専念したい(就労予定はない)	1年より先、一番下の子どもが□歳になったころに就労したい	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	無回答
未就学	1	0	0	1	0

小学生	問9①②で、「5. 6.」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。 問9-3 就労したいという希望はありますか。（①母親、②父親それぞれ、当てはまる番号1つに○／「2.」を選択した方は年齢を□内に数字で記入）
● 就労していない母親の就労への希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい（34.6%）」が最も多く、次いで「1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい（26.2%）」「子育てや家事などに専念したい（就労予定はない）（25.2%）」となっています。 なお、1年より先に就労したいと思う人は、一番下の子どもの年齢が6～7歳になった時が最も多くなっています。 ● 前回と比較すると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は7.8ポイント上昇しています。一方、「1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい」は16.3ポイント低下しています。 ● 父親は回答対象者数がわずかなため、参考値として件数表を表示します。	

【小学生】母親：就労していない人の就労への希望



働き始めたいと思う一番下の子どもの年齢(件)

母親	
小学生	
年齢	件数
0～1歳	0
2～3歳	7
4～5歳	4
6～7歳	11
8～9歳	3
10歳	2
13歳	1
無回答	0
合計	28

父親：就労していない人の就労への希望

	合計	子育てや家事などに専念したい(就労予定はない)	1年より先、一番下の子どもが□歳になったところに就労したい	すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	無回答
小学生	3	1	0	1	1

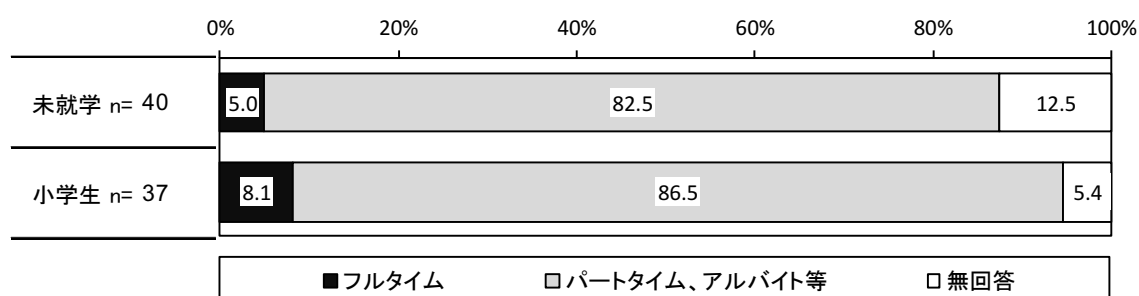
(件)

第2章 調査の結果

② 希望する就労形態

未就学	問 10-3①②で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。 問 10-3(1) 希望する就労形態についてお答えください。(①母親、②父親それぞれ、当てはまる番号1つに○/「2. パートタイム、アルバイト等」を選択された方は、希望する就労条件について□内に数字で記入)
	● 母親の希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等(82.5%)」が多数を占め、「フルタイム(5.0%)」はわずかとなっています。 ● 父親は回答対象者数がわずかなため、参考値として件数表を表示します。 なお、パートタイム、アルバイト等希望する就労条件は、週当たり「3日」及び「4日」、1日当たり「5～6時間未満」の希望が多くなっています。
小学生	問 9-3①②で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。 問 9-3(1) 希望する就労形態についてお答えください。(①母親、②父親それぞれ、当てはまる番号1つに○/「2. パートタイム、アルバイト等」を選択された方は希望する就労条件について□内に数字で記入)
	● 母親の希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等(86.5%)」が多数を占め、「フルタイム(8.1%)」はわずかとなっています。 ● 父親は回答対象者数がわずかなため、参考値として件数表を表示します。 なお、パートタイム、アルバイト等希望する就労条件は、週当たり「5日」、1日当たり「5～6時間未満」の希望が多くなっています。

母親：希望する就労形態



母親：希望する就労条件

(件)

未就学				小学生			
週当たりの日数		1日当たりの時間		週当たりの日数		1日当たりの時間	
日数	件数	時間	件数	日数	件数	時間	件数
2日	1	3～4時間未満	1	2日	3	3～4時間未満	0
3日	12	4～5時間未満	8	3日	9	4～5時間未満	8
4日	11	5～6時間未満	17	4日	7	5～6時間未満	16
5日	9	6～7時間未満	5	5日	12	6～7時間未満	4
無回答	0	7～8時間未満	1	無回答	1	7～8時間未満	3
合計	33	8～9時間未満	1	合計	32	8～9時間未満	0
		無回答	0			無回答	1
		合計	33			合計	32

父親：希望する就労形態

(件)

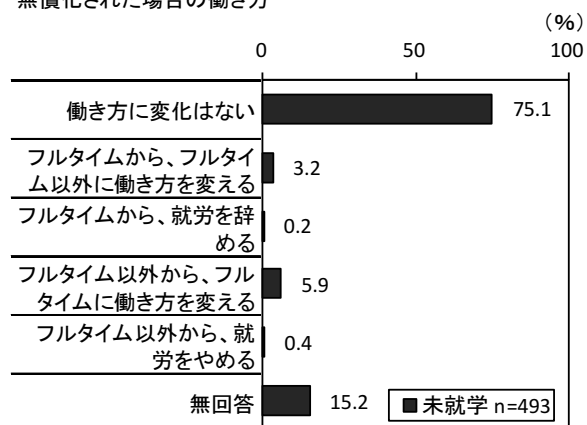
	合計	フルタイム	パートタイム、アルバイト等	無回答
未就学	1	1	0	0
小学生	1	1	0	0

(5) 幼稚園、保育園、認定こども園などの費用が無償化された場合の働き方

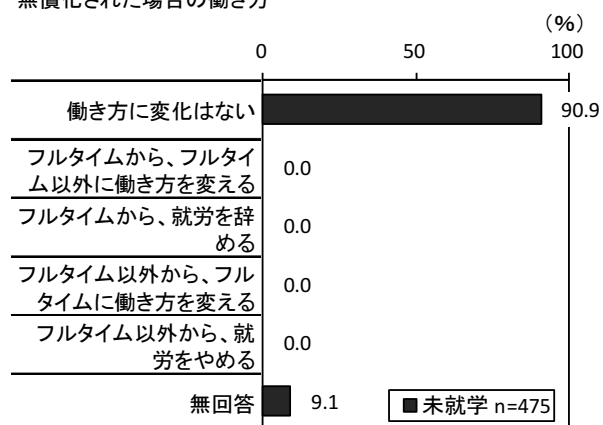
未就学 問 10-4 幼稚園、保育園、認定こども園などの費用が無償化された場合、働き方に変化がありますか。(①母親、②父親それぞれ、当てはまる番号1つに○)

- 幼稚園、保育園、認定こども園などの費用が無償化された場合の働き方は、母親は「働き方に変化はない(75.1%)」が多数を占めています。
- 父親は、「働き方に変化はない(90.9%)」が多数を占めています。

母親:幼稚園、保育園、認定こども園などの費用が無償化された場合の働き方



父親:幼稚園、保育園、認定こども園などの費用が無償化された場合の働き方



第2章 調査の結果

(6) 家庭類型

ニーズ調査の結果を活用し、現状の就労状況等からみる家庭類型（父親・母親の同居状況や就労状況から家庭の状況を分類したもの）を行いました。また、潜在の家庭類型は、今後の就労希望に基づいて分類を行いました。

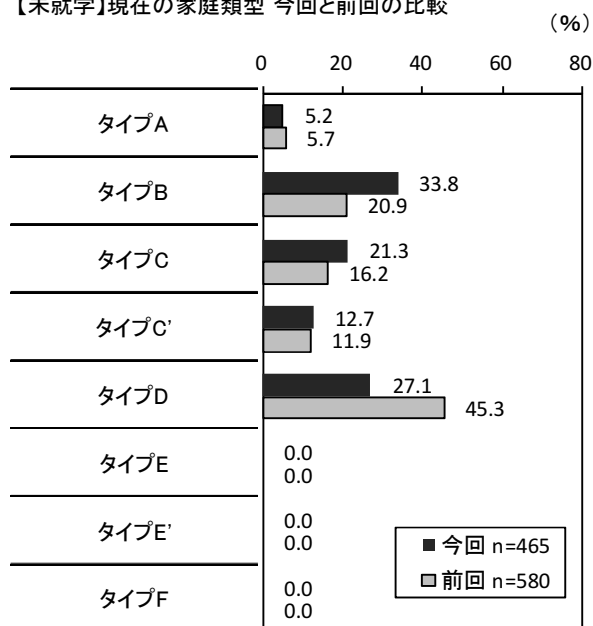
《家庭類型の種類》

タイプ	父母の有無と就労状況
タイプ A	ひとり親家庭
タイプ B	フルタイム×フルタイム
タイプ C	フルタイム×パートタイム (就労時間: 月 120 時間以上 + 下限時間～120 時間の一部)
タイプ C'	フルタイム×パートタイム (就労時間: 月 下限時間未満 + 下限時間～120 時間の一部)
タイプ D	専業主婦(夫)
タイプ E	パートタイム×パートタイム (就労時間: 双方が月 120 時間以上 + 下限時間～120 時間の一部)
タイプ E'	パートタイム×パートタイム (就労時間: いずれかが月 下限時間未満 + 下限時間～120 時間の一部)
タイプ F	無職×無職

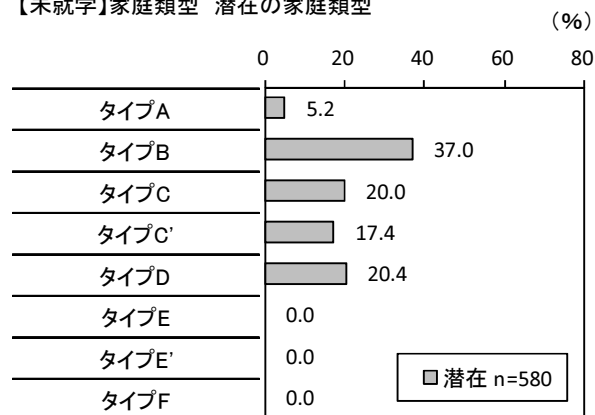
未就学

- 現在の家庭類型は、「タイプ B(33.8%)」が最も多く、次いで「タイプ D(27.1%)」「タイプ C (21.3%)」となっています。
- 前回と比較すると、「タイプ B」は 12.9 ポイント上昇するなど、母親の就労率は全体的に上昇しています。一方「タイプ D」は、前回よりも 18.2 ポイント低下しています。
- 潜在の家庭類型は、「タイプ B (37.0%)」が最も多く、現在の家庭類型よりも 3.2 ポイント上回り、「タイプ D (20.4%)」は現在の家庭類型よりも 6.7 ポイント低く、就労率の一層の上昇が予想されます。

【未就学】現在の家庭類型 今回と前回の比較



【未就学】家庭類型 潜在の家庭類型



未就学

- 年齢別に現在の家族類型をみると、0～3歳は「タイプB」が多く、4歳以上は「タイプC」が多くなっています。
潜在の家族類型は、4歳及び6歳以外は「タイプB」が多くなっています。また、「タイプD」は現在の家族類型と比較すると低い比率となっています。
- 地区別に現在の家族類型をみると、北郷地区は「タイプB」が、須走地区は「タイプD」が多くなっています。
潜在の家族類型は、足柄地区では「タイプB」が4割弱と現在よりも10ポイント上回っています。また、須走地区は「タイプD」が現在よりも低い一方、「タイプC」「タイプC'」の比率が高くなっています。

【未就学】年齢別の現在の家族類型 (件,%)

		件数 (n)	A	B	C	C'	D
全体		465	5.2	33.8	21.3	12.7	27.1
年齢別	0歳	75	1.3	38.7	6.7	10.7	42.7
	1歳	62	3.2	43.5	4.8	11.3	37.1
	2歳	73	4.1	39.7	8.2	19.2	28.8
	3歳	68	8.8	30.9	26.5	8.8	25.0
	4歳	74	6.8	28.4	39.2	10.8	14.9
	5歳	66	6.1	27.3	31.8	12.1	22.7
	6歳	47	6.4	25.5	36.2	17.0	14.9

【未就学】年齢別の潜在の家族類型 (件,%)

		件数 (n)	A	B	C	C'	D
全体		465	5.2	37.0	20.0	17.4	20.4
年齢別	0歳	75	1.3	40.0	8.0	13.3	37.3
	1歳	62	3.2	45.2	4.8	19.4	27.4
	2歳	73	4.1	39.7	8.2	31.5	16.4
	3歳	68	8.8	36.8	25.0	11.8	17.6
	4歳	74	6.8	31.1	36.5	12.2	13.5
	5歳	66	6.1	34.8	24.2	15.2	19.7
	6歳	47	6.4	29.8	38.3	19.1	6.4

【未就学】年齢別の現在の家族類型 (件,%)

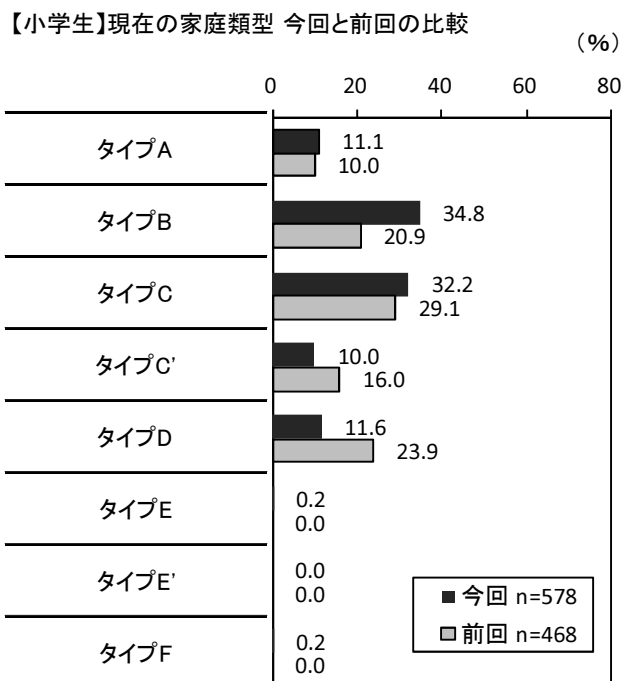
		件数 (n)	A	B	C	C'	D
全体		465	5.2	33.8	21.3	12.7	27.1
地区別	成美地区	60	3.3	35.0	16.7	21.7	23.3
	明倫地区	73	11.0	31.5	26.0	11.0	20.5
	足柄地区	50	8.0	28.0	26.0	16.0	22.0
	北郷地区	167	3.6	40.1	24.0	11.4	21.0
	須走地区	111	2.7	27.0	15.3	9.9	45.0

【未就学】年齢別の潜在の家族類型 (件,%)

		件数 (n)	A	B	C	C'	D
全体		465	5.2	37.0	20.0	17.4	20.4
地区別	成美地区	60	3.3	36.7	16.7	26.7	16.7
	明倫地区	73	11.0	35.6	21.9	17.8	13.7
	足柄地区	50	8.0	38.0	20.0	20.0	14.0
	北郷地区	167	3.6	43.1	22.8	16.2	14.4
	須走地区	111	2.7	27.9	17.1	13.5	38.7

小学生

- 現在の家庭類型は、「タイプB(34.8%)」が最も多く、次いで「タイプC(32.2%)」となっています。
- 前回と比較すると、「タイプB」は 13.9 ポイント上昇する一方、「タイプD」は 12.3 ポイント低下しています。

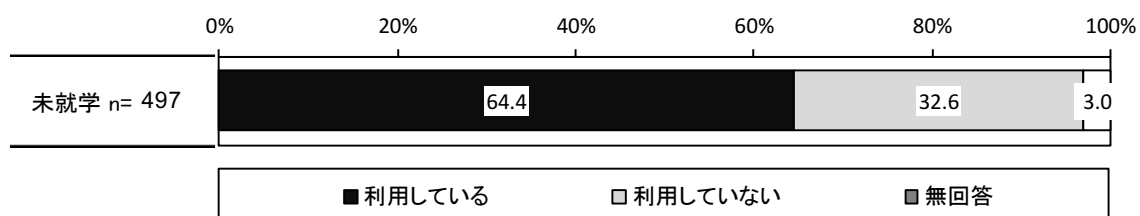


4 平日の定期的な幼稚園や保育園などの利用状況

(1) 幼稚園や保育園などの利用状況

未就学	問 11 宛名のお子さんは現在、定期的に幼稚園や保育園などを利用されていますか。（当てはまる番号 1 つに○）
● 幼稚園や保育園などの利用状況は、「利用している（64.4%）」が過半数を占めています。 ● 年齢別では、0歳の利用はわずかですが、1歳は3割台半ば、2・3歳は6割台半ば、4歳以上は9割台となっています。	

幼稚園や保育園などの定期的な利用状況



(件,%)

		件数 (n)	利用している	利用していない	無回答
全体		497	64.4	32.6	3.0
年齢別	0歳	78	5.1	93.6	1.3
	1歳	65	36.9	60.0	3.1
	2歳	80	66.3	30.0	3.8
	3歳	73	65.8	28.8	5.5
	4歳	77	96.1	1.3	2.6
	5歳	73	94.5	2.7	2.7
	6歳	48	97.9	-	2.1

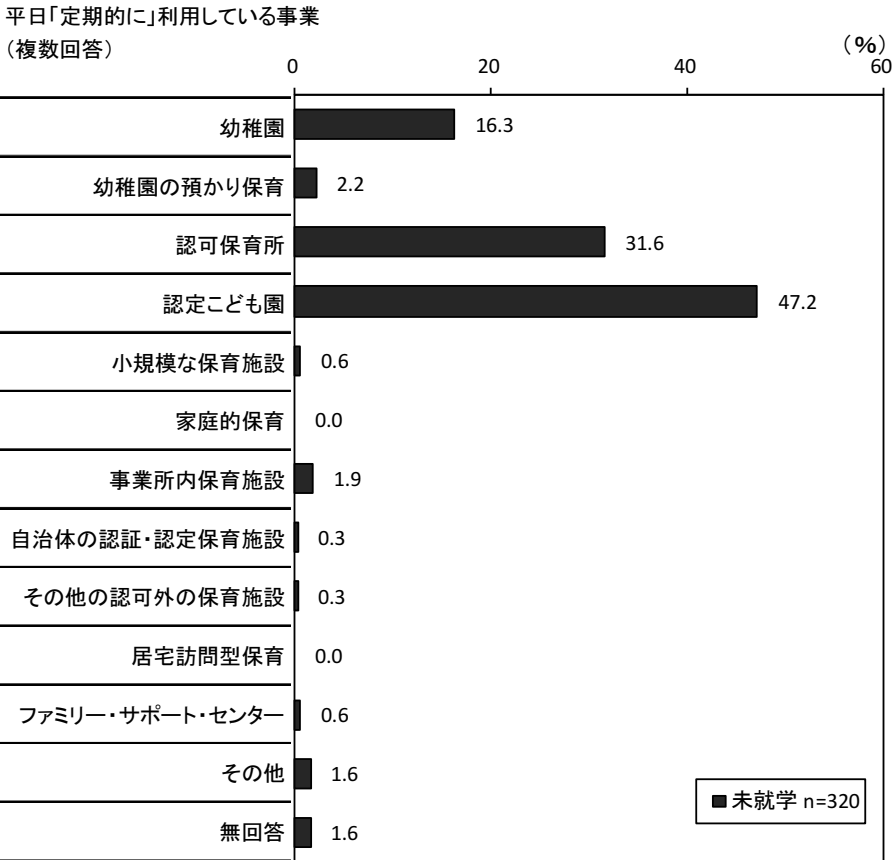
第2章 調査の結果

(2) 幼稚園、保育園、認定こども園などの利用状況

① 平日「定期的に」利用している事業

未就学 問 11-1 (1) ～ (5) は、問 11 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
問 11-1 (1) 宛名のお子さんは、平日どのような事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(当てはまる番号すべてに○)

- 平日「定期的に」利用している事業は、「認定こども園（47.2%）」が最も多く、次いで「認可保育所（31.6%）」「幼稚園（16.3%）」となっています。
- 年齢別では、4歳以上は「幼稚園」が2割台となっています。「認定こども園」は、0歳を除いた年齢では利用率が最も高くなっています。



(件,%)

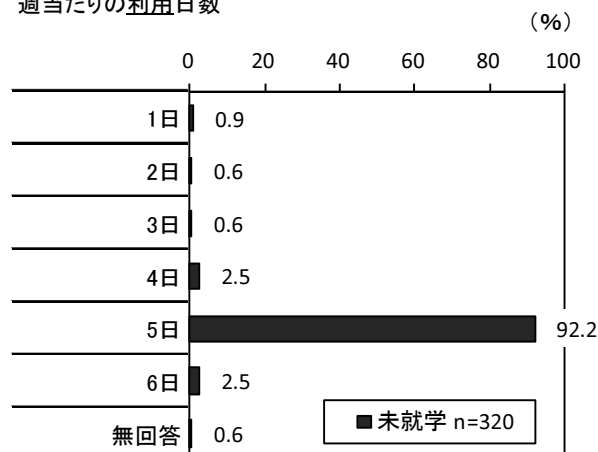
		件数 (n)	幼稚園	認可保育所	認定こども園
全体		320	16.3	31.6	47.2
年齢別	0歳	4	-	75.0	25.0
	1歳	24	-	29.2	58.3
	2歳	53	1.9	39.6	49.1
	3歳	48	4.2	43.8	45.8
	4歳	74	20.3	31.1	44.6
	5歳	69	29.0	23.2	46.4
	6歳	47	29.8	19.1	48.9

② 週当たりの利用日数、1日当たりの利用時間

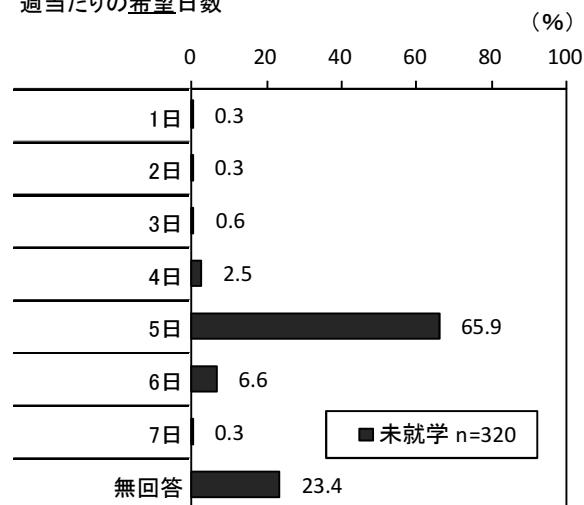
未就学 問 11-1 (2) 現在、平日にどのくらい幼稚園や保育園などを定期的に利用していますか。また、希望としては、どのくらい利用したいですか。週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かお答えください。（口内に数字で記入）

- 週当たりの利用日数は、「5日（92.2%）」が多数を占めます。希望日数は、「5日（65.9%）」が最も多いものの、「6日（6.6%）」もみられます。1日当たりの利用時間は「8～10時間未満（46.9%）」が最も多くなっていますが、希望時間は、「8～10時間未満（34.7%）」が最も多いものの、回答がやや分散しています。
- 利用開始時間は、「8時30分～9時未満」に回答が集中していますが、希望開始時間は時間帯が分散しています。利用終了時間も「17時台」に回答が集中していますが、希望終了時間は時間帯が分散しています。

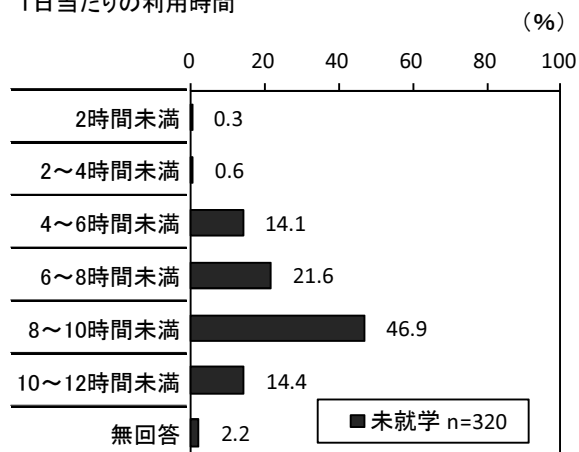
週当たりの利用日数



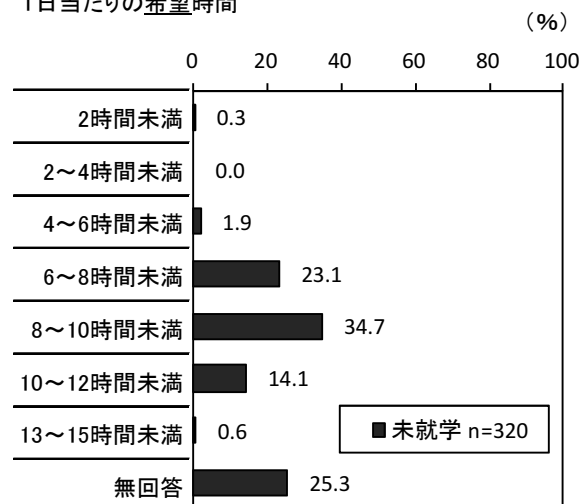
週当たりの希望日数



1日当たりの利用時間



1日当たりの希望時間



現在の利用時間帯

利用開始時間	件数	利用終了時間	件数
7時～7時30分未満	17	11～13時台	3
7時30分～8時未満	39	14時台	80
8時～8時30分未満	71	15時台	9
8時30分～9時未満	109	16時台	75
9時台	76	17時台	102
10時台	1	18時台	40
無回答	7	19時台	2
合計	320	20時台	1
		無回答	8
		合計	320

希望の利用時間帯

希望開始時間	件数	希望終了時間	件数
6時30分～7時未満	4	11～13時台	1
7時～7時30分未満	22	14時台	12
7時30分～8時未満	28	15時台	35
8時～8時30分未満	68	16時台	73
8時30分～9時未満	63	17時台	69
9時台	54	18時台	30
10時台	1	19時台	18
無回答	80	20時台	1
合計	316	21時台	1
		無回答	80
		合計	319

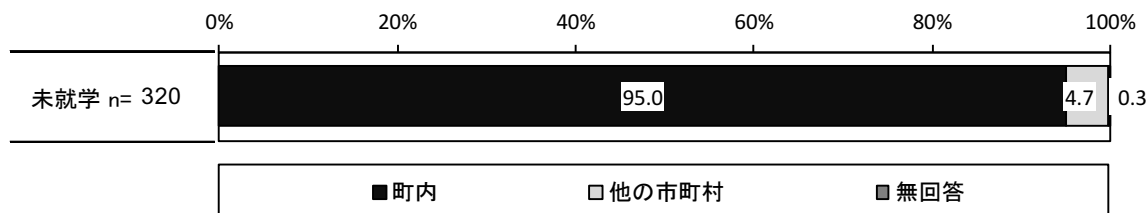
第2章 調査の結果

③ 利用している幼稚園や保育園などの実施場所

未就学 問 11-1 (3) 現在、利用している幼稚園や保育園などの実施場所についてお答えください。(当
てはまる番号 1 つに○)

- 利用している幼稚園や保育園などの実施場所は、「町内（95.0%）」が多数を占めています。
- 年齢別では、2歳は「町内」が9割弱と他の年齢よりも比率がやや低くなっています。

利用している幼稚園や保育園などの実施場所



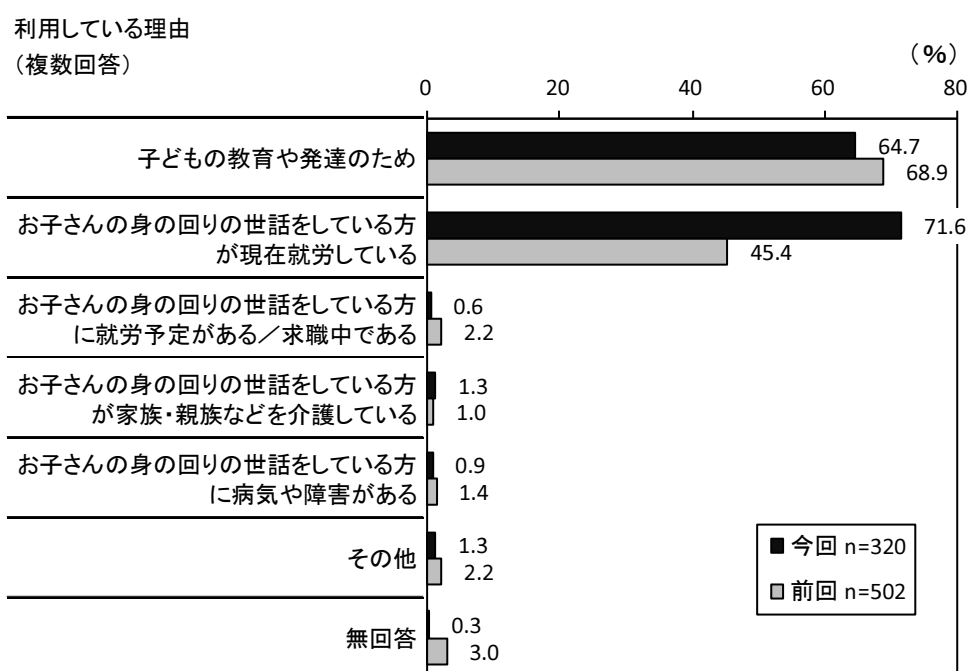
(件,%)

		件数 (n)	町内	他の市町村	無回答
全体		320	95.0	4.7	0.3
年齢別	0歳	4	100.0	-	-
	1歳	24	91.7	8.3	-
	2歳	53	88.7	9.4	1.9
	3歳	48	97.9	2.1	-
	4歳	74	95.9	4.1	-
	5歳	69	100.0	-	-
	6歳	47	91.5	8.5	-

④ 利用している理由

未就学 問 11-1 (4) 問 11-1 (1) のような事業を利用されている主な理由をお答えください。(当てはまる番号すべてに○)

- 利用している理由は、「お子さんの身の回りの世話をしている方が現在就労している（71.6%）」が最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため（64.7%）」となっています。
- 前回と比較すると、「お子さんの身の回りの世話をしている方が現在就労している」は、26.2 ポイント高くなっています。
- 主な利用事業別では、幼稚園は「子どもの教育や発達のため」が 100.0% となっています。認可保育所及び認定こども園は「お子さんの身の回りの世話をしている方が現在就労している」が多数となっています。



(件,%)

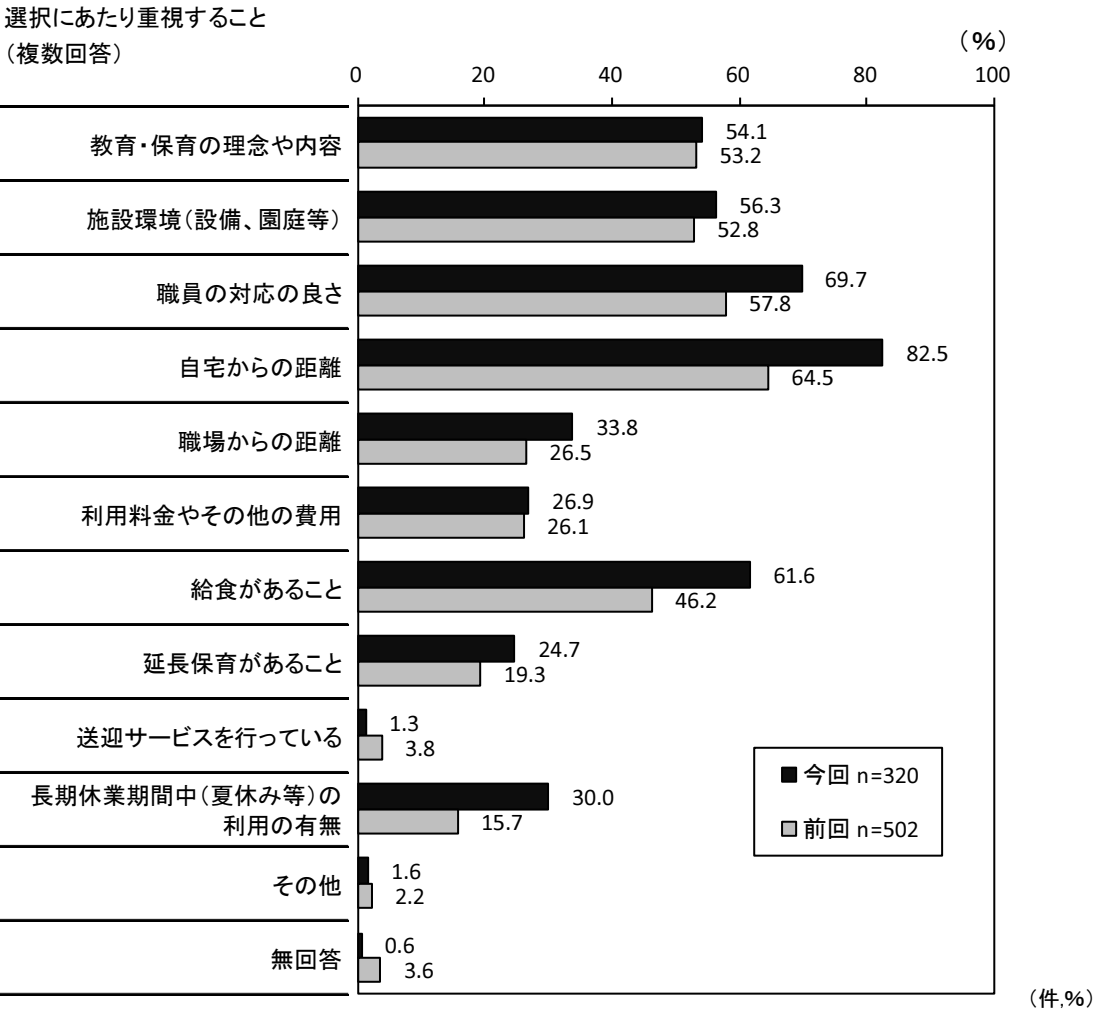
	件数 (n)	子どもの教育や発達のため	お子さんの身の回りの世話をしている方が現在就労している	お子さんの身の回りの世話をしている方に就労予定がある／求職中である	お子さんの身の回りの世話をしている方が家族・親族などを介護している	お子さんの身の回りの世話をしている方に病気や障害がある	その他	無回答
全体	320	64.7	71.6	0.6	1.3	0.9	1.3	0.3
主な利用事業別								
幼稚園	52	100.0	19.2	1.9	1.9	-	1.9	-
認可保育所	101	53.5	89.1	-	1.0	-	-	-
認定こども園	151	62.9	79.5	0.7	0.7	1.3	0.7	-

第2章 調査の結果

⑤ 選択にあたり重視すること

未就学 問 11-1 (5) 平日の日中の教育・保育事業を選択するにあたり、重視することはなんですか。
(当てはまる番号すべてに○)

- 選択にあたり重視することは、「自宅からの距離（82.5%）」が最も多く、次いで「職員の対応の良さ（69.7%）」「給食があること（61.6%）」となっています。
- 前回と比較的すると、「自宅からの距離」は 18.0 ポイント、「給食があること」は 15.4 ポイント、「長期休業期間中（夏休み等）の利用の有無」は 14.3 ポイント上昇するなど、全般的に前回を上回っています。
- 主な利用事業別では、幼稚園は「教育・保育の理念や内容」が7割強、認可保育所は「自宅からの距離」が約9割に上ります。また、認定こども園は「長期休業期間中（夏休み等）の利用の有無」が4割強と比較的高くなっています。



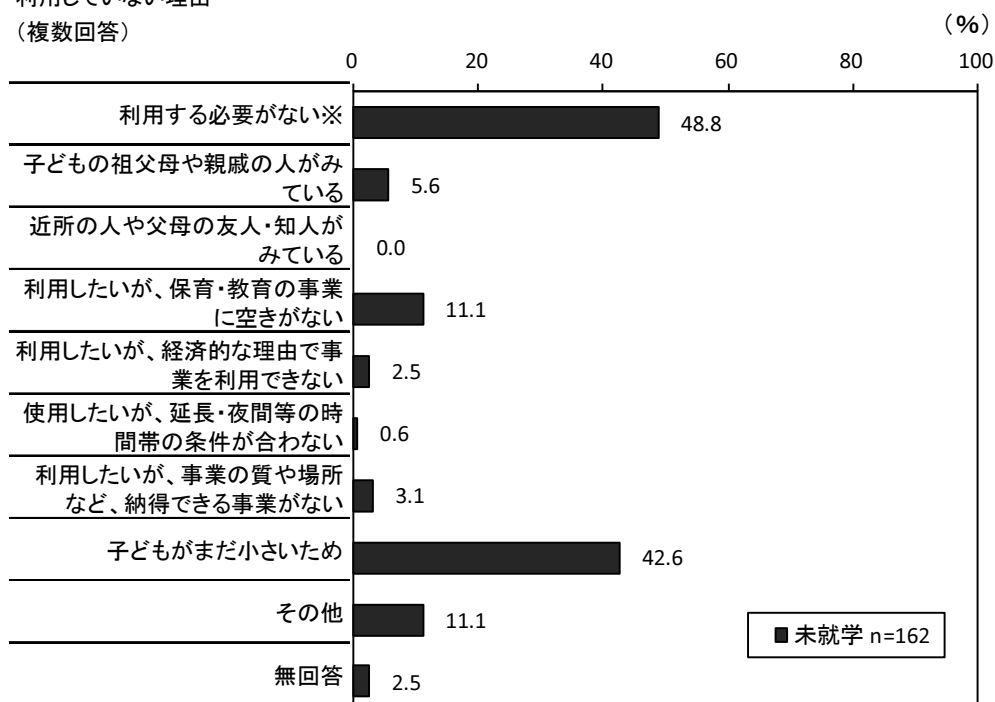
		件数 (n)	教育・保育の 理念や内容	施設環境(設 備、園庭等)	職員の対応 の良さ	自宅からの 距離	職場からの 距離	利用料金や その他の費 用
全体		320	54.1	56.3	69.7	82.5	33.8	26.9
主な利用事 業別	幼稚園	52	73.1	61.5	71.2	71.2	17.3	36.5
	認可保育所	101	47.5	47.5	72.3	90.1	37.6	32.7
	認定こども園	151	51.0	62.9	67.5	84.1	35.8	21.9
		件数 (n)	給食があるこ と	延長保育が あること	送迎サービ スを行ってい る	長期休業期 間中(夏休み 等)の利用の 有無	その他	無回答
全体		320	61.6	24.7	1.3	30.0	1.6	0.6
主な利用事 業別	幼稚園	52	53.8	19.2	3.8	9.6	-	-
	認可保育所	101	55.4	18.8	1.0	20.8	1.0	1.0
	認定こども園	151	68.9	31.1	-	41.7	2.6	-

⑥ 利用していない理由

未就学 問 11-2 は、問 11 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
問 11-2 利用していない主な理由は何ですか。（当てはまる番号すべてに○／「8. 」に○
をつけた方は、年齢を口内に数字で記入）

- 利用していない理由は、「利用する必要がない（48.8%）」が最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため（42.6%）」となっています。利用しようと考えている年齢は「3歳」が最も多くなっています。
- 年齢別では、0 歳は「子どもがまだ小さいため」が特に多くなっています。また、0～2 歳は「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が1割台となっています。

利用していない理由
(複数回答)



(件)

年齢	件数
1歳	17
2歳	7
3歳	36
4歳	5
無回答	4
合計	69

※子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で

(件,%)

	件数 (n)	利用する必要 がない	子どもの祖 父母や親戚 の人がみて いる	利用したい が、保育・教 育の事業に 空きがない	利用したい が、経済的な 理由で事業 を利用できな い	使用したい が、延長・夜 間等の時間 帯の条件が 合わない
全体	162	48.8	5.6	11.1	2.5	0.6
年齢別	0歳	73	39.7	2.7	12.3	2.7
	1歳	39	59.0	2.6	10.3	2.6
	2歳	24	45.8	12.5	12.5	4.2
	3歳	21	61.9	14.3	9.5	-
	件数 (n)	利用したい が、事業の 質や場所な ど、納得で きる事業が ない	子どもがまだ 小さいため	その他	無回答	
全体	162	3.1	42.6	11.1	2.5	
年齢別	0歳	73	1.4	53.4	15.1	2.7
	1歳	39	-	28.2	10.3	5.1
	2歳	24	12.5	37.5	4.2	-
	3歳	21	4.8	38.1	4.8	-

※4～6歳は回答対象者がほとんどいないため0～3歳のみ掲載

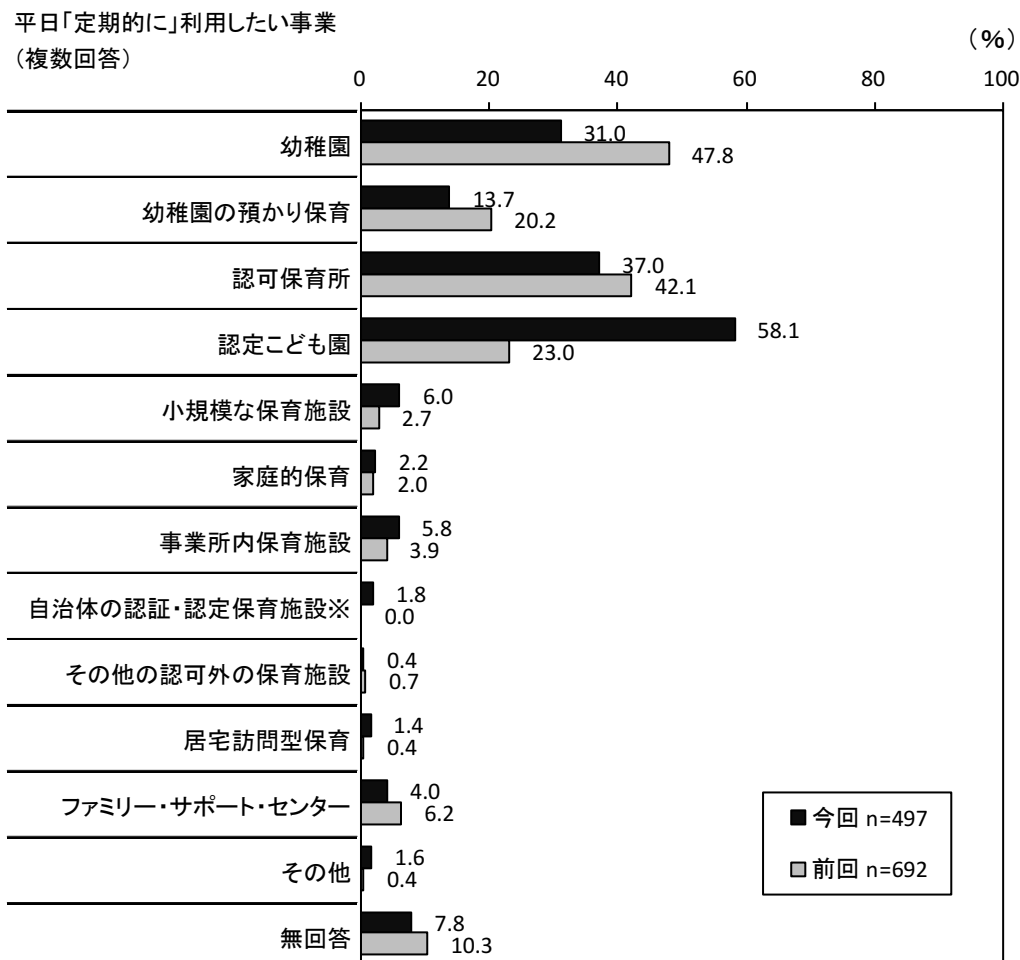
第2章 調査の結果

(3) 平日「定期的に」利用したい事業

① 平日「定期的に」利用したい事業

未就学 問 12 現在、利用している、していないにかかわらず、宛名のお子さんについて、幼稚園や保育園など、平日「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（当てはまる番号すべてに○）

- 平日「定期的に」利用したい事業は、「認定こども園（58.1%）」が最も多く、次いで「認可保育所（37.0%）」「幼稚園（31.0%）」となっています。
- 前回と比較すると、「認定こども園」は 35.1 ポイント上昇していますが、「幼稚園」は 16.8 ポイント低下しています。
- 年齢別では、0～2歳は「認定こども園」が6割台とニーズが高くなっています。



※前回調査では選択肢なし

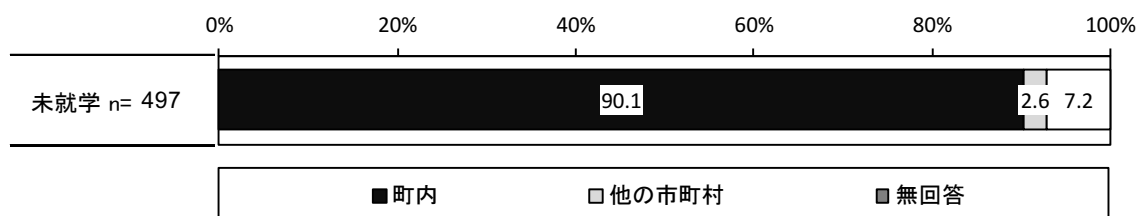
上位3位		(件,%)			
		件数(n)	認定こども園	認可保育所	幼稚園
全体		497	58.1	37.0	31.0
年齢別	0歳	78	69.2	43.6	38.5
	1歳	65	66.2	44.6	24.6
	2歳	80	66.3	30.0	31.3
	3歳	73	50.7	45.2	32.9
	4歳	77	50.6	42.9	26.0
	5歳	73	46.6	23.3	34.2
	6歳	48	56.3	27.1	27.1

② 事業を利用したい場所

未就学 問 12-1 問 12 のような事業を利用したい場所についてお答えください。（当てはまる番号 1 つに○）

- 事業を利用したい場所は、「町内（90.1%）」が大多数を占め、「他の市町村（2.6%）」はわずかとなっています。

事業を利用したい場所

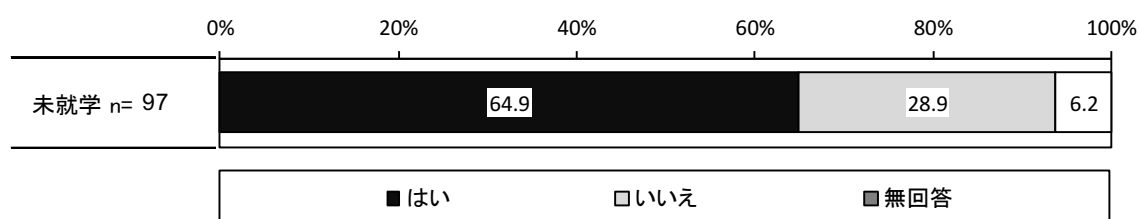


(4) 幼稚園の強い利用希望

未就学 問 12-2 問 12 で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方に伺います。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（当てはまる番号 1 つに○）

- 幼稚園の強い利用希望は、あるという「はい（64.9%）」が多数を占めています。

幼稚園の強い利用希望

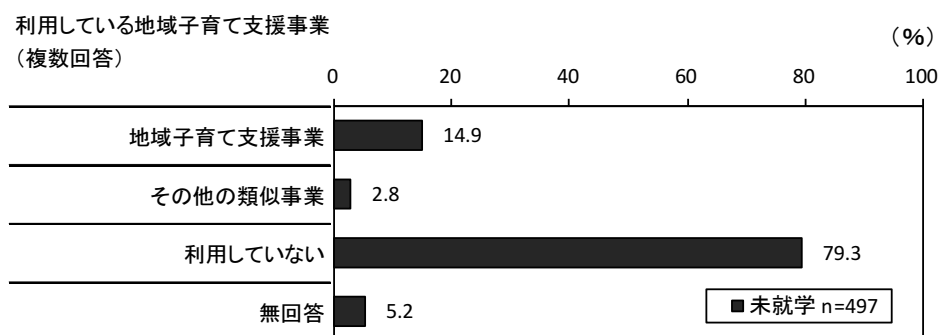


第2章 調査の結果

5 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 利用している地域子育て支援事業

未就学	問 13 現在、宛名のお子さんが利用している地域子育て支援事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。利用していない場合は、その理由をお書きください。（当てはまる番号すべてに○/□内に数字で記入） ● 利用している地域子育て支援事業は、「地域子育て支援事業（14.9%）」は1割台半ば、「その他の類似事業（2.8%）」はわずかととなり、「利用していない（79.3%）」が約8割となっています。 ● 年齢別では、0歳～2歳までは2～3割が「地域子育て支援事業」もしくは「その他の類似事業」を利用しています。
-----	---



(件,%)

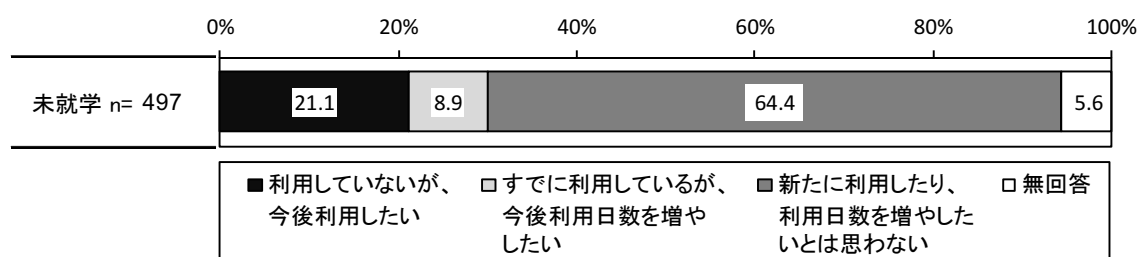
		件数 (n)	地域支援事業 等の利用者※	利用してい ない	無回答
全体		497	15.5	79.3	5.2
年齢別	0歳	78	26.9	67.9	5.1
	1歳	65	32.3	61.5	6.2
	2歳	80	25.0	72.5	2.5
	3歳	73	16.4	79.5	4.1
	4歳	77	1.3	93.5	5.2
	5歳	73	1.4	93.2	5.5
	6歳	48	2.1	89.6	8.3

※「地域子育て支援事業」もしくは「その他の類似事業」の利用者

(2) 今後の地域子育て支援事業の利用希望

未就学	問 14 問 13 のような地域子育て支援事業などについて、今は利用していないが、できれば、今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。（当てはまる番号 1 つに○/□内に数字で記入）
● 今後の地域子育て支援事業の利用希望は「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない(64.4%)」が多数となり、次いで「利用していないが、今後利用したい(21.1%)」となっています。 ● 年齢別では、0歳は「利用していないが、今後利用したい」が4割台半ばと多く、1歳は「利用していないが、今後利用したい」及び「すでに利用しているが、今後利用日数を増やした」が2割台と比較的多くなっています。 ● 「利用していないが、今後利用したい」という人の利用希望回数は、週あたりは「1回」、月あたりは「1回」「2回」が多くなっています。「すでに利用しているが、今後利用日数を増やした」という人は、週あたりは「1回」、月あたりは回答が分散していますが、「1回」「2回」が比較的多くなっています。	

今後の地域子育て支援事業の利用希望



(件,%)

		件数 (n)	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やした	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
全体		497	21.1	8.9	64.4	5.6
年 齢 別	0歳	78	46.2	14.1	37.2	2.6
	1歳	65	24.6	20.0	52.3	3.1
	2歳	80	18.8	12.5	60.0	8.8
	3歳	73	21.9	9.6	67.1	1.4
	4歳	77	15.6	-	76.6	7.8
	5歳	73	4.1	1.4	87.7	6.8
	6歳	48	14.6	2.1	72.9	10.4

(件)

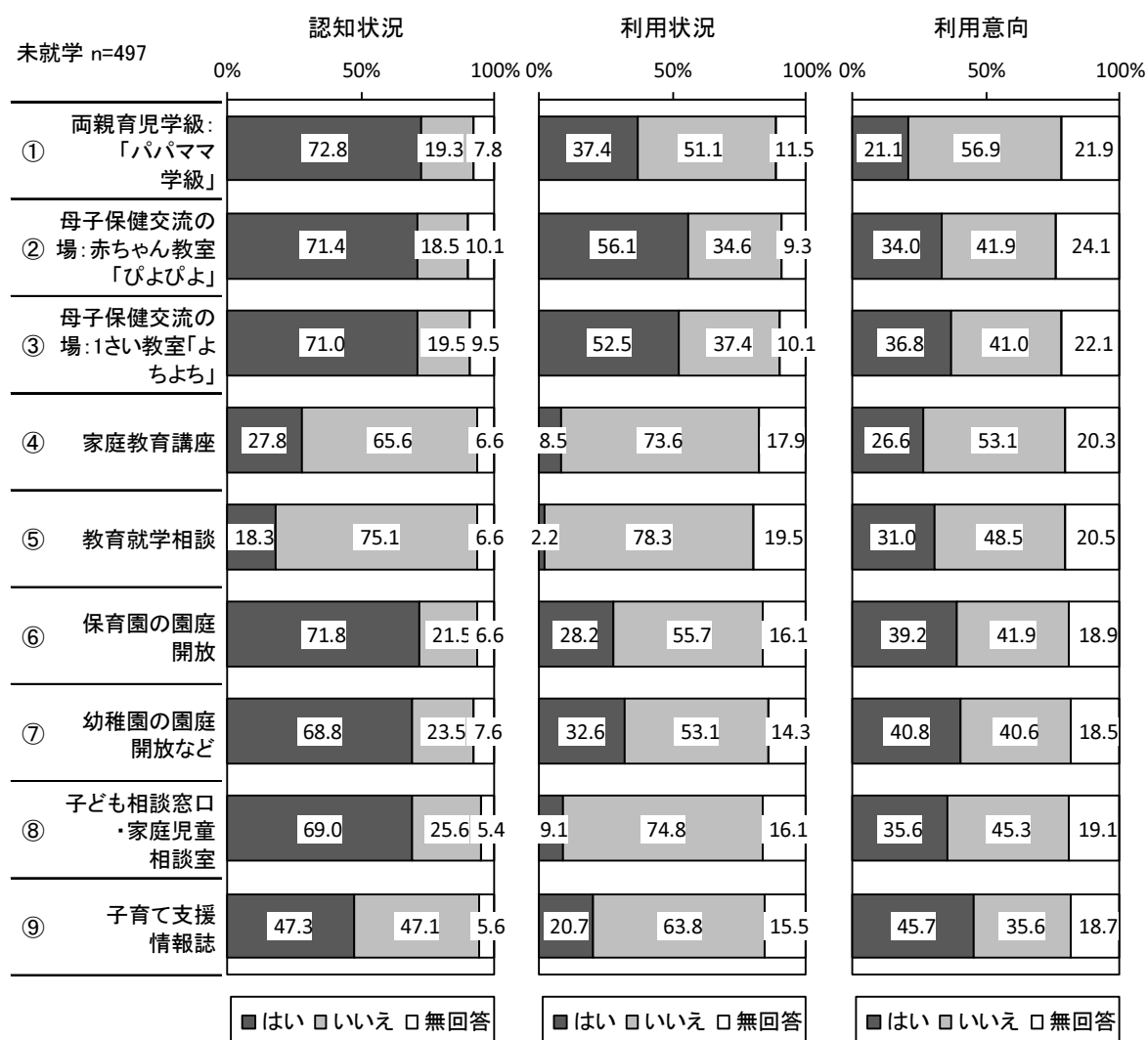
利用していないが、今後利用したい				すでに利用しているが、今後利用日数を増やした			
週あたり		月あたり		週あたり		月あたり	
回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数
1回	29	1回	43	1回	14	1回	6
2回	5	2回	24	2回	3	2回	7
3回	3	3回	4	3回	3	3回	5
4回	0	4回	5	5回	1	4回	3
5回	2	5回	1	無回答	23	5～6回	2
無回答	66	15回	1	合計	44	7～8回	2
合計	105	20回	1			9～10回	1
		無回答	26			無回答	18
		合計	105			合計	44

第2章 調査の結果

(3) 各種子育て支援事業の認知状況、利用状況、利用意向

未就学 問 15 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(①～⑨の事業ごとに、A～Cそれぞれについて、当てはまる番号1つに○)

- 認知状況は、「①両親育児学級：『パパママ学級』」の認知度が72.8%最も高く、次いで「⑥保育園の園庭開放」が71.8%、「②母子保健交流の場：赤ちゃん教室『びよびよ』」が71.4%、「③母子保健交流の場：1さい教室『よちよち』」が71.0%となっています。
- 利用状況は、「②母子保健交流の場：赤ちゃん教室『びよびよ』」の利用率が56.1%と最も高く、次いで「③母子保健交流の場：1さい教室『よちよち』」が52.5%、「①両親育児学級：『パパママ学級』」が37.4%となっています。
- 利用意向は、「⑨子育て支援情報誌」の利用希望が45.7%と最も高く、次いで「⑦幼稚園の園庭開放など」が40.8%、「⑥保育園の園庭開放」が39.2%となっています。



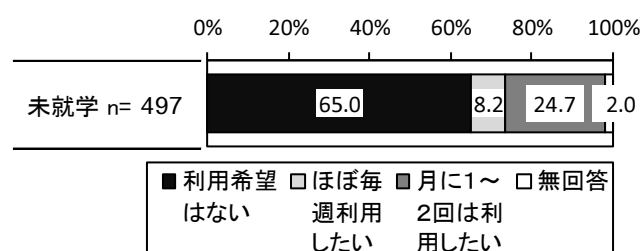
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な幼稚園や保育園などの利用希望

(1) 土曜・休日の利用希望

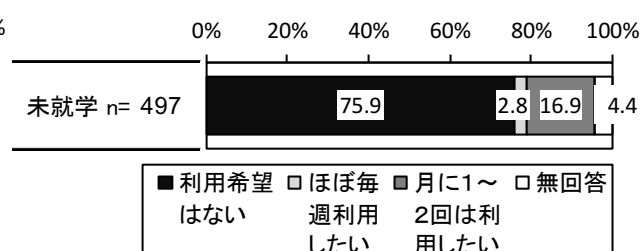
① 土曜、日曜・休日の利用希望

未就学	問 16 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な幼稚園や保育園などの事業の、利用希望はありますか（一時的な利用は除く）。希望がある場合、利用したい時間帯をご記入ください。（(1) (2) それぞれ、当てはまる番号 1 つに○/□内に数字で記入）
	● 土曜日の利用希望は、「利用希望はない（65.0%）」の多数を占め、「月に1～2回は利用したい（24.7%）」及び「ほぼ毎週利用したい（8.2%）」という利用希望の合計は3割強となっています。 利用希望開始時間は「8時～8時30分未満」が、利用希望終了時間は16時台から18時台が多く、中でも「17時台」が多くなっています。 ● 日曜・休日の利用希望は、「利用希望はない（75.9%）」が多数を占め、「月に1～2回は利用したい（16.9%）」及び「ほぼ毎週利用したい（2.8%）」という利用希望の合計は2割強となっています。 利用希望開始時間は「8時～8時30分未満」が、「17時台」が多くなっています。

土曜日の利用希望



日曜・休日の利用希望



(件)

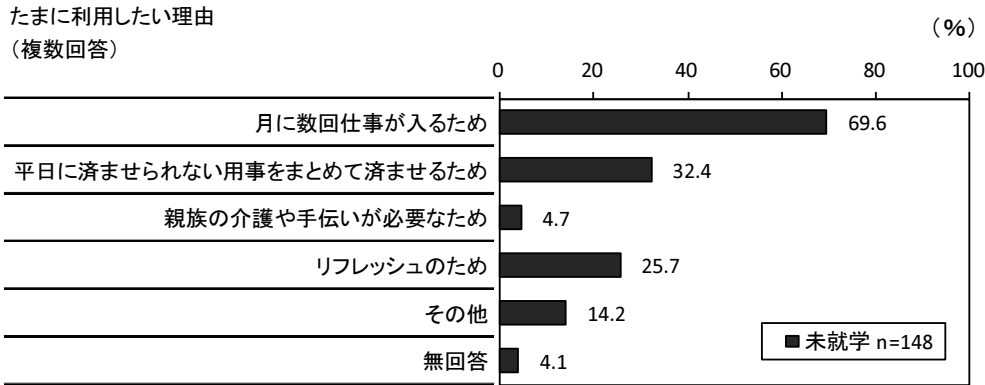
土曜日				日曜日			
開始時間	件数	終了時間	件数	開始時間	件数	終了時間	件数
6時30分～7時未満	1	12時台	5	6時30分～7時未満	1	12時台	2
7時～7時30分未満	10	13時台	9	7時～7時30分未満	13	13時台	2
7時30分～8時未満	13	14時台	5	7時30分～8時未満	13	14時台	1
8時～8時30分未満	32	15時台	11	8時～8時30分未満	35	15時台	4
8時30分～9時未満	16	16時台	33	8時30分～9時未満	11	16時台	19
9時～9時30分未満	17	17時台	49	9時～9時30分未満	15	17時台	36
9時30分～10時未満	17	18時台	33	9時30分～10時未満	1	18時台	23
10時～10時30分未満	1	19時台	6	10時～10時30分未満	2	19時台	5
無回答	9	無回答	13	無回答	7	無回答	6
合計	164	合計	164	合計	98	合計	98

第2章 調査の結果

② たまに利用したい理由

未就学 問 16 の(1) (2)で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
問 16-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（当てはまる番号すべてに○）

- たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため（69.6%）」が最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため（32.4%）」「リフレッシュのため（25.7%）」となっています。



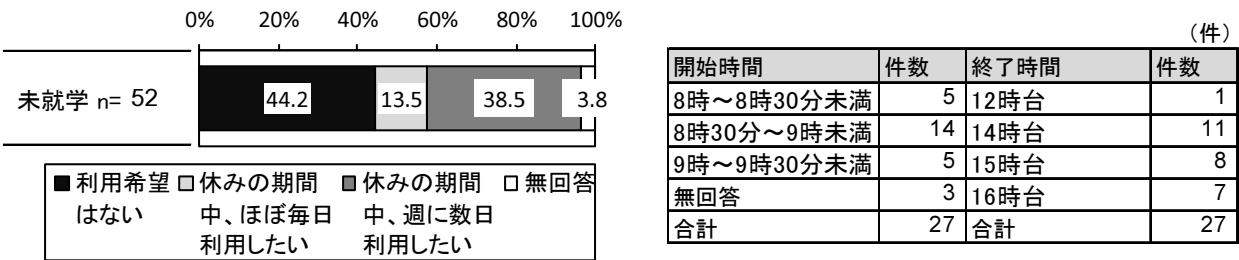
(2) 幼稚園利用者の長期休業中の利用希望

① 幼稚園利用者の長期休業中の利用希望

未就学 問 17 は、「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。
問 17 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休業中の利用を希望しますか。希望がある場合、利用したい時間帯をご記入ください。（当てはまる番号すべてに○/□内に数字で記入）

- 幼稚園利用者の長期休業中の利用希望は、「利用希望はない（44.2%）」が最も多く、次いで、「休みの期間中、週に数日利用したい（38.5%）」「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい（13.5%）」となっています。
- 利用時間は回答対象者数が少ないため、参考値として件数表を表示します。

幼稚園利用者の長期休業中の利用希望



② 週に数日利用したい理由

未就学 問 17-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。（当てはまる番号すべてに○）

- 週に数日利用したい理由は回答対象者数が少ないため、参考値として件数表を表示します。

(件)

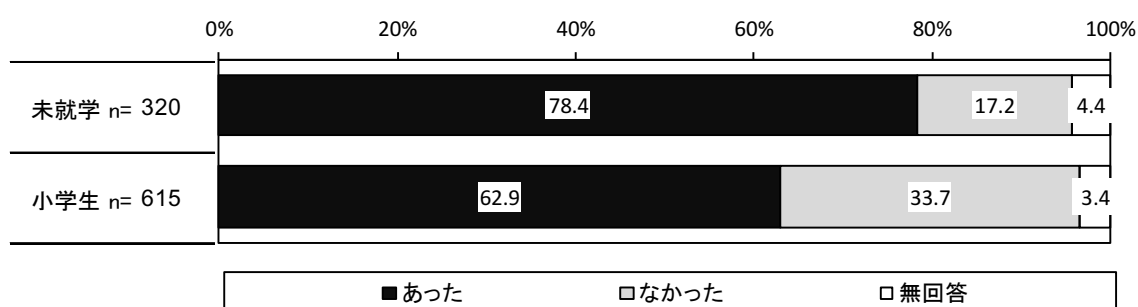
週に数日利用したい理由	件数
週に数回仕事が入るため	13
買い物等の用事をまとめて済ませるため	7
親族の介護や手伝いが必要なため	3
リフレッシュのため	6
その他	1
無回答	1
合計	20

7 子どもが病気のとときの対応

(1) 子どもが病気やケガなどで通園（通学）できなかったこと

未就学	平日の定期的な幼稚園や保育園などの事業を利用していると答えた方にうかがいます。 問 18 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで幼稚園や保育園などの事業が利用できなかったことはありますか。（当てはまる番号1つに○） ● 子どもが病気やケガなどで通園（通学）できなかったことは、「あった（78.4%）」が多数を占めています。
小学生	問 15 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。（当てはまる番号1つに○） ● 子どもが病気やケガなどで通園（通学）できなかったことは、「あった（62.9%）」が多数を占めています。

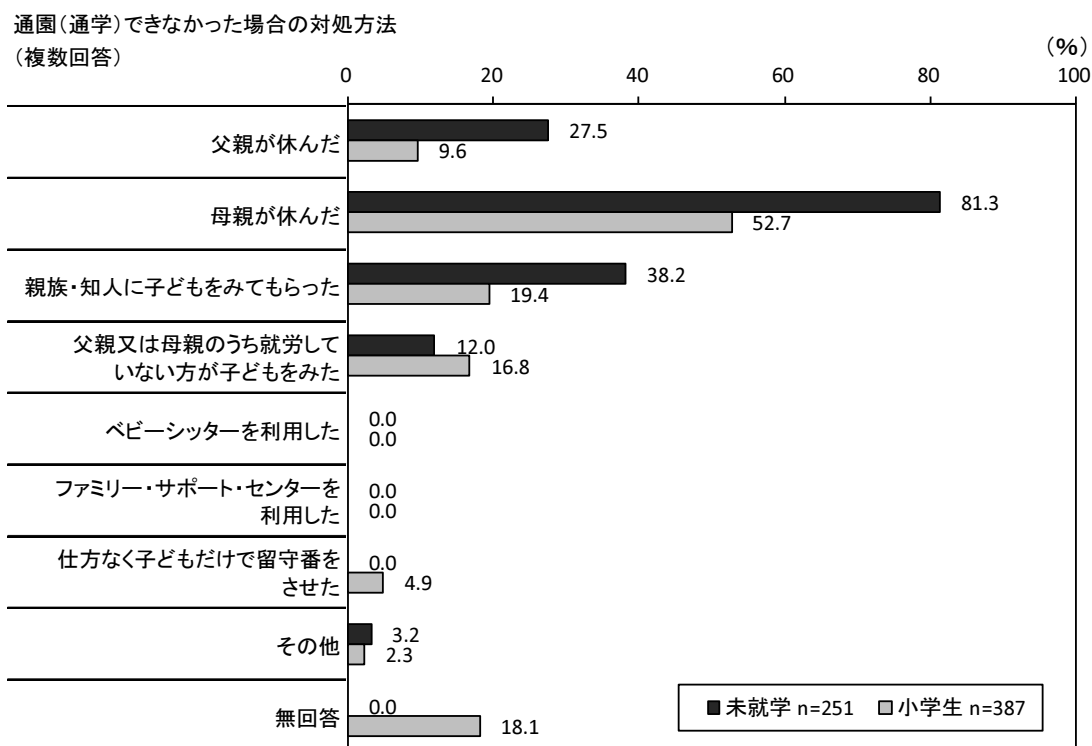
子どもが病気やケガなどをして通園（通学）できなかったこと



第2章 調査の結果

(2) 通園（通学）できなかった場合の対処方法

未就学	問 18-1～3 は、問 18 で「1. あった」と回答した方にうかがいます。 問 18-1 宛名のお子さんが、病気やけがで普段利用している幼稚園・保育園・こども園などの事業が利用できなかった場合、この1年間に行った対処方法と、それぞれの日数について、ご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。（当てはまる番号すべてに○/□内に数字で記入）
	● 通園（通学）できなかった場合の対処方法は、「母親が休んだ（81.3%）」が特に多く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった（38.2%）」「父親が休んだ（27.5%）」となっています。 ● 地区別では、北郷地区は「親族・知人に子どもをみてもらった」が5割弱であるのに対して、須走地区は2割弱となっています。
小学生	問 15 で「1. あった」と回答した方にうかがいます。 問 15-1 宛名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかった場合、この1年間におこなった対処方法と、それぞれの日数についてご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）（当てはまる番号すべてに○/□内に数字で記入）
	● 通園（通学）できなかった場合の対処方法は、「母親が休んだ（52.7%）」が最も多く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった（19.4%）」となっています。



【未就学】通園（通学）できなかった場合の主な対処方法

（件,%）

		件数 (n)	父親が休んだ	母親が休んだ	親族・知人に 子どもをみて もらった	父親又は母 親のうち就労 していない方 が子どもをみ た
全体		251	27.4	81.1	38.2	12.0
地区別	成美地区	23	17.4	82.6	30.4	-
	明倫地区	43	30.2	88.4	41.9	7.0
	足柄地区	25	24.0	76.0	36.0	20.0
	北郷地区	103	32.0	81.6	48.5	12.6
	須走地区	53	22.6	77.4	18.9	15.1

【日数】

未就学	● 対処方法ごとの日数は、最も多い「母親が休んだ」は「1～3日」及び「4～6日」が多くなっています。その他は概ね「1～3日」が多くなっています。
小学生	● 対処方法ごとの日数は、いずれも「1～3日」が最も多くなっています。

(件)

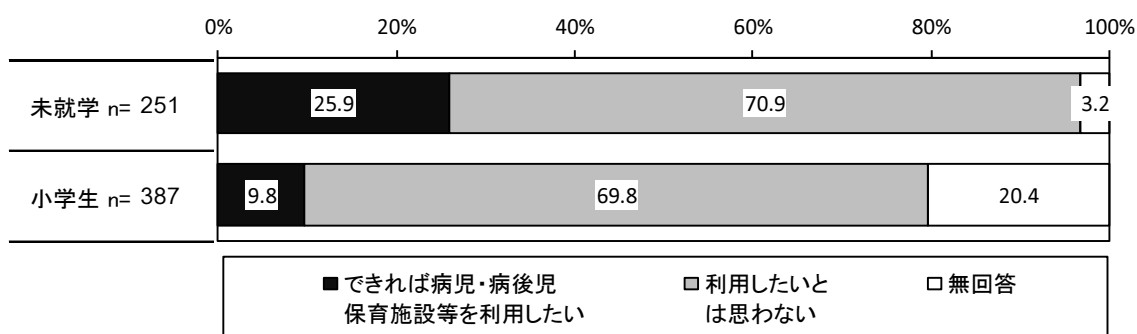
未 就 学	父親が休んだ		母親が休んだ		親族・知人に子どもを みてもらった		父親又は母親のうち 就労していない方が 子どもをみた		その他			
	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数		
	1～3日	46	1～3日	57	1～3日	37	1～3日	10	1～3日	2		
	4～6日	10	4～6日	56	4～6日	28	4～6日	7	4～6日	0		
	7～9日	2	7～9日	14	7～9日	1	7～9日	2	7～9日	2		
	10～12日	4	10～12日	34	10～12日	15	10～12日	4	10～12日	2		
	13～15日	3	13～15日	9	13～15日	5	13～15日	2	13～15日	0		
	16～20日	0	16～20日	11	16～20日	2	16～20日	3	16～20日	0		
	21～25日	1	21～25日	4	21～25日	0	21～25日	0	21～25日	1		
	26～30日	0	26～30日	5	26～30日	3	26～30日	1	26～30日	0		
	31日以上	0	31日以上	4	31日以上	1	31日以上	0	31日以上	0		
	無回答	3	無回答	10	無回答	4	無回答	1	無回答	1		
合計	69	合計	204	合計	96	合計	30	合計	8			
小 学 生	父親が休んだ		母親が休んだ		親族・知人に子どもを みてもらった		父親又は母親のうち 就労していない方が 子どもをみた		仕方なく子どもだけで 留守番をさせた		その他	
	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数
	1～3日	23	1～3日	120	1～3日	56	1～3日	29	1～3日	14	1～3日	4
	4～6日	9	4～6日	41	4～6日	14	4～6日	19	4～6日	1	4～6日	3
	7～9日	1	7～9日	13	7～9日	0	7～9日	7	7～9日	1	7～9日	0
	10～12日	0	10～12日	14	10～12日	1	10～12日	4	10～12日	0	10～12日	1
	13～15日	0	13～15日	3	13～15日	0	13～15日	0	13～15日	0	13～15日	0
	16～20日	0	16～20日	1	16～20日	0	16～20日	1	16～20日	1	16～20日	0
	21～25日	0	21～25日	0	21～25日	0	21～25日	0	21～25日	0	21～25日	0
	26～30日	0	26～30日	0	26～30日	0	26～30日	0	26～30日	0	26～30日	0
	31日以上	0	31日以上	0	31日以上	0	31日以上	1	31日以上	0	31日以上	0
	無回答	4	無回答	12	無回答	4	無回答	4	無回答	2	無回答	1
	合計	37	合計	204	合計	75	合計	65	合計	19	合計	9

第2章 調査の結果

(3) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

未就学	問 18-1～3 は、問 18 で「1. あった」と回答した方にうかがいます。 問 18-2 宛名のお子さんが、病気やケガで幼稚園・保育園・こども園などの事業が利用できなかった際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。また、日数についてもご記入ください。（当てはまる番号 1 つに○/□内に数字で記入）
● 病児・病後児のための保育施設等の利用希望は、「利用したいとは思わない（70.9%）」が多数を占め、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい（25.9%）」となっています。 ● 利用したい日数は、「1～5日」が最も多くなっています。 ● 地区別では、明倫地区の利用希望が約4割に上ります。	
小学生	問 15 で「1. あった」と回答した方にうかがいます。 問 15-2 宛名のお子さんが、病気やケガで校を休まなければならなかった際、「できれば病児・病後のための施設等を利用したい」と思われましたか。また、日数についてもご記入ください。（当てはまる番号 1 つに○/□内に数字で記入）
● 病児・病後児のための保育施設等の利用希望は、「利用したいとは思わない（69.8%）」が多数を占め、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい（9.8%）」となっています。 ● 利用したい日数は、「1～5日」が最も多くなっています。 ● 地区別では、明倫地区は「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が1割台半ばと他地区よりも高い比率となっています。	

病児・病後児のための保育施設等の利用希望



(件)

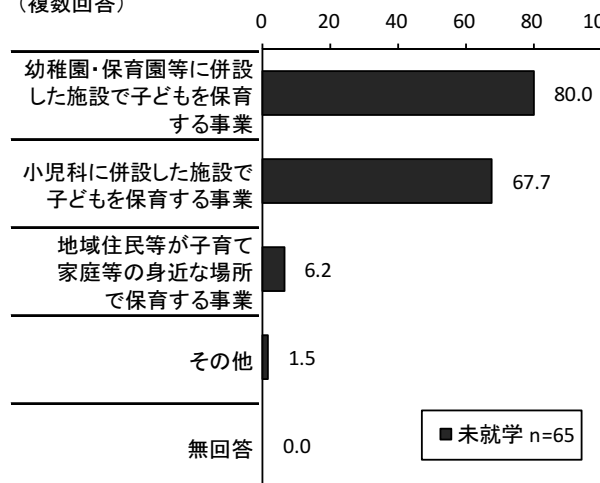
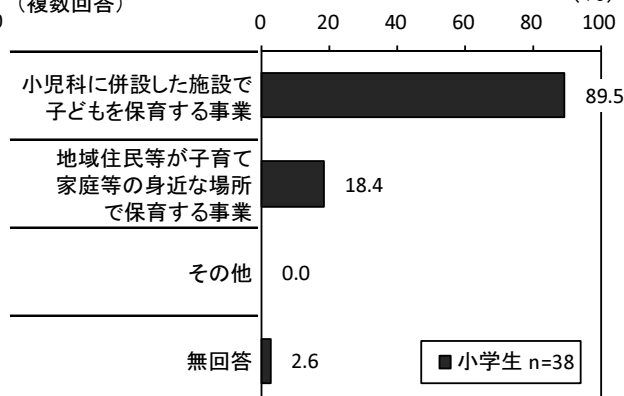
未就学		小学生	
日数	件数	日数	件数
1～5日	30	1～5日	25
6～10日	18	6～10日	5
11～15日	3	11～15日	0
16～20日	4	16～20日	0
21日以上	0	21日以上	2
無回答	10	無回答	6
合計	65	合計	38

(件,%)

未就学					小学生			
	件数 (n)	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	利用したいとは思わない	不明・無回答	合計	できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	利用したいとは思わない	不明・無回答
全体	251	25.5	71.4	3.1	90	67.8	25.6	3.3
地区別	成美地区	23	17.4	82.6	-	9.2	72.3	18.5
	明倫地区	43	39.5	55.8	4.7	14.1	62.5	23.4
	足柄地区	27	14.8	77.8	3.7	5.7	77.1	17.1
	北郷地区	105	24.8	71.4	1.9	9.7	73.4	16.9
	須走地区	58	22.4	67.2	1.7	9.2	65.3	25.5

(4) 望ましい事業形態

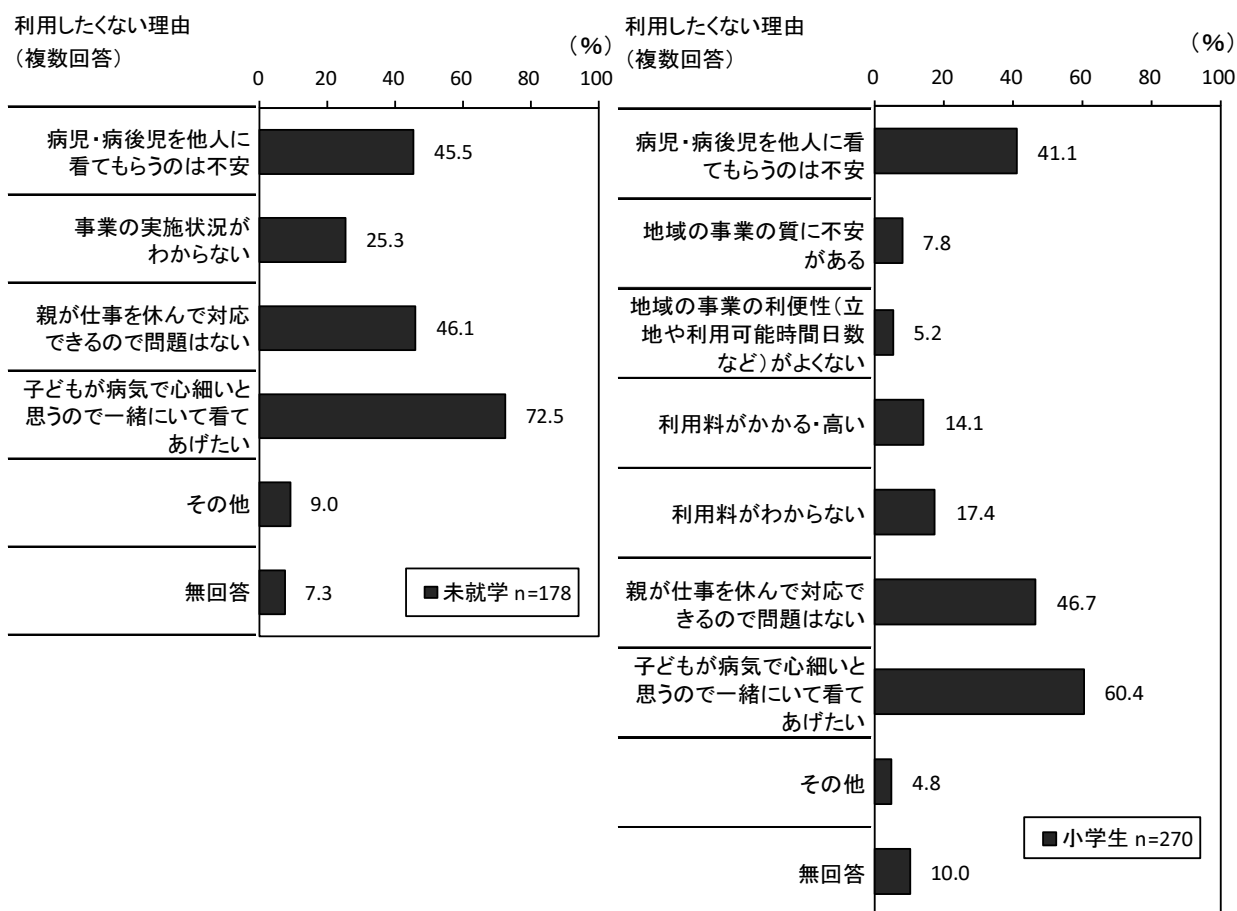
未就学	問 18-2 で「1.」(利用したい)に○をつけた方にうかがいます。 ① 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(当てはまる番号すべてに○)
	● 望ましい事業形態は、「幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業(80.0%)」が最も多く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業(67.7%)」となっています。
小学生	問 15-2 で「1.」(利用したい)に○をつけた方にうかがいます。 ① 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(当てはまる番号すべてに○)
	● 望ましい事業形態は、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業(89.5%)」が最も多く、次いで「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(18.4%)」となっています。

望ましい事業形態
(複数回答)望ましい事業形態
(複数回答)

第2章 調査の結果

(5) 利用したくない理由

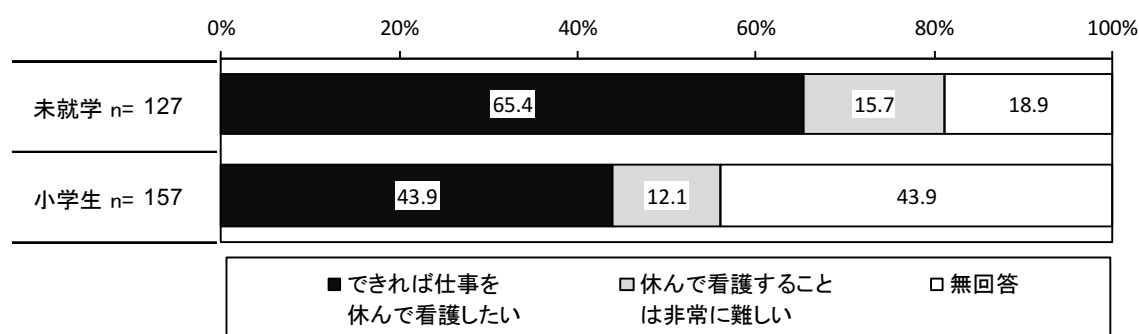
未就学	問 18-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。 ② そう思われる理由についてお答えください。（当てはまる番号すべてに○） ● 利用したくない理由は、「子どもが病気で心細いと思うので一緒にいて見てあげたい（72.5%）」が最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応できるので問題はない（46.1%）」「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安（45.5%）」となっています。
小学生	問 15-2 で「2.」（利用したいとは思わない）に○をつけた方にうかがいます。 ② そう思われる理由についてお答えください。（当てはまる番号すべてに○） ● 利用したくない理由は、「子どもが病気で心細いと思うので一緒にいて見てあげたい（60.4%）」が最も多く、次いで「親が仕事を休んで対応できるので問題はない（46.7%）」「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安（41.1%）」となっています。



(6) 仕事を休んで子どもを看護する希望

未就学	問 18-3 は、問 18-1 で「3. ～ 8.」のいずれかに回答した方にうかがいます。 問 18-3 宛名のお子さんが、病気やケガで幼稚園や保育園を利用できなかった際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。また、問 18-1 の選択肢「3.」から「8.」の日数のうち、仕事を休んで看護したかった日数についてもご記入ください。（当てはまる番号 1 つに○/□内に数字で記入）
● 仕事を休んで子どもを看護する希望は、「できれば仕事を休んで看護したい（65.4%）」が多数を占め、「休んで看護することは非常に難しい（15.7%）」は1割台半ばとなっています。 ● 仕事を休んで看護したかった日数は、「1～5日」が最も多くなっています。	
小学生	問 15-3 は、問 15-1 で「3. ～ 8.」のいずれかに回答した方にうかがいます。 問 15-3 宛名のお子さんが病気やケガで校を休まなければならなかった際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。また、問 15-1 の選択肢「3.」から「8.」の日数のうち、仕事を休んで看たかった日数についてもご記入ください。（当てはまる番号 1 つに○/□内に数字で記入）
● 仕事を休んで子どもを看護する希望は、「できれば仕事を休んで看護したい（43.9%）」が多く、「休んで看護することは非常に難しい（12.1%）」は1割強となっています。 ● 仕事を休んで看護したかった日数は、「1～5日」が最も多くなっています。	

仕事を休んで子どもを看護する希望



仕事を休んで看たかった日数 (件)

未就学		小学生	
日数	件数	日数	件数
1～5日	50	1～5日	53
6～10日	16	6～10日	6
11～15日	2	11～15日	0
16～20日	5	16～20日	1
20日以上	0	20日以上	1
無回答	10	無回答	8
合計	83	合計	69

(7) 休んで看護することが難しい理由

未就学	問 18-3 で「2.」に○をつけた方にうかがいます。 問 18-3(1) そう思われる理由についてお答えください。（当てはまる番号すべてに○）
● 休んで看護することが難しい理由は、回答対象者数が少ないため、参考値として件数表を表示します。	

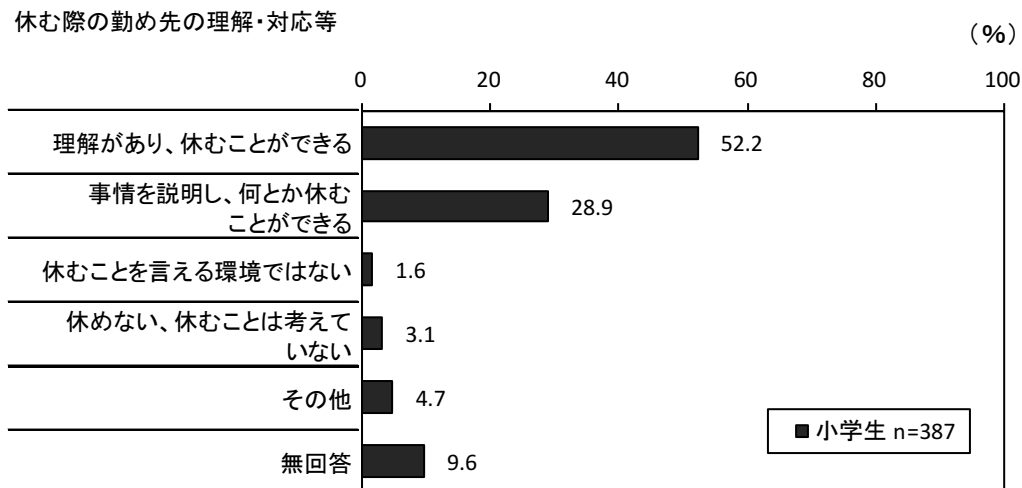
(件)	
項目	件数
子どもの看護を理由に休みがとれない	5
自営業なので休めない	1
休暇日数が足りないので休めない	7
その他	10
合計	20

第2章 調査の結果

（8）休む際の勤め先の理解・対応等

小学生 問 15-4 宛名のお子さんが病気やケガで校を休まなければならなかった際、勤め先の理解・対応等はどうですか。（当てはまる番号1つに○/□内に数字で記入）

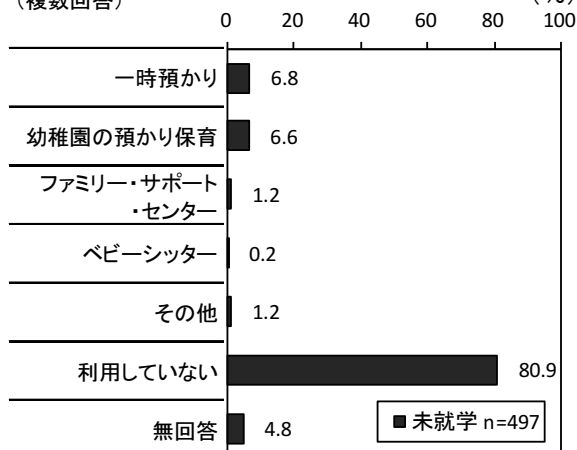
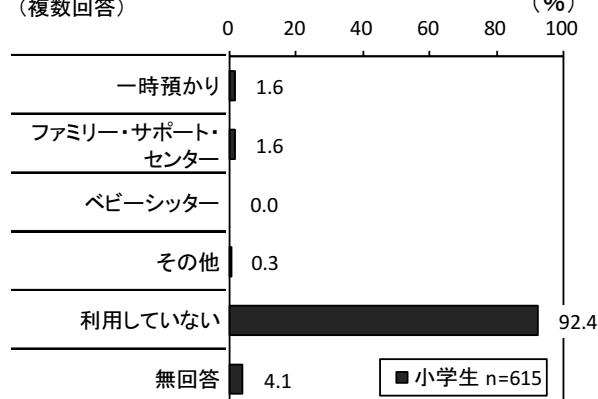
- 休む際の勤め先の理解・対応等は、「理解があり、休むことができる（52.2%）」が最も多く、次いで「事情を説明し、何とか休むことができる（28.9%）」となっています。



8 不定期に利用する事業について

(1) 保護者が通院、就労等の目的で不定期に利用している事業

未就学	問 19 宛名のお子さんについて、私用、保護者の通院、就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。（当てはまる番号すべてに○/□内に数字で記入）
● 保護者が通院、就労等の目的で不定期に利用している事業は少なく、「一時預かり（6.8%）」及び「幼稚園の預かり保育（6.6%）」が1割を割っているものの、比較的利用の多い事業となっています。 ● 年間の利用日数は、比較的利用の多い「一時預かり」及び「幼稚園の預かり保育」は、いずれも「1～10日」が多くなっています。	
小学生	問 16 宛名のお子さんについて、私用、保護者の通院、就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。（当てはまる番号すべてに○/□内に数字で記入）
● 保護者が通院、就労等の目的で不定期に利用している事業は少なく、「一時預かり（1.6%）」及び「ファミリー・サポート・センター（1.6%）」の利用が若干あります。 ● 年間の利用日数は、回答対象者数が少ないため、参考値として件数表を表示します。	

保護者が通院、就労等の目的で不定期に利用している事業
(複数回答) (%)保護者が通院、就労等の目的で不定期に利用している事業
(複数回答) (%)

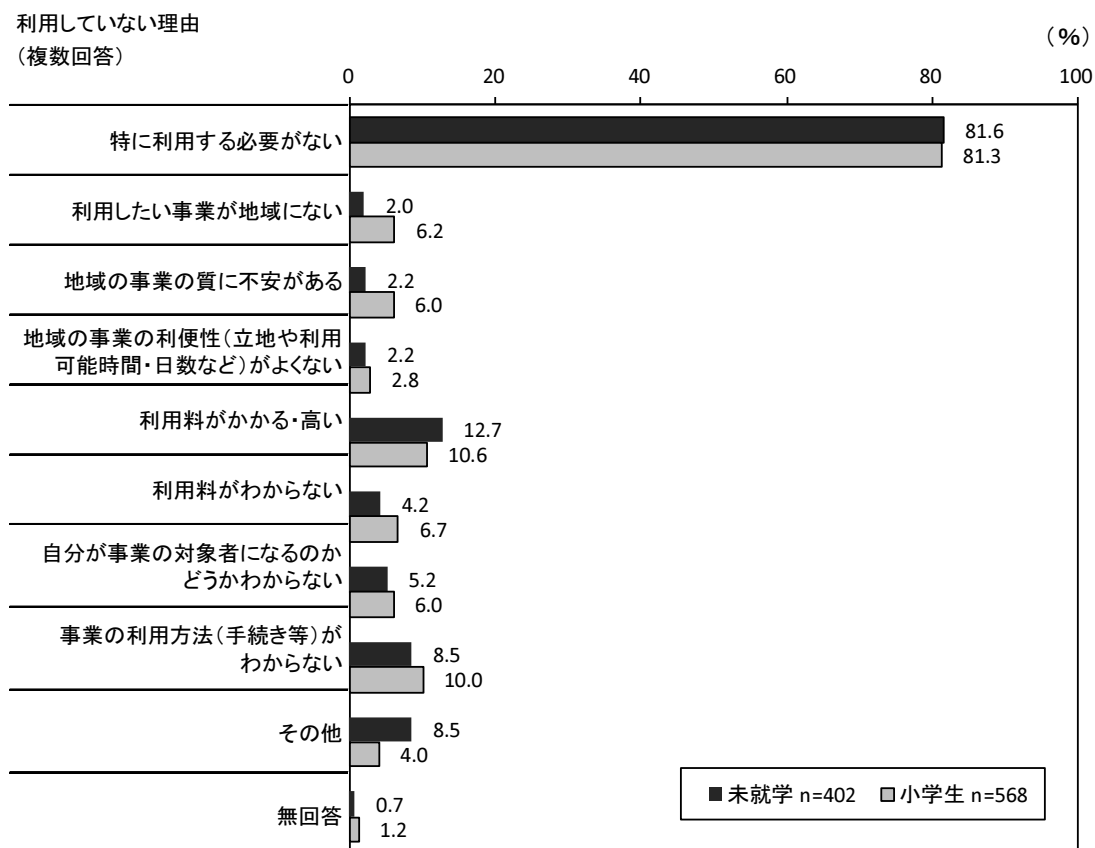
(件)

未就学	一時預かり		幼稚園の預かり保育		ファミリー・サポート・センター		ベビーシッター		その他	
	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数
	1～10日	20	1～10日	29	1～10日	2	1～10日	1	1～10日	5
	11～20日	5	11～20日	0	11～20日	1	11～20日	0	11～20日	0
	21～30日	2	21～30日	0	21～30日	0	21～30日	0	21～30日	0
	31～40日	0	31～40日	0	31～40日	0	31～40日	0	31～40日	0
	41～50日	1	41～50日	0	41～50日	0	41～50日	0	41～50日	0
	51～100日	4	51～100日	3	51～100日	0	51～100日	0	51～100日	0
	100日以上	2	100日以上	0	100日以上	2	100日以上	0	100日以上	1
	無回答	0	無回答	1	無回答	1	無回答	0	無回答	0
	合計	34	合計	33	合計	6	合計	1	合計	6
小学生	一時預かり		ファミリー・サポート・センター		その他					
	日数	件数	日数	件数	日数	件数				
	1～10日	1	1～10日	5	1～10日	2				
	11～20日	2	11～20日	2	11～20日	0				
	21～30日	2	21～30日	0	21～30日	0				
	31～40日	1	31～40日	0	31～40日	0				
	41～50日	0	41～50日	0	41～50日	0				
	51～100日	0	51～100日	0	51～100日	0				
	100日以上	2	100日以上	0	100日以上	0				
	無回答	2	無回答	3	無回答	0				
	合計	10	合計	10	合計	2				

第2章 調査の結果

(2) 利用していない理由

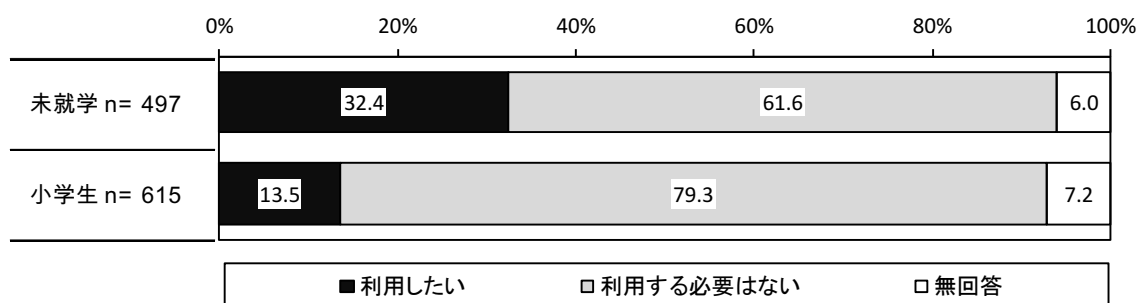
未就学	問 19 で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。
	19-1 現在利用していない理由は何ですか。（当てはまる番号すべてに○）
● 利用していない理由は、「特に利用する必要がない（81.6%）」が特に多く、次いで「利用料がかかる・高い（12.7%）」となっています。	
小学生	問 16 で「5. 利用していない」と回答した方にうかがいます。
	問 16-1 現在利用していない理由は何ですか。（当てはまる番号すべてに○）
● 利用していない理由は、「特に利用する必要がない（81.3%）」が特に多く、次いで「利用料がかかる・高い（10.6%）」となっています。	



(3) 一時預かり等の事業を利用する必要

未就学	問 20 宛名のお子さんについて、私用、保護者の通院、不定期の就労等の目的で、年間、何日くらい一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。ある場合、必要な日数をご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（当てはまる番号・記号すべてに○／利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字で記入）
- 一時預かり等の事業を利用する必要は、「利用したい（32.4%）」が3分の1程度となっています。 - 地区別では、足柄地区及び北郷地区、須走地区は利用希望率が比較的高くなっています。	
小学生	問 17 宛名のお子さんについて、私用・保護者の通院・不定期の就労等の目的で、年間、何日くらい一時預かり等の事業を利用する必要があると思いますか。ある場合は、必要な日数をご記入ください。（当てはまる番号・記号すべてに○／利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字で記入）
一時預かり等の事業を利用する必要は、「利用したい（13.5%）」は1割強となっています。	

一時預かり等の事業を利用する必要



(件,%)

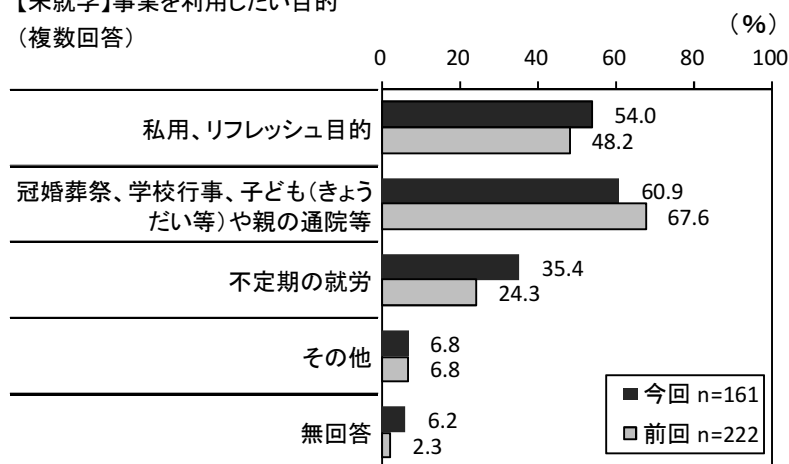
		未就学				未就学			
		件数 (n)	利用したい	利用する必要はない	無回答	件数 (n)	利用したい	利用する必要はない	無回答
全体		497	32.4	61.6	6.0	615	13.5	79.3	7.2
地区別	成美地区	61	26.2	70.5	3.3	107	9.3	84.1	11.2
	明倫地区	78	26.9	66.7	6.4	90	18.9	73.3	16.7
	足柄地区	55	34.5	58.2	7.3	61	9.8	83.6	9.8
	北郷地区	179	35.8	57.5	6.7	203	14.3	80.8	10.3
	須走地区	120	33.3	60.8	5.8	147	13.6	76.9	17.0

第2章 調査の結果

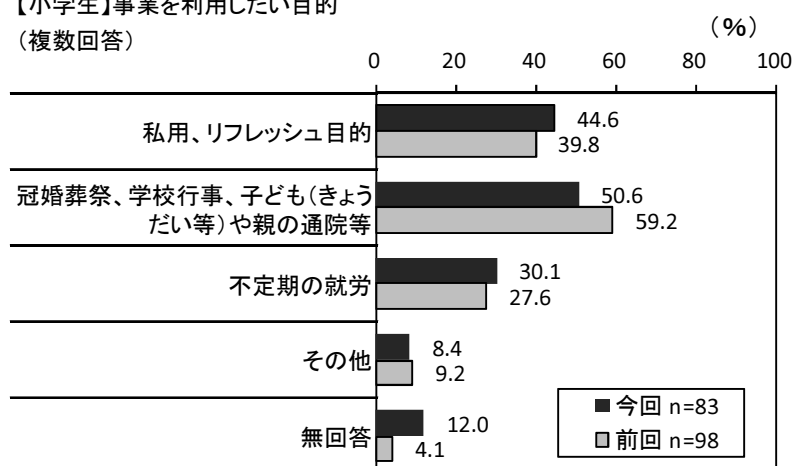
【事業を利用したい目的】

未就学	● 事業を利用したい目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだい等）や親の通院等（60.9%）」が最も多く、次いで「私用、リフレッシュ目的（54.0%）」「不特定の就労（35.4%）」となっています。 ● 前回と比較すると「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだい等）や親の通院等」は低下し、「私用、リフレッシュ目的」及び「不特定の就労」は上昇しています。特に「不特定の就労」は前回よりも 11.1 ポイントと大きく上昇しています。
小学生	● 事業を利用したい目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだい等）や親の通院等（50.6%）」が最も多く、次いで「私用、リフレッシュ目的（44.6%）」「不特定の就労（30.1%）」となっています。 ● 前回と比較すると「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだい等）や親の通院等」は低下し、「私用、リフレッシュ目的」及び「不特定の就労」は上昇しています。

【未就学】事業を利用したい目的
(複数回答)



【小学生】事業を利用したい目的
(複数回答)



【事業を利用する必要な日数】

未就学	● 事業を利用する必要な日数、いずれも「1～10日」がおおくなっていますが、「不定期の就労」については、件数は少ないものの、長い日数もみられます。
小学生	● 事業を利用する必要な日数、いずれも「1～10日」がおおくなっています。

(件)

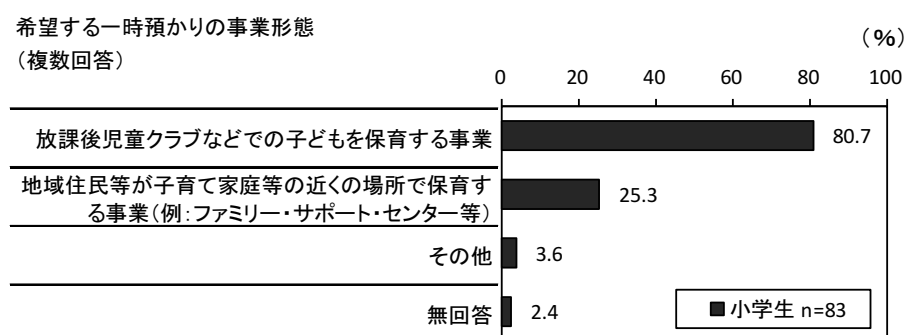
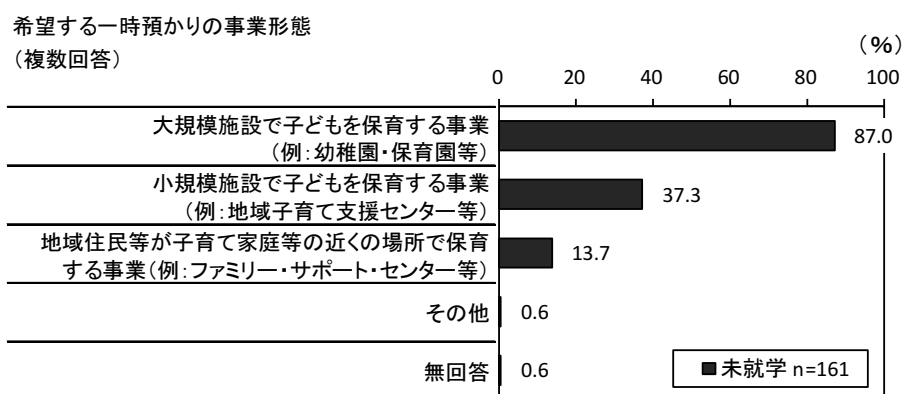
未就学							
私用、リフレッシュ		冠婚葬祭、学校行事、子ども(きょうだい等)や親の通院等		不定期の就労		その他	
日数	件数	カテゴリ	件数	日数	件数	日数	件数
1～10日	56	1～10日	78	1～10日	28	1～10日	6
11～20日	21	11～20日	12	11～20日	9	11～20日	0
21～30日	2	21～30日	0	21～30日	4	21～30日	2
31～40日	0	31～40日	1	31～40日	2	31～40日	0
41～50日	0	41～50日	0	41～50日	3	41～50日	1
51～60日	0	51～60日	1	51～60日	0	51～60日	0
61～70日	0	61～70日	0	61～70日	0	61～70日	0
71～80日	0	71～80日	0	71～80日	1	71～80日	0
81～90日	0	81～90日	0	81～90日	2	81～90日	1
91日～100日	1	91日～100日	0	91日以上	4	91日以上	0
無回答	7	無回答	6	無回答	4	無回答	1
合計	87	合計	98	合計	57	合計	11
小学生							
私用、リフレッシュ		冠婚葬祭、学校行事、子ども(きょうだい等)や親の通院等		不定期の就労		その他	
日数	件数	カテゴリ	件数	日数	件数	日数	件数
1～10日	23	1～10日	34	1～10日	14	1～10日	3
11～20日	8	11～20日	3	11～20日	3	11～20日	0
21～30日	2	21～30日	2	21～30日	1	21～30日	2
31～40日	1	31～40日	0	31～40日	0	31～40日	0
41～50日	0	41～50日	0	41～50日	1	41～50日	0
51～60日	0	51～60日	0	51～60日	1	51～60日	1
61～70日	0	61～70日	0	61～70日	0	61～70日	0
71～80日	0	71～80日	0	71～80日	0	71～80日	0
81～90日	0	81～90日	0	81～90日	0	81～90日	0
91日～100日	0	91日～100日	0	91日以上	1	91日以上	0
無回答	3	無回答	3	無回答	4	無回答	1
合計	37	合計	42	合計	25	合計	7

第2章 調査の結果

(4) 希望する一時預かり等の事業形態等

① 希望する一時預かりの事業形態

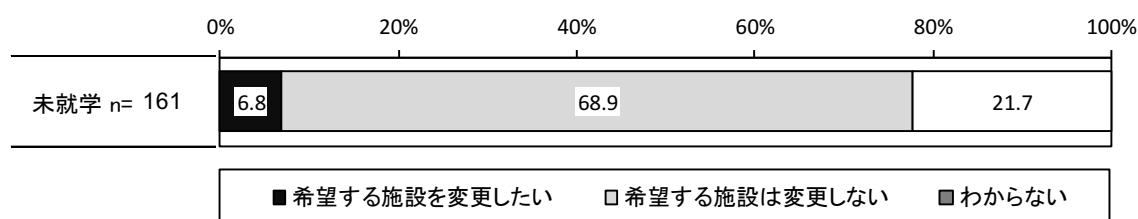
未就学	問 20 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。 問 20-1 問 20 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（当てはまる番号すべてに○）
● 希望する一時預かりの事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育園等）（87.0%）」が特に多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援センター等）（37.3%）」「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）（13.7%）」となっています。	
小学生	問 17 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。 問 17-1 問 17 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。（当てはまる番号すべてに○）
● 希望する一時預かりの事業形態は、「放課後児童クラブなどでの子どもを保育する事業（80.7%）」が特に多く、次いで地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）（25.3%）」となっています。	



② 教育・保育施設の費用が無償化された場合の施設の変更希望

未就学	問 20 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
	問 20-2 教育・保育施設の費用が無償化された場合、問 20-1 で回答した利用を希望する施設を変更したいと思いますか。（当てはまる番号 1 つに○）
● 教育・保育施設の費用が無償化された場合の施設の変更希望は、「希望する施設は変更しない（68.9%）」が多数を占め、「希望する施設を変更したい（6.8%）」は1割を割っています。	

教育・保育施設の費用が無償化された場合の施設の変更希望



③ 教育・保育施設の費用が無償化された場合の施設の変更希望

未就学	問 20-2 で「1. 希望する施設を変更したい」に○をつけた方に伺います。
	問 20-3 教育・保育施設が無償化（認定外は上限設定）にされた場合に、定期的に利用したいと考える施設をお答えください。（当てはまる番号 1 つに○）
● 教育・保育施設の費用が無償化された場合の施設の変更希望は、回答対象者数が少ないため、参考値として件数表を表示します。	

教育・保育施設の費用が無償化された場合に定期的に利用したい施設

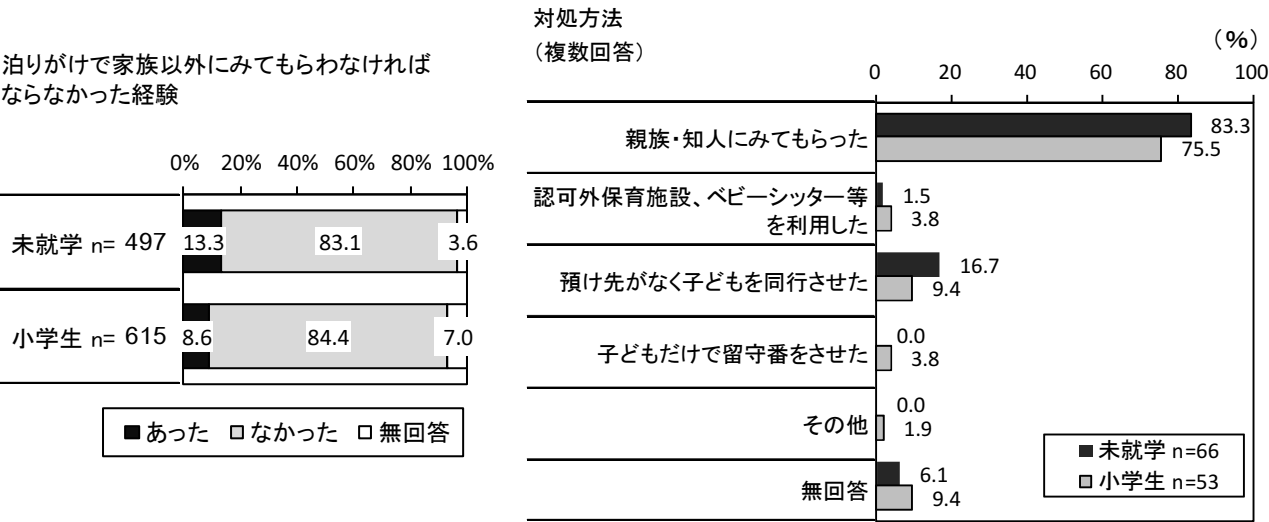
項目	件数
幼稚園	2
幼稚園の預かり保育	0
認可保育所	0
認定こども園	5
小規模な保育施設	1
家庭的保育	1
事業所内保育施設	0
自治体の認証・認定保育施設	0
無回答	2
合計	11

第2章 調査の結果

(5) 泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験

① 泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験及び対処方法

未就学	問 21 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを、泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法及びそれぞれの日数をご記入ください。（当てはまる番号すべてに○/□内に数字で記入）
● 泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験は、「なかった（83.1%）」が大多数を占めるものの、「あった（13.3%）」も1割強となっています。 ● 「あった」場合の対処方法は、「親族・知人にみてもらった（83.3%）」が特に多く、次いで「預け先がなく子どもを同行させた（16.7%）」となっています。 ● 対処方法ごとの日数は、「1～5日」が多くなっています。	
小学生	問 18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで、家族以外に看てもらわなければならなかったことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法及びそれぞれの日数をご記入ください。（当てはまる番号すべてに○/□内に数字で記入）
● 泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験は、「なかった（84.4%）」が大多数を占めるものの、「あった（8.6%）」も1割弱となっています。 ● 「あった」場合の対処方法は、「親族・知人にみてもらった（75.5%）」が特に多くなっています。 ● 対処方法ごとの日数は、「1～5日」が多くなっています。	

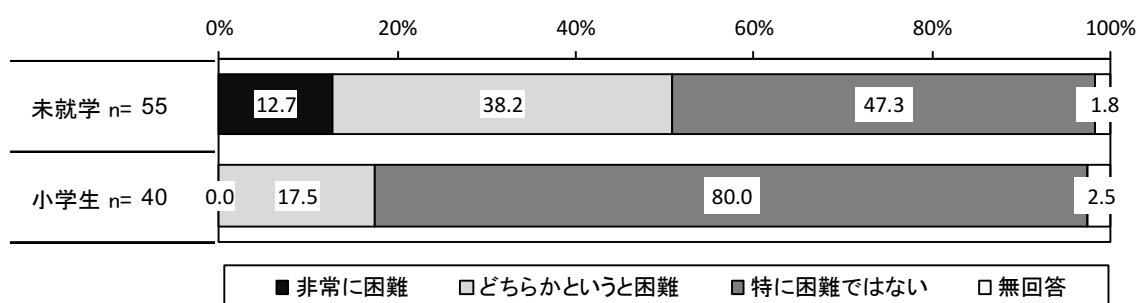


未就学						小学生									
親族・知人にみてもらった		認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した		預け先がなく子どもを同行させた		親族・知人にみてもらった		認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した		預け先がなく子どもを同行させた		仕方なく子どもだけで留守番をさせた		その他留守番をさせた	
日数	件数	カテゴリ	件数	日数	件数	日数	件数	カテゴリ	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数
1～5日	37	1～5日	1	1～5日	7	1～5日	30	1～5日	0	1～5日	4	1～5日	2	1～5日	0
6～10日	10	6～10日	0	6～10日	2	6～10日	3	6～10日	0	6～10日	1	6～10日	0	6～10日	0
11～20日	4	11～20日	0	11～20日	0	11～20日	1	11～20日	0	11～20日	0	11～20日	0	11～20日	0
21～30日	0	21～30日	0	21～30日	0	21～30日	0	21～30日	0	21～30日	0	21～30日	0	21～30日	0
31～40日	0	31～40日	0	31～40日	0	31～40日	0	31～40日	0	31～40日	0	31～40日	0	31～40日	0
41～50日	1	41～50日	0	41～50日	0	41～50日	1	41～50日	0	41～50日	0	41～50日	0	41～50日	0
51日以上	1	51日以上	0	51日以上	0	51日以上	0	51日以上	0	51日以上	0	51日以上	0	51日以上	0
無回答	2	無回答	0	無回答	2	無回答	5	無回答	2	無回答	0	無回答	0	無回答	1
合計	55	合計	1	合計	11	合計	40	合計	2	合計	5	合計	2	合計	1

② 親族・知人にみてもらうことの困難度

未就学	問 21 で「1. あった ア. 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。 問 21-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。（当てはまる番号 1 つに○）
● 親族・知人にみてもらうことの困難度は、「どちらかというと困難（38.2%）」が最も多く、「非常に困難（12.7%）」と合計すると 50.9%と半数程度を占めています。	
小学生	問 18-1 は、問 18 で「1. あった ア. 親族・知人に看てもらった」と答えた方にうかがいます。 問 18-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。（当てはまる番号 1 つに○）
● 親族・知人にみてもらうことの困難度は、「特に困難ではない（80.0%）」が多数を占め、「どちらかというと困難（17.5%）」は2割弱となっています。	

親族・知人にみてもらうことの困難度



第2章 調査の結果

9 小学生の放課後の過ごし方

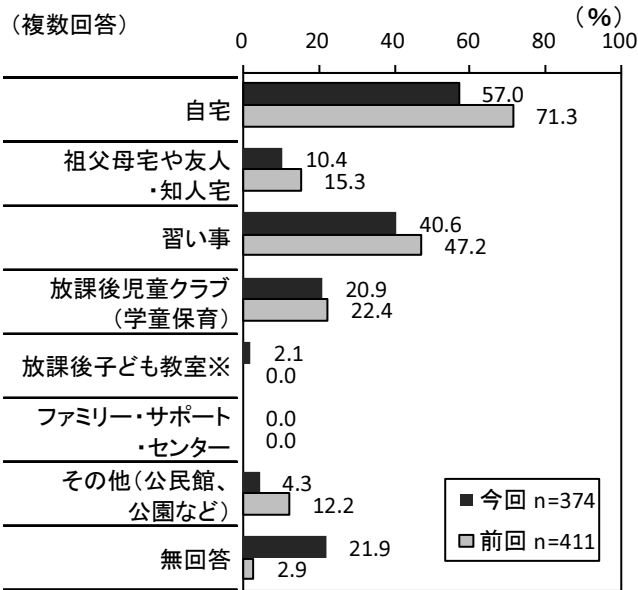
(1) 低学年の放課後の過ごし方の現状と希望

① 現在の過ごし方、低学年の間の希望する過ごし方

小学生	宛名のお子さんが小学1～3年生の方にうかがいます。
	問10 宛名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間を、どのような場所で過ごしていますか。また、現在利用している、していないにかかわらず、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（当てはまる番号すべてに○／過ごさせたい場所に該当するものは日数を口内に数字で記入）なお、「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用を希望する時間もご記入ください。
● 現在の過ごし方は、「自宅（57.0%）」が最も多く、次いで「習い事（40.6%）」「放課後児童クラブ（学童保育）（20.9%）」となっています。 ● 前回と比較すると、「自宅」は14.3ポイント低下し、「放課後児童クラブ（学童保育）」は前回と同程度となっています。 ● 地区別に放課後児童クラブの利用率をみると、明倫地区及び北郷地区が3割前後に上ります。 ● 現在の過ごし方における週当たりの利用頻度は、「自宅」及び「放課後児童クラブ」は「5日」が最も多く、「習い事」は1～3日が多く、特に「2日」が多くなっています。 ● 「放課後児童クラブ」の利用終了時間は、「17～17時30分未満」が多くなっています。	

【現在】放課後過ごしている場所

（複数回答）



※前回調査ではない選択肢

(件,%)		
	件数 (n)	放課後児童クラブ
全体	374	20.9
地区別		
成美地区	59	10.2
明倫地区	46	30.4
足柄地区	28	28.6
北郷地区	134	21.6
須走地区	102	19.6

【現在】週当たりの利用頻度

(件)

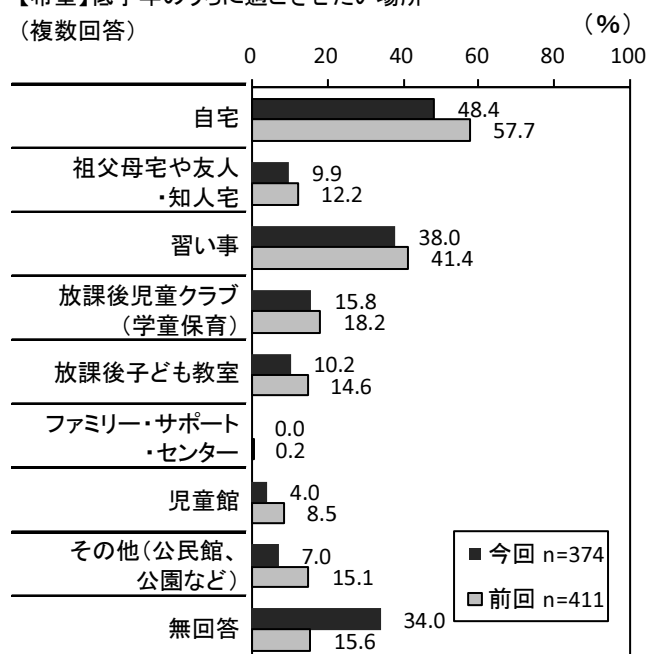
自宅		祖父母宅や友人・知人宅		習い事		放課後児童クラブ		放課後子ども教室		その他	
日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数
1日	11	1日	14	1日	43	1日	1	1日	6	1日	0
2日	21	2日	5	2日	49	2日	2	2日	0	2日	0
3日	25	3日	4	3日	34	3日	5	3日	0	3日	0
4日	20	4日	2	4日	15	4日	12	4日	0	4日	0
5日	105	5日	12	5日	9	5日	55	5日	1	5日	0
6日	2	6日	0	6日	0	6日	1	6日	0	6日	0
7日	22	7日	0	7日	0	7日	0	7日	0	7日	0
無回答	7	無回答	2	無回答	2	無回答	2	無回答	1	無回答	16
合計	213	合計	39	合計	152	合計	78	合計	8	合計	16

【現在】利用終了時間 (件)

放課後児童クラブ	
時間	件数
14時台	2
15時台	2
16時台	14
17～17時30分未満	28
17時30分～18時未満	17
18～18時30分未満	12
18時30分～19時未満	1
無回答	2
合計	78

【低学年の間の希望の過ごし方】

- 小学1～3年生の低学年のうちに過ごさせたい場所は、「自宅（48.4%）」が最も多く、次いで「習い事（38.0%）」「放課後児童クラブ（学童保育）（15.8%）」となっています。
- 前回と比較すると、1位の「自宅」、2位の「習い事」、3位の「放課後児童クラブ（学童保育）」は、いずれも比率が低下しています。
- 地区別に放課後児童クラブの利用希望率をみると、明倫地区が約2割とやや高くなっています。
- 過ごさせたい場所ごとの週当たりの利用頻度は、「自宅」は「5日」が多いものの、「2日」や「3日」など、現在よりも短い日数の希望が多くなっています。「放課後児童クラブ」は「4日」の希望が多くなっています。
- 「放課後児童クラブ」の利用終了時間は、現在よりも18時台の希望が多くなっています。

【希望】低学年のうちに過ごさせたい場所
(複数回答)

【希望:低学年】

(件,%)

利用終了時間

(件)

		件数 (n)	放課後児童クラブ (%)
全体		374	15.8
地区別	成美地区	59	10.2
	明倫地区	46	19.6
	足柄地区	28	14.3
	北郷地区	134	16.4
	須走地区	102	17.6

放課後児童クラブ	
時間	件数
14時台	0
15時台	0
16時台	7
17～17時30分未満	15
17時30分～18時未満	9
18～18時30分未満	15
18時30分～19時未満	7
無回答	6
合計	59

【希望:低学年】週当たりの利用頻度

(件)

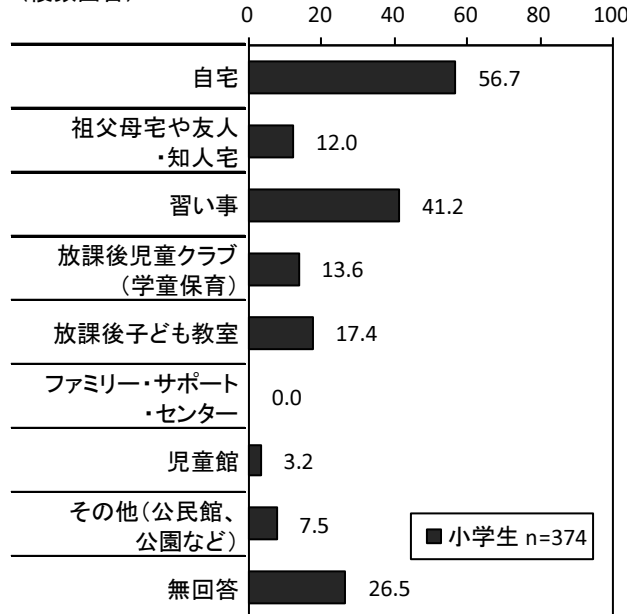
自宅		祖父母宅や友人・知人宅		習い事		放課後児童クラブ		放課後子ども教室		児童館		その他	
日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数
1日	12	1日	15	1日	35	1日	7	1日	17	1日	2	1日	4
2日	25	2日	8	2日	58	2日	15	2日	12	2日	7	2日	12
3日	33	3日	3	3日	30	3日	7	3日	3	3日	1	3日	4
4日	18	4日	1	4日	10	4日	29	4日	0	4日	0	4日	0
5日	69	5日	7	5日	6	5日	0	5日	5	5日	4	5日	4
6日	0	6日	0	6日	0	6日	0	6日	0	6日	0	6日	0
7日	14	7日	0	7日	0	7日	0	7日	0	7日	0	7日	0
無回答	10	無回答	3	無回答	3	無回答	1	無回答	1	無回答	1	無回答	2
合計	181	合計	37	合計	142	合計	59	合計	38	合計	15	合計	26

第2章 調査の結果

② 高学年になってからの希望する過ごし方

小学生	問 10-1 宛名のお子さんが小学校高学年（4～6年生）になったら、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。（当てはまる番号すべてに○／過ごさせたい場所に該当するものは口内に数字を記入）なお、「放課後児童クラブ（学童保育）」は利用を希望する時間をご記入ください。 ● 高学年になってからの希望する過ごし方は、「自宅（56.7%）」が最も多く、次いで「習い事（41.2%）」「放課後子ども教室（17.4%）」「放課後児童クラブ（学童保育）（13.6%）」となっています。 ● 地区別に放課後児童クラブの利用希望率をみると、明倫地区及び足柄地区は2割強となっています。 ● 高学年になってから過ごさせたい場所の週当たりの利用頻度は、「自宅」及び「放課後児童クラブ」は「5日」が多く、「習い事」は「2日」、「放課後子ども教室」は「1日」及び「2日」が多くなっています。
-----	---

【希望】小学校高学年（4～6年生）になったら過ごさせたい場所
（複数回答）



		件数 (n)	放課後児童 クラブ (件,%)
地区別	全体	374	13.6
	成美地区	59	6.8
	明倫地区	46	21.7
	足柄地区	28	21.4
	北郷地区	134	11.2
	須走地区	102	15.7

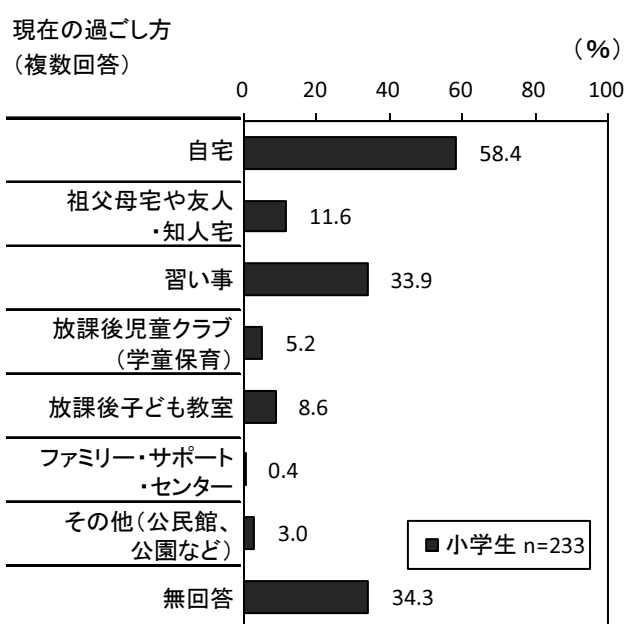
【希望:高学年】週当たりの利用頻度

(件)

自宅		祖父母宅や友人・知人宅		習い事		放課後児童クラブ		放課後子ども教室		児童館		その他	
日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数
1日	17	1日	13	1日	34	1日	4	1日	26	1日	3	1日	9
2日	37	2日	15	2日	65	2日	6	2日	28	2日	6	2日	13
3日	37	3日	4	3日	39	3日	10	3日	6	3日	1	3日	1
4日	19	4日	0	4日	8	4日	6	4日	0	4日	0	4日	0
5日	83	5日	8	5日	7	5日	25	5日	5	5日	2	5日	3
6日	2	6日	0	6日	0	6日	0	6日	0	6日	0	6日	0
7日	11	7日	0	7日	0	7日	0	7日	0	7日	0	7日	0
無回答	6	無回答	5	無回答	1	無回答	0	無回答	0	無回答	0	無回答	2
合計	212	合計	45	合計	154	合計	51	合計	65	合計	12	合計	28

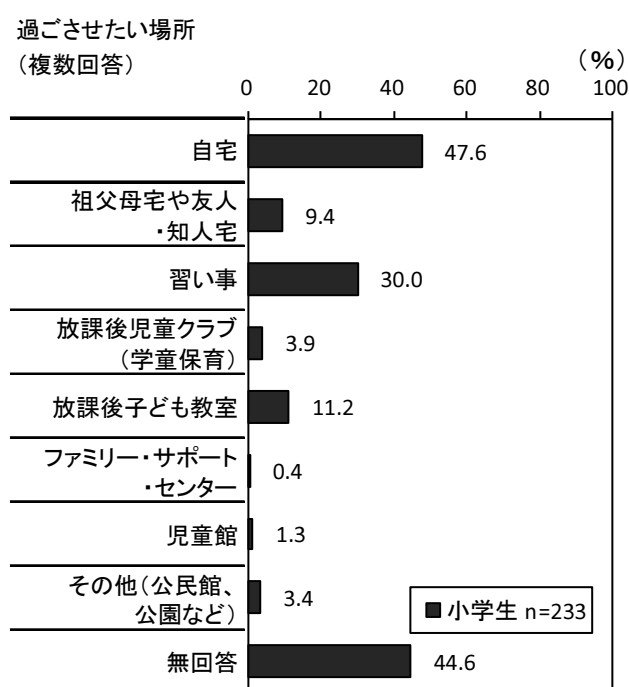
(2) 高学年の放課後の過ごし方の現状と希望

小学生	宛名のお子さんが小学4～6年生の方にうかがいます。
	問11 宛名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間を、どのような場所で過ごしていますか。また、現在利用している、していないにかかわらず、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。それぞれの週当たり日数をご記入ください。（当てはまる番号すべてに○／過ごさせたい場所に該当するものは日数を口内に数字で記入）なお、「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用を希望する時間をご記入ください。
● 現在の過ごし方は、「自宅（58.4%）」が最も多く、次いで「習い事（33.9%）」「放課後子ども教室（8.6%）」となっています。 地区別に放課後児童クラブの利用率をみると、足柄地区は1割強となっています。 ● 過ごさせたい場所は、「自宅（47.6%）」が最も多く、次いで「習い事（30.0%）」「放課後子ども教室（11.2%）」となっています。 地区別に放課後児童クラブの利用希望率をみると、須走地区は1割強となっています。	



(件,%)

	件数 (n)	放課後児童 クラブ
全体	233	5.2
地区別	成美地区	-
	明倫地区	2.4
	足柄地区	12.9
	北郷地区	4.3
	須走地区	9.3



(件,%)

	件数 (n)	放課後児童 クラブ
全体	233	3.9
地区別	成美地区	-
	明倫地区	-
	足柄地区	3.2
	北郷地区	4.3
	須走地区	11.6

第2章 調査の結果

- 現在の過ごし方における週当たりの利用頻度は、「自宅」は「5日」が多く、「放課後児童クラブ」も件数は少ないものの「5日」が多くなっています。その他は「1日」が比較的多くなっています。
- 過ごさせたい場所の週当たりの利用頻度は、「自宅」は「5日」が多く、「放課後児童クラブ」も件数は少ないものの「5日」が多くなっています。その他は、「1日」もしくは「2日」が多くなっています。
- 利用終了時間については、現在と希望ともに回答対象者数が少ないため、参考値として件数表を表示します。

【現在】週当たりの利用頻度

(件)

自宅		祖父母宅や友人・知人宅		習い事		放課後児童クラブ		放課後子ども教室		ファミリー・サポート・センター		その他	
日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数
1日	10	1日	10	1日	26	1日	0	1日	11	1日	0	1日	0
2日	14	2日	8	2日	22	2日	1	2日	9	2日	0	2日	0
3日	15	3日	1	3日	9	3日	1	3日	0	3日	1	3日	0
4日	7	4日	3	4日	12	4日	2	4日	0	4日	0	4日	0
5日	70	5日	5	5日	9	5日	8	5日	0	5日	0	5日	0
6日	1	6日	0	6日	1	6日	0	6日	0	6日	0	6日	0
7日	17	7日	0	7日	0	7日	0	7日	0	7日	0	7日	0
無回答	2	無回答	0	無回答	0	無回答	0	無回答	0	無回答	0	無回答	7
合計	136	合計	27	合計	79	合計	12	合計	20	合計	1	合計	7

【希望：低学年】週当たりの利用頻度

(件)

自宅		祖父母宅や友人・知人宅		習い事		放課後児童クラブ		放課後子ども教室		ファミリー・サポート・センター		児童館		その他	
日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数			日数	件数	日数	件数
1日	7	1日	7	1日	18	1日	1	1日	10	1日	0	1日	3	1日	3
2日	13	2日	5	2日	26	2日	0	2日	10	2日	0	2日	0	2日	2
3日	19	3日	3	3日	13	3日	2	3日	4	3日	1	3日	0	3日	1
4日	7	4日	1	4日	7	4日	0	4日	0	4日	0	4日	0	4日	1
5日	52	5日	4	5日	4	5日	6	5日	0	5日	0	5日	0	5日	0
6日	1	6日	0	6日	0	6日	0	6日	0	6日	0	6日	0	6日	0
7日	10	7日	0	7日	0	7日	0	7日	0	7日	0	7日	0	7日	0
無回答	2	無回答	2	無回答	2	無回答	0	無回答	2	無回答	0	無回答	0	無回答	1
合計	111	合計	22	合計	70	合計	9	合計	26	合計	1	合計	3	合計	8

【現在】利用終了時間 (件)

放課後児童クラブ	
時間	件数
17～17時30分未満	3
17時30分～18時未満	6
18～18時30分未満	3
合計	12

【希望】利用終了時間 (件)

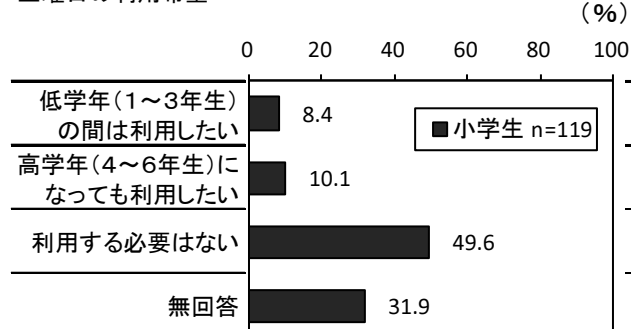
放課後児童クラブ	
時間	件数
17～17時30分未満	3
17時30分～18時未満	3
18～18時30分未満	3
合計	9

(3) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望

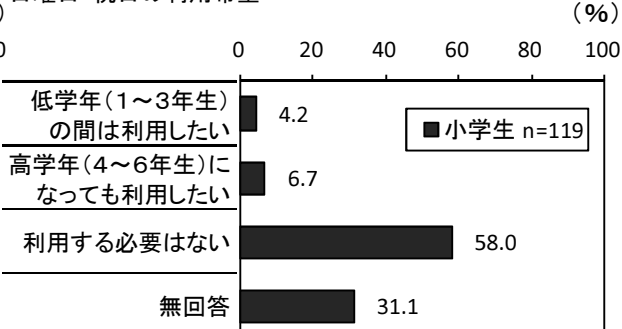
小学生 問12は、問10もしくは問10-1、問11で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。
 問12 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか（事業の利用には、一定の利用料がかかります）。また、利用したい時間帯をご記入ください。（(1)(2)それぞれ、当てはまる番号1つに○/□内に数字で記入）

- 土曜日の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい（8.4%）」及び「高学年（4～6年生）になっても利用したい（10.1%）」は1割前後となり、合計すると2割弱となります。
 地区別では、須走地区は「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が2割弱となっています。
- 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい（6.7%）」及び「高学年（4～6年生）になっても利用したい（4.2%）」は1割を割り、合計すると10.9%となります。
 地区別では、須走地区は「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が1割強となっています。
- 利用時間帯は、回答対象者数が少ないため、参考値として件数表を表示します。

土曜日の利用希望



日曜日・祝日の利用希望



土曜日の利用希望

(件、%)

	件数 (n)	低学年(1～3年生)の間は利用したい	高学年(4～6年生)になっても利用したい	利用する必要はない	無回答
全体	119	8.4	10.1	49.6	31.9
地区別					
成美地区	9	22.2	-	77.8	-
明倫地区	21	9.5	4.8	52.4	33.3
足柄地区	15	-	6.7	53.3	40.0
北郷地区	36	5.6	11.1	44.4	38.9
須走地区	37	8.1	18.9	45.9	27.0

日曜日の利用希望

(件、%)

	件数 (n)	低学年(1～3年生)の間は利用したい	高学年(4～6年生)になっても利用したい	利用する必要はない	無回答
全体	119	4.2	6.7	58.0	31.1
地区別					
成美地区	9	11.1	-	88.9	-
明倫地区	21	-	4.8	61.9	33.3
足柄地区	15	-	6.7	53.3	40.0
北郷地区	36	2.8	5.6	52.8	38.9
須走地区	37	5.4	13.5	56.8	24.3

(件)

土曜日			
開始時間		終了時間	
時間	件数	時間	件数
7時30分～8時未満	4	16時台	3
8時～8時30分未満	8	17時～17時30分未満	6
8時30分～9時未満	6	17時30分～18時未満	5
9時台	1	18時～18時30分未満	6
10時台	1	18時30分～19時未満	1
12時台	1		
15時台	1		
無回答	0	無回答	1
合計	22	合計	22

(件)

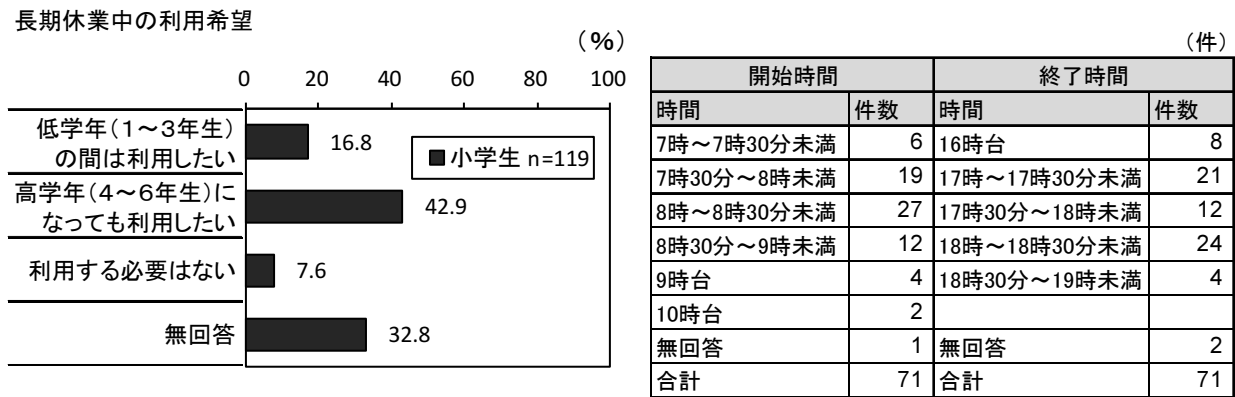
日曜日・祝日			
開始時間		終了時間	
時間	件数	時間	件数
7時～7時30分未満	0	13時台	1
7時30分～8時未満	2	14時	0
8時～8時30分未満	4	15時台	1
8時30分～9時未満	5	16時台	2
9時台	1	17時～17時30分未満	1
13時台	1	17時30分～18時未満	3
		18時～18時30分未満	4
		18時30分～19時未満	1
合計	13	合計	13

第2章 調査の結果

(4) 長期休業中の放課後児童クラブの利用希望

小学生 問 13 は、問 10 もしくは問 10-1、問 11 で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。
問 13 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか（事業の利用には、一定の利用料がかかります）。（当てはまる番号 1 つに○／□内に数字で記入）

- 長期休業中の放課後児童クラブの利用希望は、「高学年（4～6年生）になっても利用したい（42.9%）」が多数を占め、「低学年（1～3年生）の間は利用したい（16.8%）」と合計すると 59.7%となっています。
- 地区別では、北郷地区は「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が5割となっています。
- 利用時間帯は、開始時間は「8 時～8 時 30 分未満」が最も多くなっています。終了時間は「18 時～18 時 30 分未満」が最も多くなっています。



長期休業中の利用希望		(件,%)				
		件数 (n)	低学年(1～3年生)の間 は利用したい	高学年(4～6年生)に なっても利用 したい	利用する必 要はない	無回答
全体		119	16.8	42.9	7.6	32.8
地区別	成美地区	9	33.3	22.2	22.2	22.2
	明倫地区	21	19.0	33.3	19.0	28.6
	足柄地区	15	-	46.7	6.7	46.7
	北郷地区	36	11.1	50.0	-	38.9
	須走地区	37	18.9	45.9	5.4	27.0

(5) 放課後児童クラブの利用にあたって感じていること

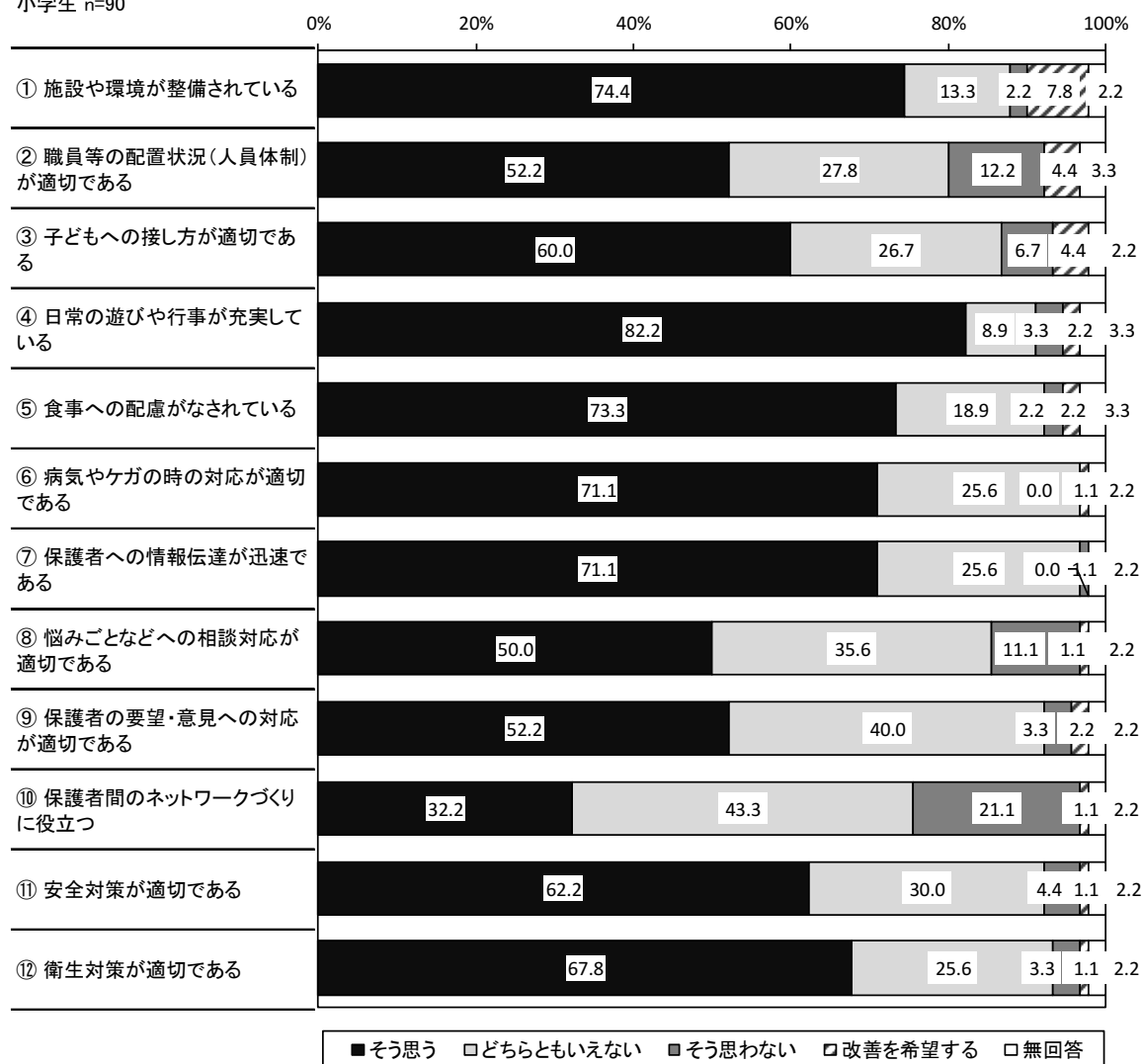
小学生	問 14 は、放課後児童クラブ（学童保育）を利用している方にうかがいます。
	問 14 放課後児童クラブ（学童保育）に対して、どのように感じていますか。（①～⑫について、それぞれ1つに○）

● 放課後児童クラブの利用にあたって感じていることは、「④ 日常の遊びや行事が充実している」は「そう思う（82.2%）」と評価が最も高く、次いで「① 施設や環境が整備されている（74.4%）」となっています。

一方、「⑩ 保護者間のネットワークづくりに役立つ」は「そう思わない（21.1%）」という低い評価となっています。

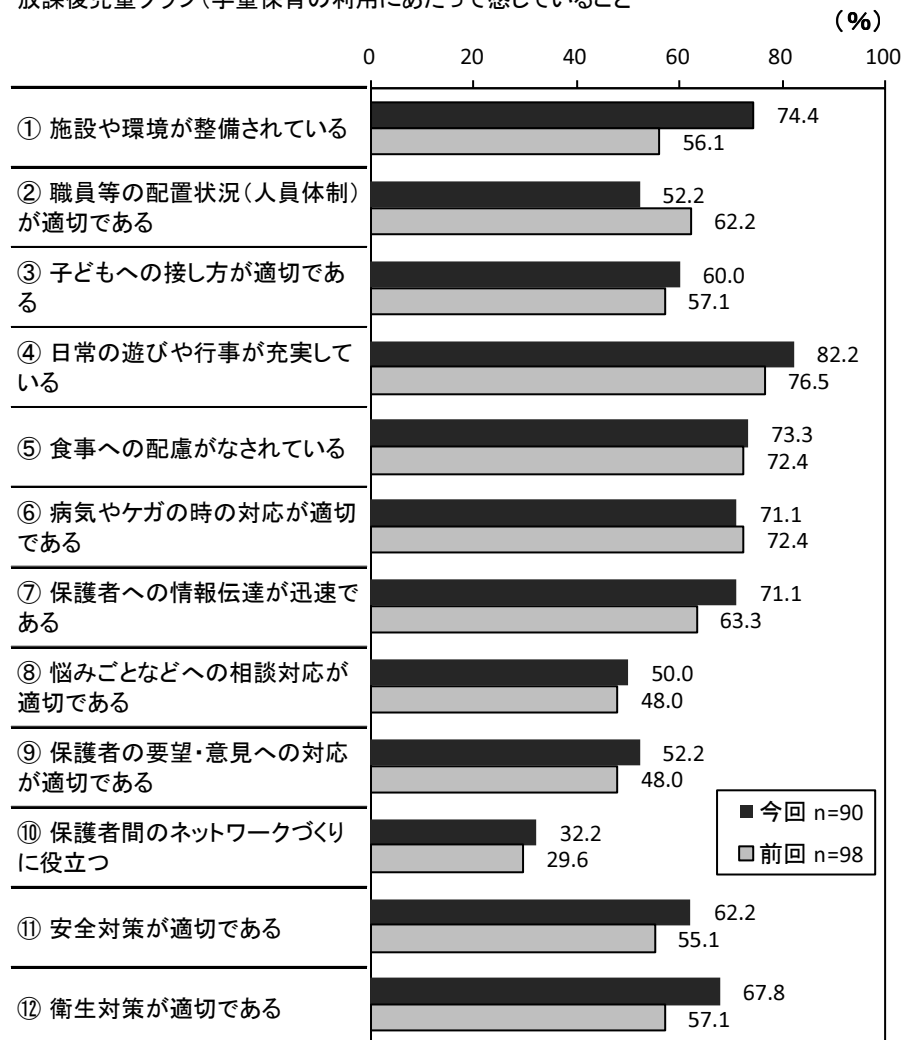
放課後児童クラブ（学童保育）の利用にあたって感じていること

小学生 n=90



- 「思う」という評価する比率を前回と比較すると、「① 施設や環境が整備されている」は18.3ポイント上昇するなど、概ね前回は上回っていますが、「② 職員等の配置状況（人員体制）が適切である」は52.2%と10ポイント低下しています。

放課後児童クラブ（学童保育の利用にあたって感じていること

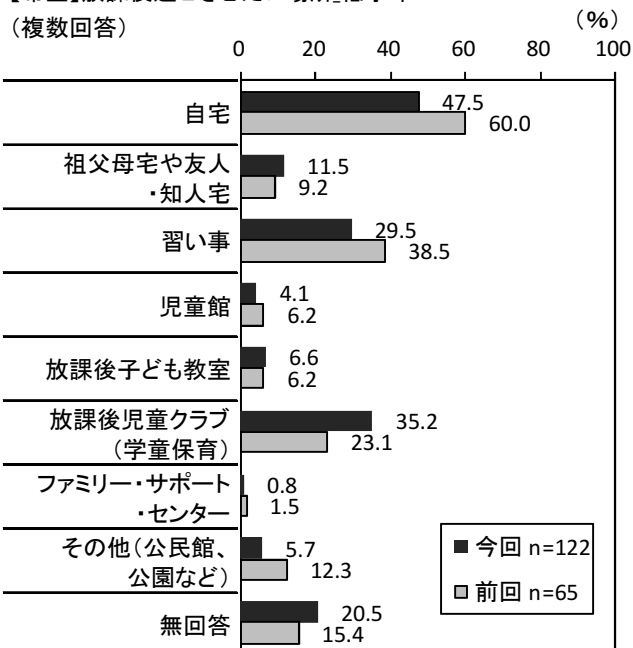


10 未就学児童の小学生になってから希望する放課後の過ごし方

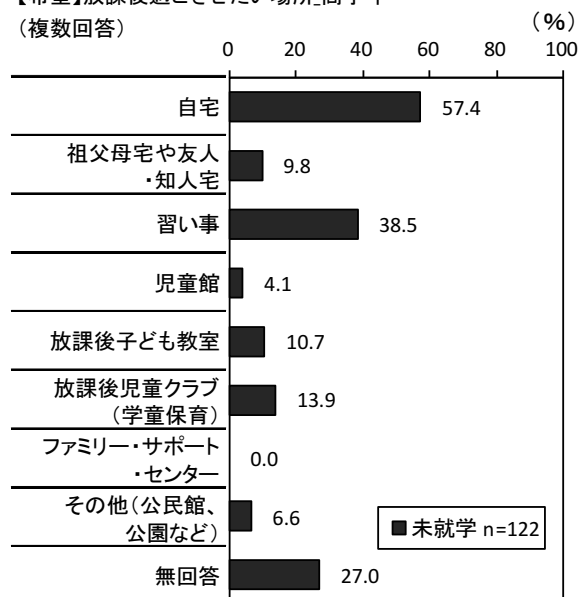
(1) 小学生になってからの放課後の過ごさせたい場所

未就学	宛名のお子さんが5歳以上の方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。 問 22 宛名のお子さんについて、小学校就学後は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年及び高学年、それぞれについてお答えください。過ごさせたい場所に該当するものは週当たりの日数をご記入ください。（当てはまる番号すべてに○/□内に数字で記入）なお、「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用を希望する時間もご記入ください。
	● 小学校低学年のうちの放課後過ごさせたい場所は、「自宅（47.5%）」が最も多く、次いで「放課後児童クラブ（学童保育）（35.2%）」「習い事（29.5%）」となっています。 前回と比較すると、「自宅」は 12.5 ポイント低下する一方で、「放課後児童クラブ」は 12.1 ポイント上昇しています。 ● 地区別に低学年の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望をみると、成美地区及び北郷地区の希望が4割台に上ります。 ● 小学校高学年のうちの放課後過ごさせたい場所は、「自宅（57.4%）」が最も多く、次いで「習い事（38.5%）」「放課後児童クラブ（学童保育）（13.9%）」となっています。

【希望】放課後過ごさせたい場所_低学年



【希望】放課後過ごさせたい場所_高学年



低学年の放課後児童クラブの利用希望

(件,%)		
	件数 (n)	放課後児童クラブ
全体	122	35.2
地区別	成美地区	41.7
	明倫地区	38.1
	足柄地区	31.3
	北郷地区	40.4
	須走地区	15.0

第2章 調査の結果

- 過ごさせたい場所ごとの利用希望日数は、低学年は、回答の多かった「自宅」及び「放課後児童クラブ」は「5日」が、習い事は「2日」が最も多くなっています。「放課後児童クラブ」の利用希望終了時間は17時台が多く、中でも「17時～17時30分」が多くなっています。
- 高学年は、回答の多かった「自宅」は「5日」が、「習い事」は「2日」が多く、「放課後児童クラブ」は「5日」が最も多くなっています。「放課後児童クラブ」の利用希望終了時間は、回答対象者数が少ないため、参考値として件数表を表示します。

低学年：週当たりの利用希望頻度

(件)

自宅		祖父母宅や友人・知人宅		習い事		児童館	
日数	件数	カテゴリ	件数	日数	件数	日数	件数
1日	0	1日	4	1日	10	1日	3
2日	9	2日	4	2日	20	2日	2
3日	9	3日	1	3日	5	3日	0
4日	5	4日	1	4日	1	4日	0
5日	26	5日	4	5日	0	5日	0
6日	1	6日	0	6日	0	6日	0
7日	6	7日	0	7日	0	7日	0
無回答	2	無回答	0	無回答	0	無回答	0
合計	58	合計	14	合計	36	合計	5
放課後子ども教室		放課後児童クラブ		ファミリー・サポート		その他	
日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数
1日	4	1日	0	1日	1	1日	5
2日	2	2日	2	2日	0	2日	1
3日	0	3日	5	3日	0	3日	1
4日	0	4日	4	4日	0	4日	0
5日	2	5日	31	5日	0	5日	0
6日	0	6日	1	6日	0	6日	0
7日	0	7日	0	7日	0	7日	0
無回答	0	無回答	0	無回答	0	無回答	0
合計	8	合計	43	合計	1	合計	7

利用希望終了時間

(件)

放課後児童クラブ	
時間	件数
15時台	2
16時台	10
17時～17時30分未満	11
17時30分～18時未満	8
18時～18時30分未満	6
18時30分～19時未満	1
19時～19時30分未満	5
合計	43

高学年の利用希望日数：週当たりの利用希望頻度

(件)

自宅		祖父母宅や友人・知人宅		習い事		児童館	
日数	件数	カテゴリ	件数	日数	件数	日数	件数
1日	2	1日	4	1日	7	1日	5
2日	8	2日	4	2日	26	2日	0
3日	16	3日	1	3日	10	3日	0
4日	2	4日	0	4日	2	4日	0
5日	35	5日	2	5日	1	5日	0
6日	0	6日	0	6日	0	6日	0
7日	3	7日	0	7日	0	7日	0
無回答	4	無回答	1	無回答	1	無回答	0
合計	70	合計	12	合計	47	合計	5
放課後子ども教室		放課後児童クラブ		その他			
日数	件数	日数	件数	日数	件数		
1日	4	1日	0	1日	4		
2日	6	2日	1	2日	3		
3日	2	3日	3	3日	1		
4日	0	4日	0	4日	0		
5日	1	5日	12	5日	0		
6日	0	6日	1	6日	0		
7日	0	7日	0	7日	0		
無回答	0	無回答	0	無回答	0		
合計	13	合計	17	合計	8		

利用希望終了時間

(件)

放課後児童クラブ	
時間	件数
15時台	1
16時台	2
17時～17時30分未満	1
17時30分～18時未満	4
18時～18時30分未満	1
18時30分～19時未満	4
19時～19時30分未満	1
合計	17

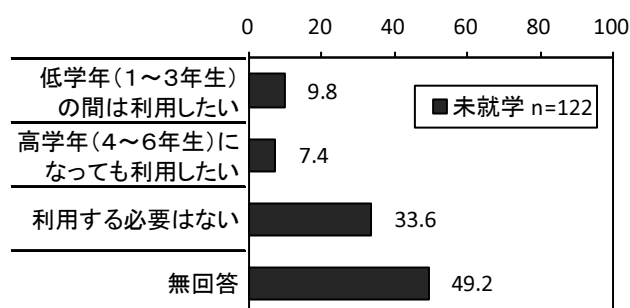
(2) 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望

未就学 宛名のお子さんが5歳以上の方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。
 問 22 宛名のお子さんについて、小学校就学後は、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年及び高学年、それぞれについてお答えください。過ごさせたい場所に該当するものは週当たりの日数をご記入ください。（当てはまる番号すべてに○/□内に数字で記入）なお、「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用を希望する時間をご記入ください。

- 土曜日の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい（9.8%）」及び「高学年（4～6年生）になっても利用したい（7.4%）」は、いずれも1割弱となっています。利用時間は回答対象数が少ないため、件数のみを表示します。
- 日曜・祝日の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい（2.0%）」及び「高学年（4～6年生）になっても利用したい（2.0%）」は、いずれもわずかとなっています。
- 利用希望時間は回答対象数が少ないため、参考値として件数表を表示します。

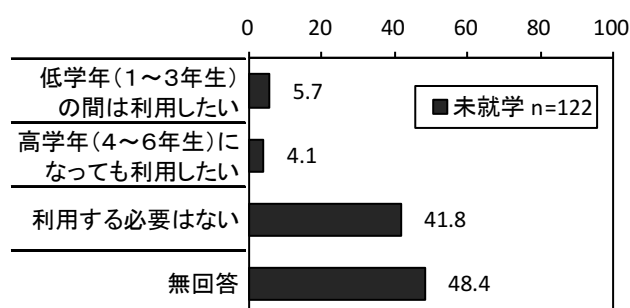
土曜日の利用希望

(%)



日曜日・祝日の利用希望

(%)



利用希望時間

(件)

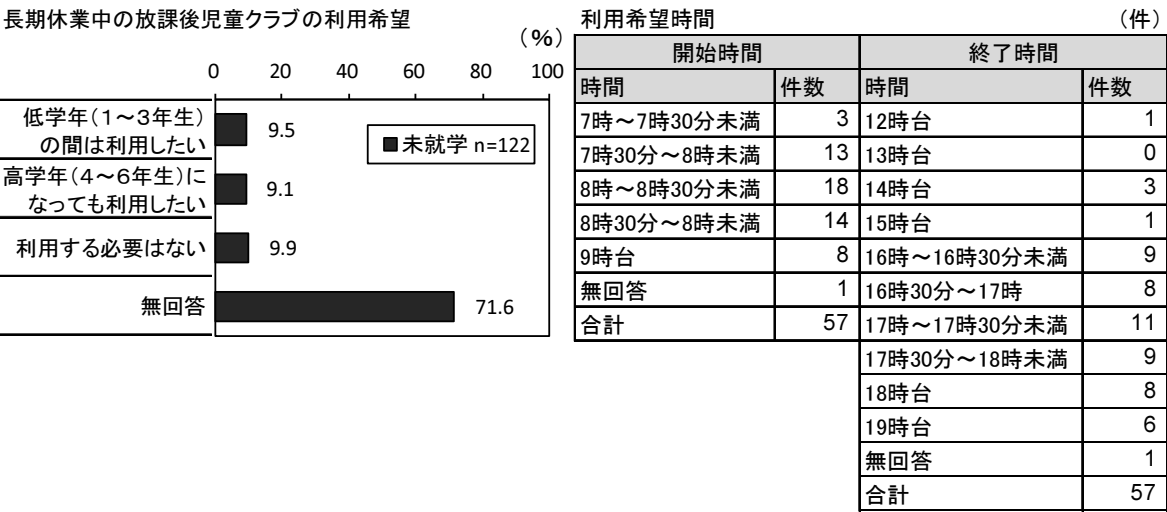
土曜日				日曜・祝日			
開始時間		終了時間		開始時間		終了時間	
時間	件数	時間	件数	時間	件数	時間	件数
7時～7時30分未満	2	14時台	1	7時～7時30分未満	1	15時台	1
7時30分～8時未満	6	15時台	1	7時30分～8時未満	4	16時台	3
8時～8時30分未満	7	16時台	6	8時～8時30分未満	4	17時台	4
8時30分～9時未満	3	17時台	6	8時30分～9時未満	1	18時台	1
9時台	2	18時台	3	9時台	2	19時台	3
15時台	1	19時台	4	合計	12	合計	12
合計	21	合計	21				

第2章 調査の結果

(3) 長期休業中の放課後児童クラブの利用希望

未就学 宛名のお子さんが5歳以上の方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。
問 24 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか（事業の利用には、一定の利用料がかかります）。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯をご記入ください。（当てはまる番号1つに○/□内に数字で記入）

- 長期休業中の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい（9.5%）」及び「高学年（4～6年生）になっても利用したい（9.1%）」は約1割となっています。
- 利用開始時間は「8時～8時30分未満」が、利用終了時間は17時台が多く、中でも「17時～17時30分未満」が多くなっています。

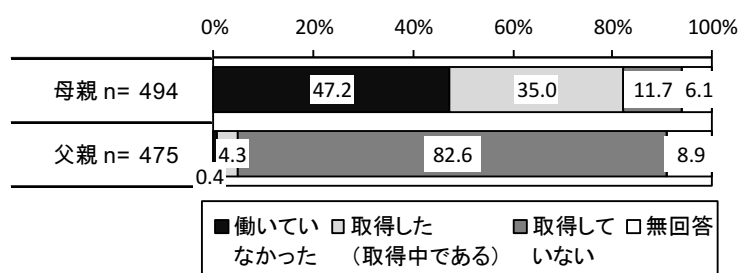


11 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について

(1) 未就学：保護者の育児休業の取得状況等

未就学	問 25 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(1)母親、(2)父親それぞれ、当てはまる番号1つに○) また、取得していない方はその理由をご記入ください。(「取得していない理由」から当てはまる番号を記入)
●	保護者の育児休業の取得状況は、母親は「取得していなかった(47.2%)」が半数近くを占め、「取得した(取得中である)(35.0%)」が3割台半ばとなっています。父親は、「取得していなかった(82.6%)」が大多数を占めています。
●	前回と比較すると、母親は「取得した(取得中である)」が12.6ポイント上昇しています。
●	育児休業を取得していない理由は、母親は「子育てや家事に専念するため退職した(37.9%)」が最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)(31.0%)」となっています。父親は「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった(37.5%)」が最も多く、次いで「仕事が忙しかった(27.5%)」「配偶者が育児休業制度を利用した(27.2%)」となっています。

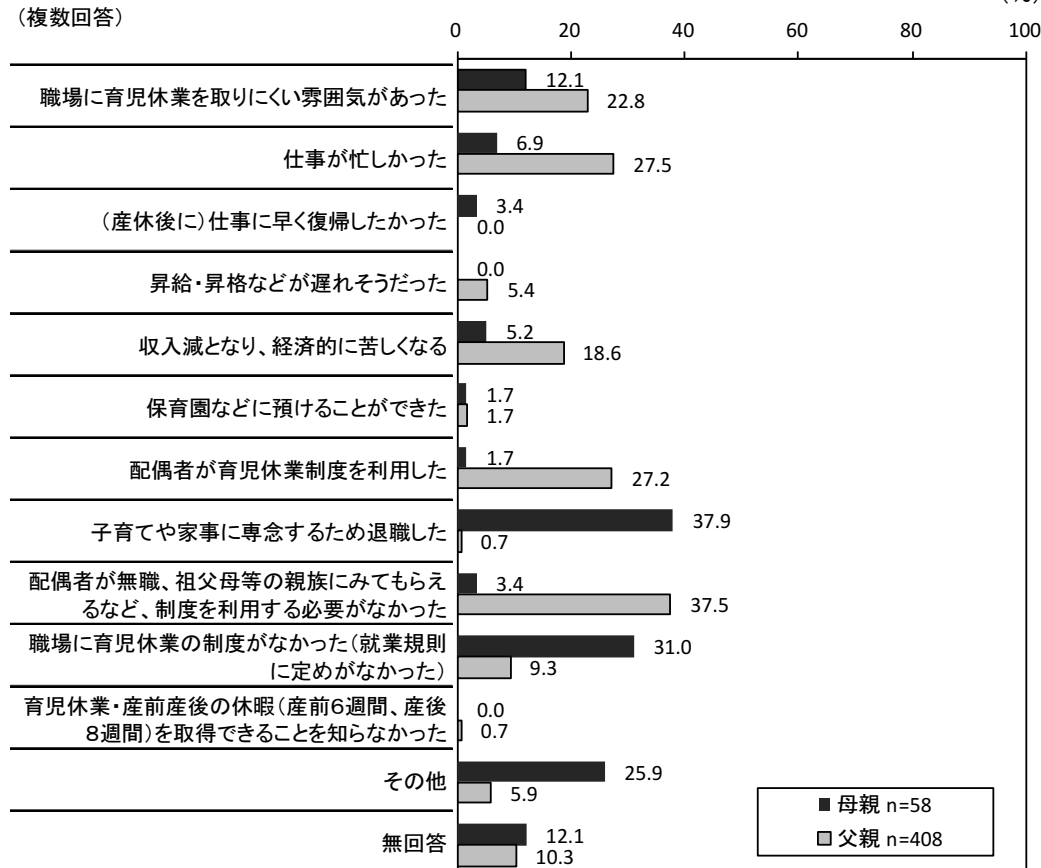
【未就学】保護者の育児休業の取得の有無



母親の育児休業の取得状況 (件,%)

	件数 (n)	働いていなかった (%)	取得した (取得中である) (%)	取得していない (%)	無回答 (%)
今回	494	47.2	35.0	11.7	6.1
前回	692	60.5	22.4	12.6	4.5

育児休業を取得していない理由 (複数回答)



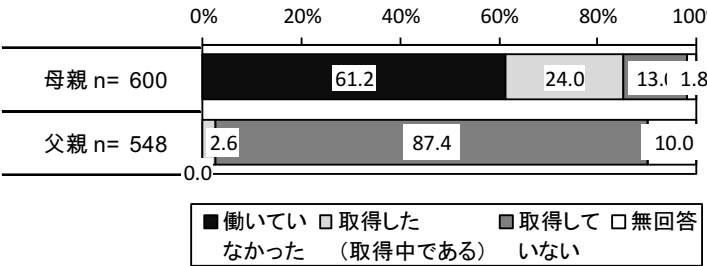
第2章 調査の結果

(2) 小学生：保護者の育児休業の取得状況

小学生 問 19 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(1)母親、(2)父親それぞれ、当てはまる番号1つに○) また、取得していない方はその理由をご記入ください。(「取得していない理由」から当てはまる番号を記入)

- 保護者の育児休業の取得状況は、母親は、「働いていなかった(61.2%)」が最も多く、次いで「取得した(取得中である)(24.0%)」となっています。
父親は、「取得していない(87.4%)」が多数を占めています。
- 前回と比較すると、母親は「取得した(取得中である)」が6.7ポイント上昇しています。
- 取得しなかった理由は、母親は「子育てや家事に専念するため退職した(32.1%)」が最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった(14.1%)」となっています。
父親は、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった(44.7%)」が最も多く、次いで「仕事が忙しかった(27.6%)」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった(20.9%)」となっています。

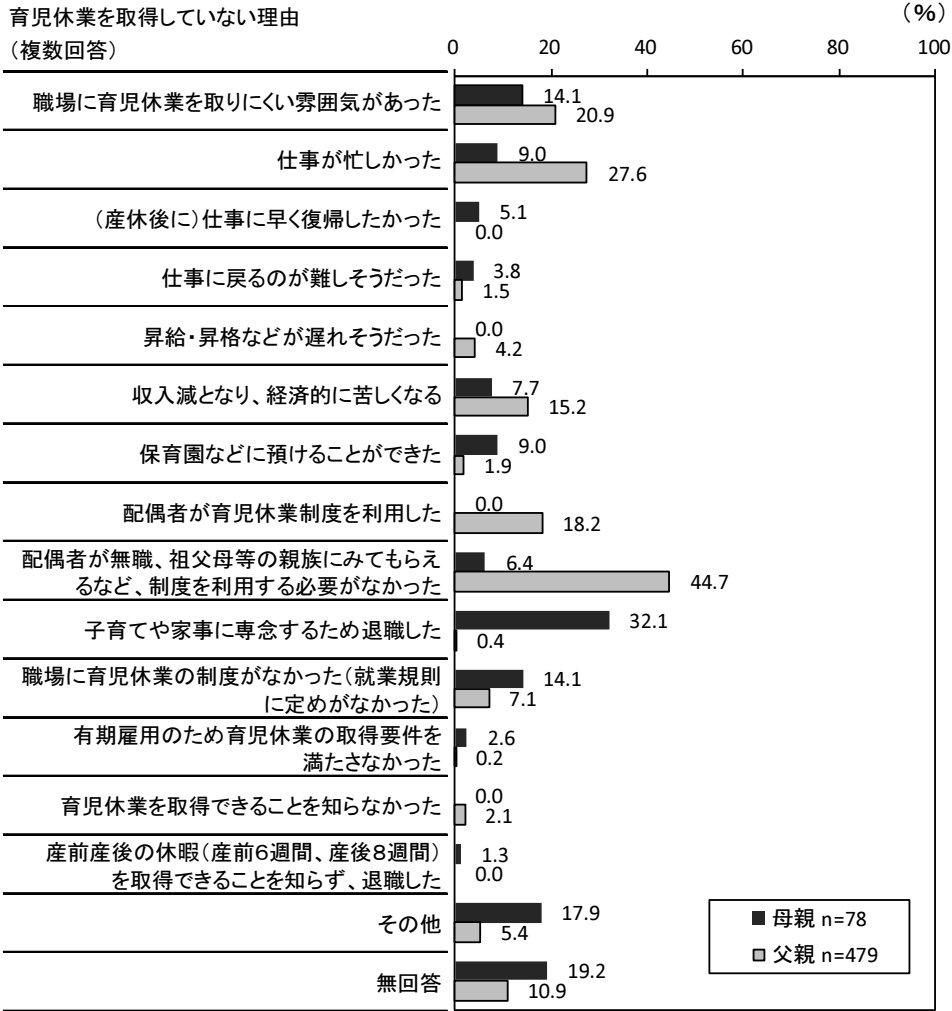
保護者の育児休業の取得の有無



母親の育児休業の取得状況 (件,%)

	件数 (n)	働いていなかった	取得した (取得中である)	取得して知らない	無回答
今回	600	61.2	24.0	13.0	1.8
前回	514	62.8	17.3	13.6	6.2

育児休業を取得していない理由 (複数回答)

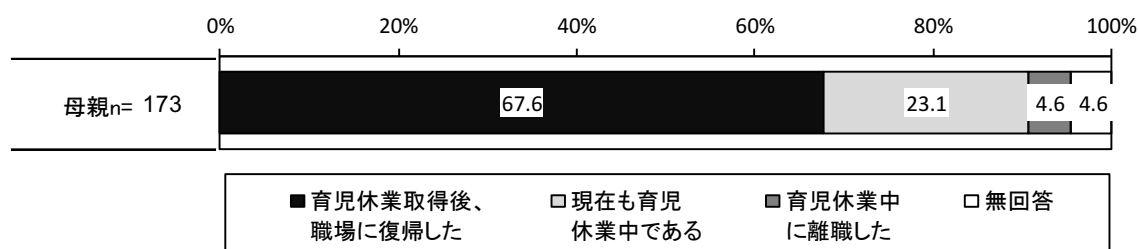


(3) 未就学：育児休業の取得について

① 育児休業取得後の職場復帰

未就学	問 25-1 は、問 25 で育児休業を「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。
	問 25-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（①母親、②父親それぞれ、当てはまる番号 1 つに○）
● 母親の育児休業取得後の職場復帰は、「育児休業取得後、職場に復帰した（67.6%）」が過半数を占め、次いで「現在も育児休業中である（23.1%）」となっています。 ● 父親は回答対象者数が少ないため、参考値として件数表を表示します。	

育児休業取得後の職場復帰



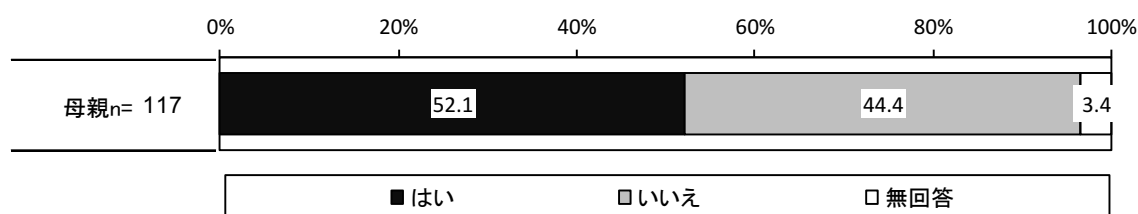
(件)

	育児休業取得後、職場に復帰した	現在も育児休業中である	育児休業中に離職した	無回答
父親 n= 21	19	0	0	2

② 職場復帰が年度初めの保育園入園に合わせたタイミングであるか

未就学	問 25-2 は、問 25-1 で「1.」（職場に復帰した）と回答した方にうかがいます。
	問 25-2(1) 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（①母親、②父親それぞれ、当てはまる番号 1 つに○）
● 職場復帰が年度初めの保育園入園に合わせたタイミングであるかは、「はい（52.1%）」が「いいえ（44.4%）」を上回り、保育園入園に合わせたタイミングが比較的多くなっています。 ● 父親は回答対象者数が少ないため、参考値として件数表を表示します。	

職場復帰が年度初めの保育園入園に合わせたタイミングであるか



(件)

	育児休業取得後、職場に復帰した	現在も育児休業中である	育児休業中に離職した	無回答
父親 n= 21	19	0	0	2

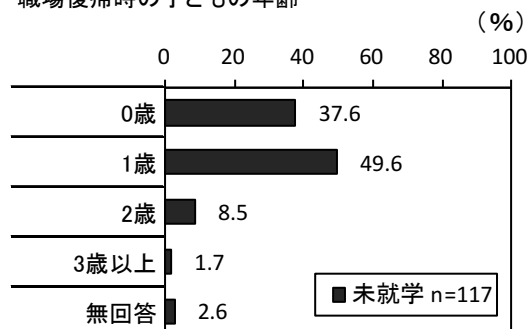
第2章 調査の結果

③ 育児休業からの職場復帰時の子どもの年齢

未就学 問 25-2(2) 育児休業から、お子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。
(①母親、②父親それぞれ、口内に数字で記入)

- 母親の職場復帰時の子どもの年齢は、「1歳(49.6%)」が最も多く、次いで「0歳(37.6%)」となっています。
- 父親は回答対象者数が少ないため、参考値として件数表を表示します。

職場復帰時の子どもの年齢



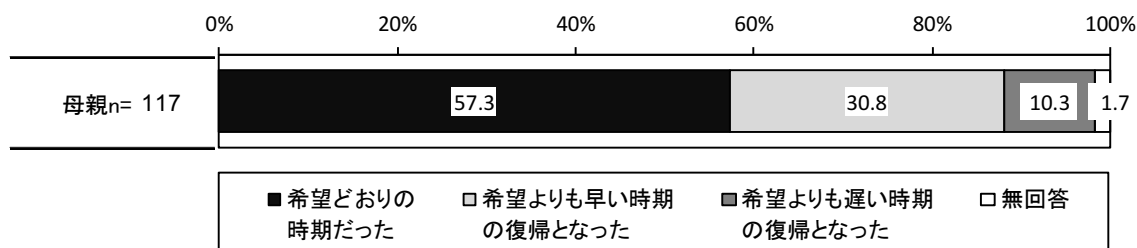
(件)			
	0歳	1歳以上	無回答
父親 n= 19	13	1	5

④ 職場の復帰時期は希望どおりか

未就学 問 25-2(3) 職場の復帰時期は、希望どおりでしたか。(①母親、②父親それぞれ、当てはまる番号すべてに○)

- 母親の職場の復帰時期は、「希望どおりの時期だった(57.3%)」が最も多く、次いで「希望よりも早い時期の復帰となった(30.8%)」、「希望よりも遅い時期の復帰となった(10.3%)」となっています。
- 父親は回答対象者数が少ないため、参考値として件数表を表示します。

職場の復帰時期は希望どおりか

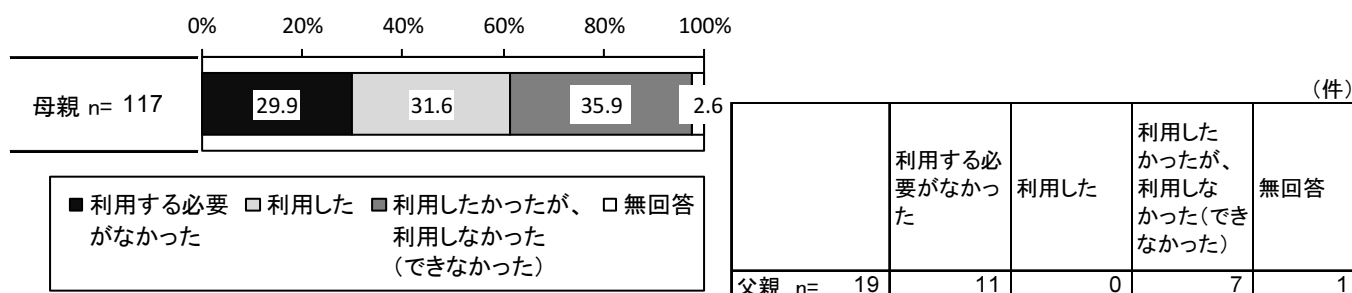


(件)				
	希望どおりの 時期だった	希望よりも早 い時期の復 帰となった	希望よりも遅 い時期の復 帰となった	無回答
父親 n= 19	15	4	0	0

⑤ 短時間勤務制度の利用状況

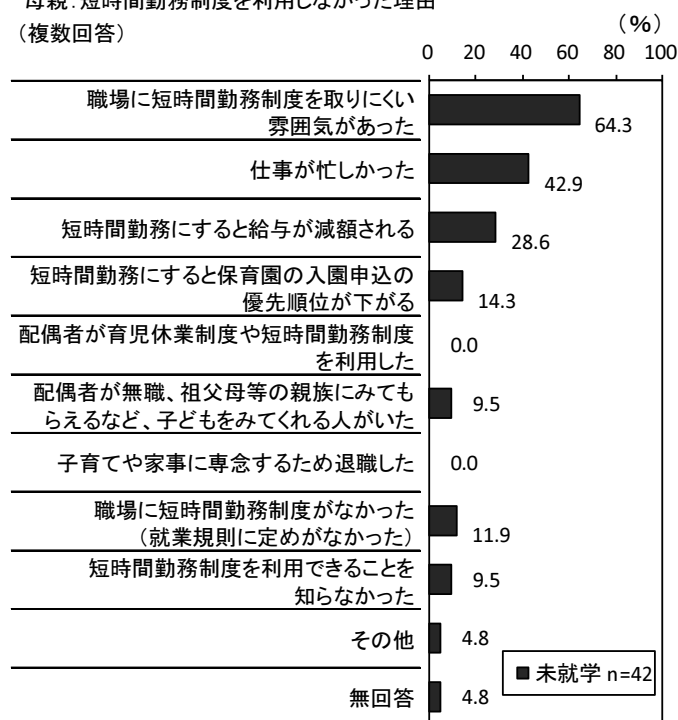
未就学	問 25-2(4) 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。 (①母親、②父親それぞれ、当てはまる番号一つに○)
●	母親の短時間勤務制度の利用状況は、「利用したかったが、利用しなかった（できなかった）（35.9%）」が最も多く、次いで「利用した（31.6%）」「利用する必要がなかった（29.9%）」となっています。
●	父親は回答対象者数が少ないため、参考値として件数表を表示します。

短時間勤務制度の利用状況



⑥ 短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由

未就学	問 25-2(4) で「3」利用しなかった（できなかった）と回答した方に伺います。 問 25-2(5) 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。 (①母親、②父親それぞれ、当てはまる番号一つに○)
●	短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった（64.3%）」が最も多く、次いで「仕事が忙しかった（42.9%）」「短時間勤務にすると給与が減額される（28.6%）」となっています。
●	父親は回答者数が少ないため、参考値として件数表を表示します。

母親：短時間勤務制度を利用しなかった理由
(複数回答)

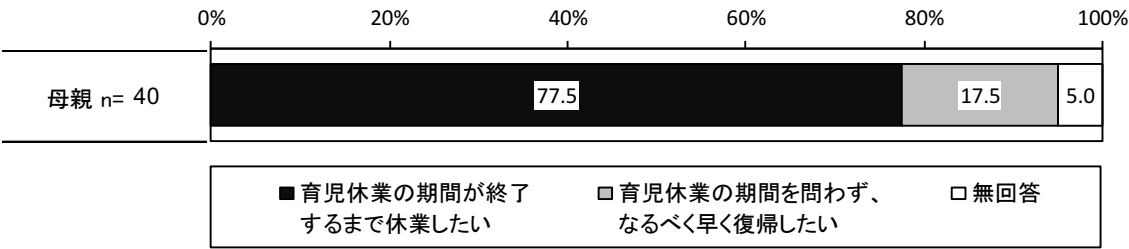
父親 n=7	(件)
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	4
仕事が忙しかった	3
短時間勤務にすると給与が減額される	2
短時間勤務にすると保育園の入園申込の優先順位が下がる	0
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	2
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	3
子育てや家事に専念するため退職した	0
職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	0
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	1
その他	1
無回答	0

第2章 調査の結果

⑦ 育児休業の取得後に利用できる事業があった場合の対応

未就学	問 25-3 は、問 25-1 で「2.」（現在も育児休業中である）と回答した方にうかがいます。
	問 25-3 宛名のお子さんが育児休業の取得後に必ず利用できる事業があれば、お勤めの会社が定める育児休業期間の終了まで休業しますか。または、預けられる事業があっても育児休業の期間内に職場に復帰しますか。（①母親、②父親それぞれ、当てはまる番号1つに○）
● 育児休業の取得後に利用できる事業があった場合の母親の対応は、「育児休業の期間が終了するまで休業したい（77.5%）」が多数を占め、「育児休業の期間を問わず、なるべく早く復帰したい（17.5%）」は2割弱となっています。 ● 父親は、回答対象者がいません。	

育児休業の取得後に利用できる事業があった場合の対応

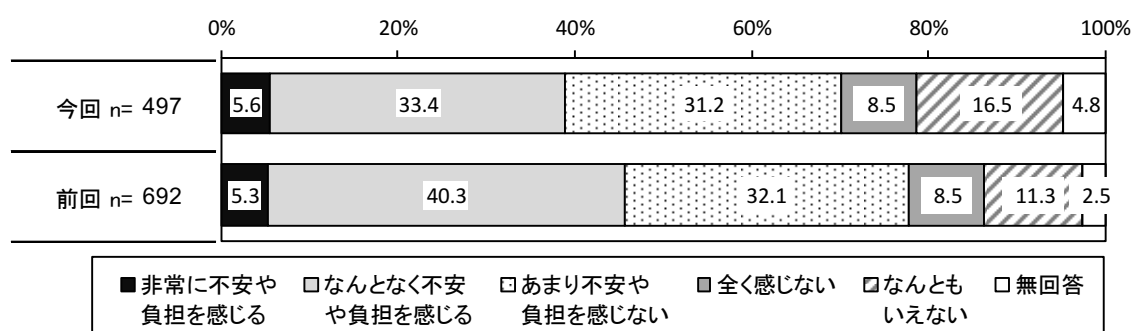


12 子育ての悩みや不安

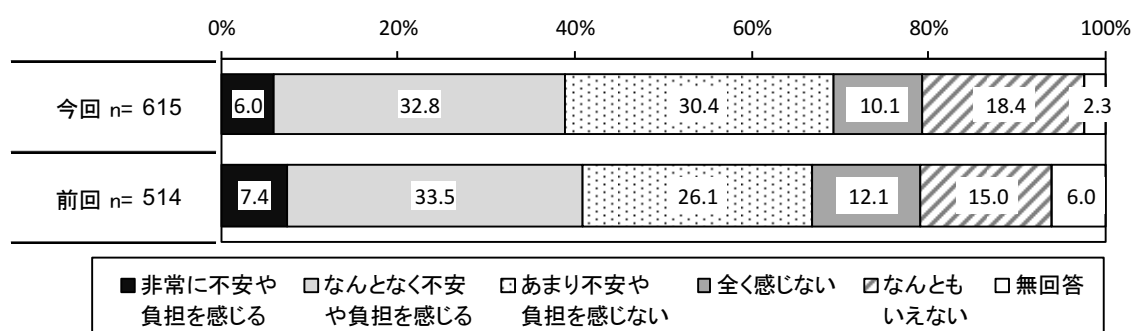
(1) 子育てに関する不安感や負担感

未就学	問 26 子育てに関して不安感や負担感などはお感じですか。（当てはまる番号 1 つに○）
● 子育てに関する不安感や負担感の有無は、不安を感じるという合計（「非常に不安や負担を感じる（5.6%）」及び「なんとなく不安や負担を感じる（33.4%）」）は約4割、不安を感じないという合計（「あまり不安や負担を感じない（31.2 %）」及び「全く感じない（8.5%）」）も約4割となっています。 ● 前回と比較すると、不安や負担を感じるという合計は 6.6 ポイント低下しています。ただし、不安や負担を感じないという合計は横ばいとなっています。	
小学生	問 20 子育てに関して不安感や負担感などはお感じですか。（当てはまる番号 1 つに○）
● 子育てに関する不安感や負担感の有無は、不安を感じるという合計（「非常に不安や負担を感じる（6.0%）」及び「なんとなく不安や負担を感じる（32.8%）」）は4割弱、不安を感じないという合計（「あまり不安や負担を感じない（30.4 %）」及び「全く感じない（10.1%）」）は約4割となっています。 ● 前回と比較すると、不安や負担を感じるという合計は 2.1 ポイント低下しています。ただし、不安や負担を感じないという合計は横ばいとなっています。	

【未就学】子育てに関する不安感や負担感



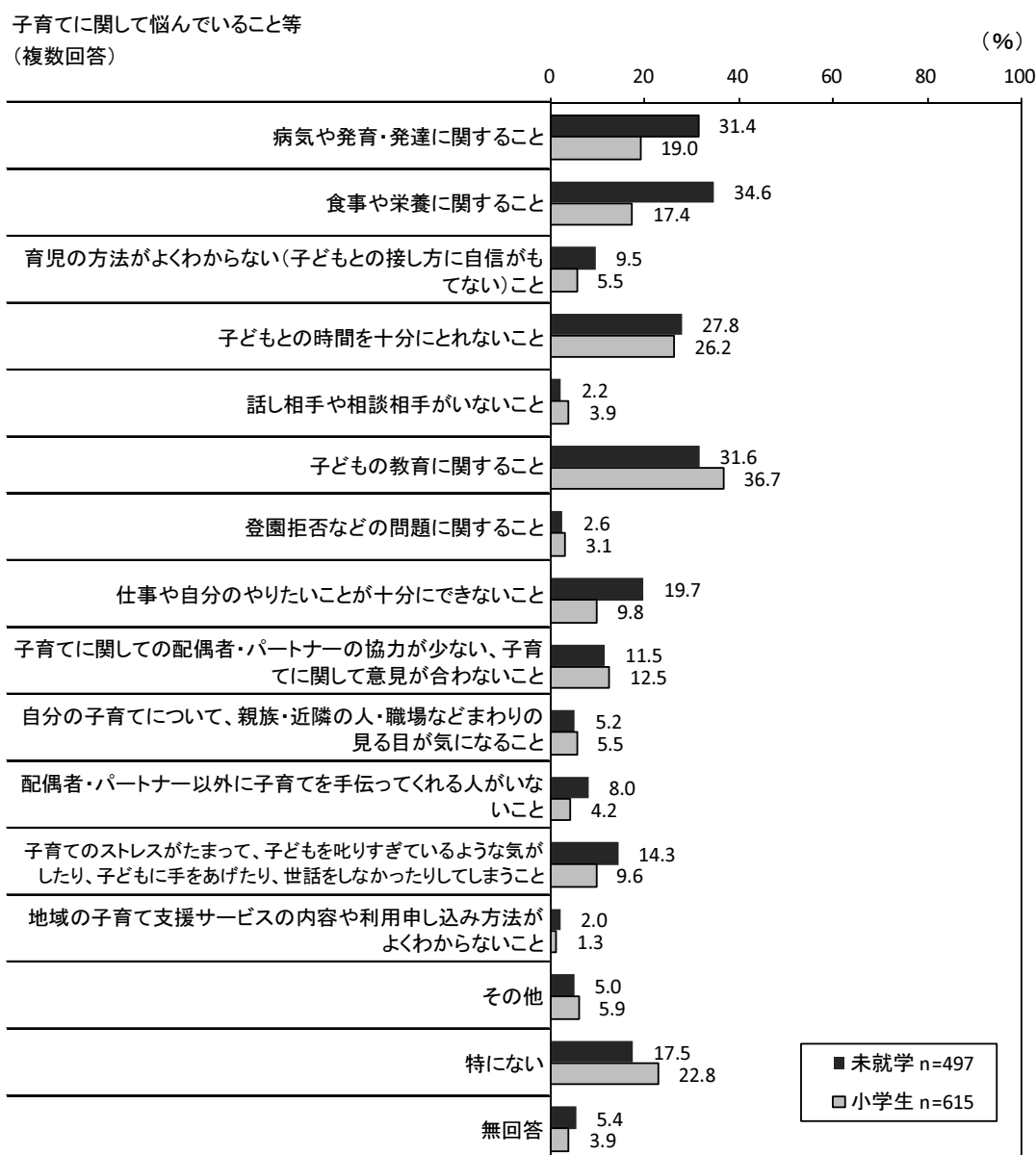
【小学生】子育てに関する不安感や負担感



第2章 調査の結果

(2) 子育てに関して悩んでいること等

未就学	問 27 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（当てはまる番号すべてに○）
● 子育てに関して悩んでいること等は、「食事や栄養に関すること（34.6%）」が最も多く、次いで「子どもの教育に関すること（31.6%）」「病気や発育・発達に関すること（31.4%）」となっています。	
小学生	問 21 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（当てはまる番号すべてに○）
● 子育てに関して悩んでいること等は、「食事や栄養に関すること（36.7%）」が最も多く、次いで「子どもとの時間を十分にとれないこと（26.2%）」「特にない（22.8%）」となっています。	

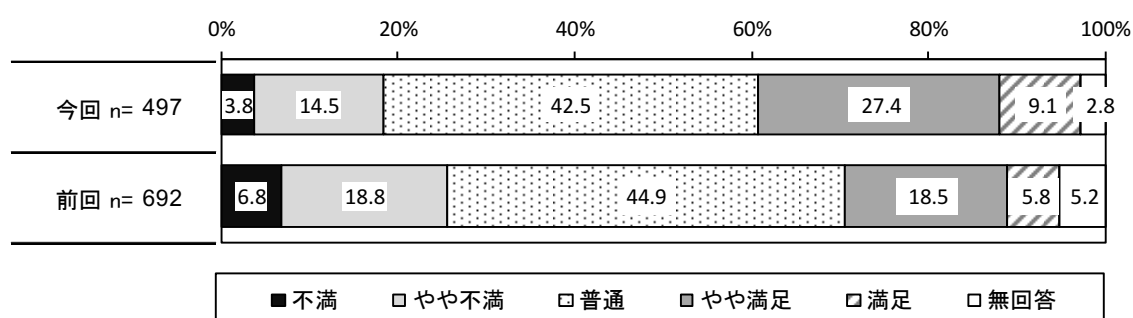


13 小山町における子育ての環境や支援について

(1) 小山町における子育ての環境や支援への満足度

未就学	問 28 小山町における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。 (当てはまる番号1つに○)
● 小山町における子育ての環境や支援への満足度は、「普通（42.5%）」が最も多く、次いで「やや満足（27.4%）」となり、「満足（9.1%）」と合計すると3割台半ばとなっています。不満の合計（「不満（3.8%）」及び「やや不満（14.5%）」）は2割弱となっています。 ● 前回と比較すると、満足の合計は 12.2 ポイント上昇しています。 ● 地区別では、北郷地区及び須走地区は満足の合計が4割台と高くなっています。 ● 子育てへの不安の程度別では、不安を感じる人ほど不満度が高い傾向がみられます。	

【未就学】小山町における子育ての環境や支援への満足度



(件,%)

		未就学 件数(n)	不満の合計	満足の合計
全体		497	18.3	36.5
地区別	成美地区	61	24.6	34.4
	明倫地区	78	15.4	29.5
	足柄地区	55	25.4	23.7
	北郷地区	179	14.6	40.8
	須走地区	120	19.2	41.7

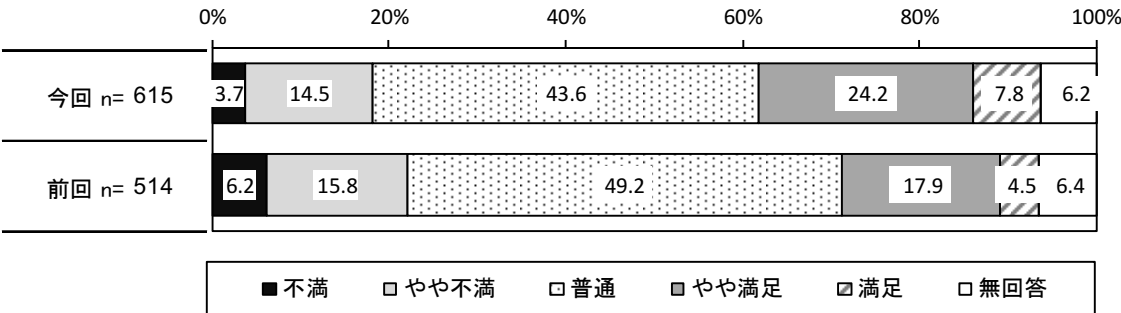
(件,%)

		未就学 件数(n)	不満の合計	満足の合計
全体		497	18.3	36.5
不安感等を感じる程度別	非常に不安や負担を感じる	28	28.6	28.6
	なんとなく不安や負担を感じる	166	24.7	34.9
	あまり不安や負担を感じない	155	12.2	39.4
	全く感じない	42	14.2	38.1
	なんともいえない	82	15.8	37.8

小学生 問 22 小山町の子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。（当てはまる番号1つに○）

- 小山町における子育ての環境や支援への満足度は、「普通（43.6%）」が最も多く、次いで「やや満足（24.2%）」となり、「満足（7.8%）」と合計すると3割強となっています。不満の合計（「不満（3.7%）」及び「やや不満（14.5%）」）は2割弱となっています。
- 前回と比較すると、満足の合計は9.6ポイント上昇しています。
- 地区別では、成美地区は不満の合計が3割台半ばとなっていますが、北郷地区は満足の合計が4割弱と高くなっています。
- 子育てへの不安の程度別では、不安を感じる人ほど不満度が高い傾向がみられます。

【小学生】小山町における子育ての環境や支援への満足度



(件,%)

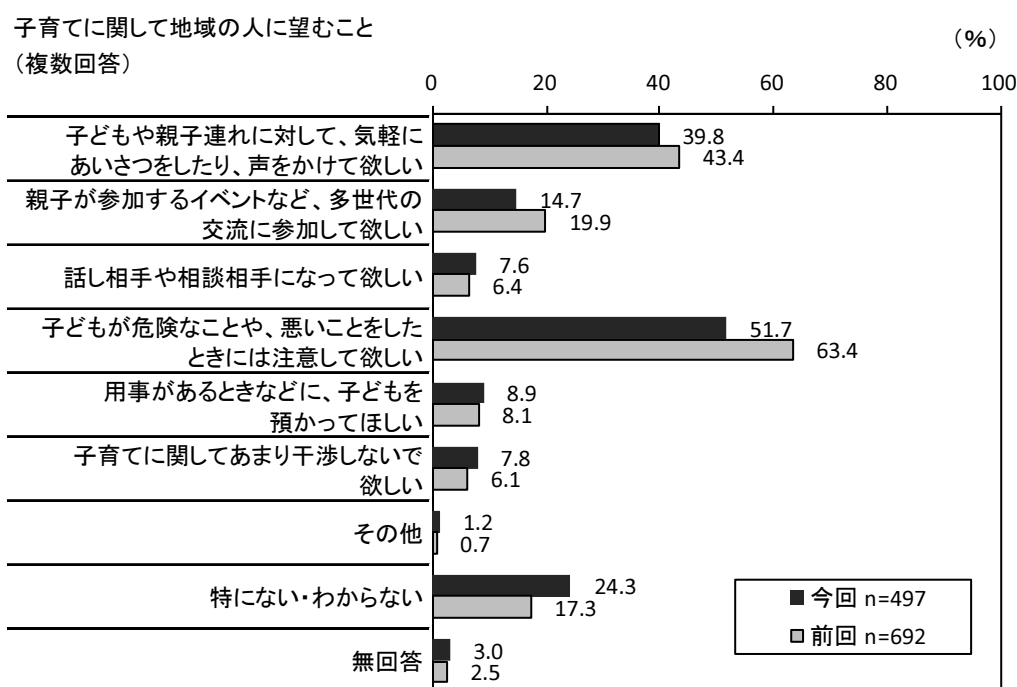
		小学生		
		件数(n)	不満の合計	満足の合計
全体		615	18.2	32.0
地区別	成美地区	107	35.1	18.9
	明倫地区	90	26.2	29.7
	足柄地区	61	9.7	36.3
	北郷地区	203	19.3	38.7
	須走地区	147	11.5	30.1

(件,%)

		小学生		
		件数(n)	不満の合計	満足の合計
全体		615	18.2	32.0
不安感等を感じる程度別	非常に不安や負担を感じる	37	35.1	18.9
	なんとなく不安や負担を感じる	202	26.2	29.7
	あまり不安や負担を感じない	187	9.7	36.3
	全く感じない	62	19.3	38.7
	なんともいえない	113	11.5	30.1

(2) 子育てに関して地域の人に望むこと

未就学	問 29 子育てに関して、地域の人にどのようなことを望みますか。（当てはまる番号すべてに○）
●	子育てに関して地域の人に望むことは、「子どもが危険なことや、悪いことをしたときには注意して欲しい（51.7%）」が最も多く、次いで「子どもや親子連れに対して、気軽にあいさつをしたり、声をかけて欲しい（39.8%）」、「特にない・わからない（24.3%）」となっています。
●	前回と比較すると、「子どもが危険なことや、悪いことをしたときには注意して欲しい」は 11.7 ポイント低下するなど、全般的に低下しています。
●	地区別では、須走地区は「用事があるときなどに、子どもを預かってほしい」が3位に入っています。

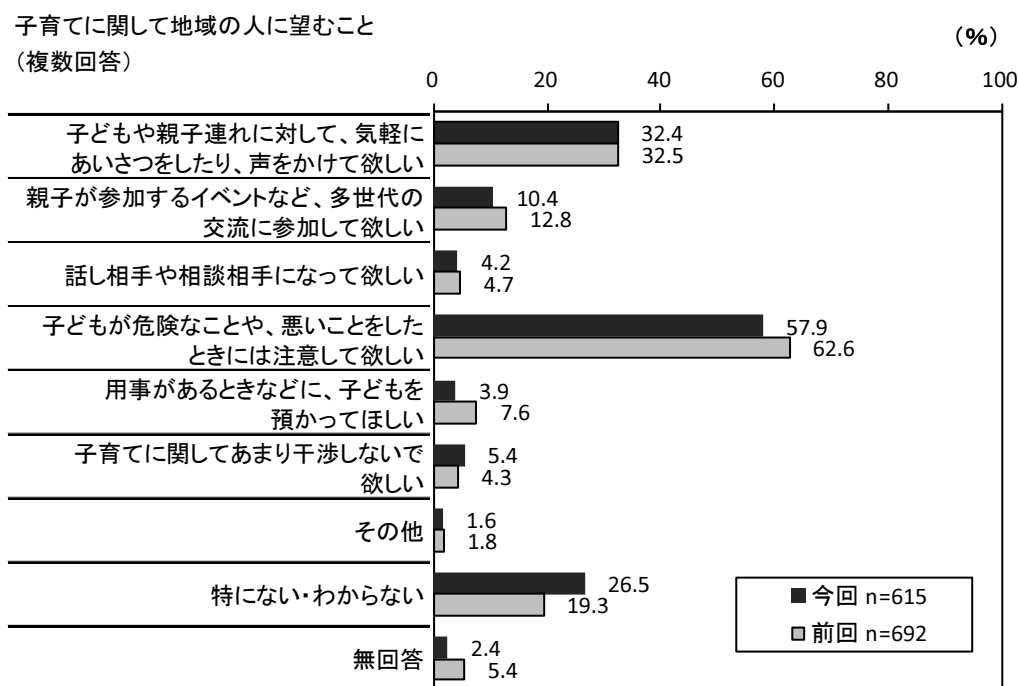


地区別：上位3位

	1位	2位	3位
成美地区 61 件	子どもが危険なことや、悪いことをしたときには注意して欲しい (52.5%)	子どもや親子連れに対して、気軽にあいさつをしたり、声をかけて欲しい (39.3%)	親子が参加するイベントなど、多世代の交流に参加して欲しい (13.1%)
明倫地区 78 件	〃 (51.3%)	〃 (43.6%)	〃 (16.7%)
足柄地区 55 件	〃 (52.7%)	〃 (36.4%)	〃 (14.5%)
北郷地区 179 件	〃 (55.3%)	〃 (43.6%)	〃 (15.1%)
須走地区 120 件	〃 (46.7%)	〃 (33.3%)	用事があるときなどに、子どもを預かってほしい (16.7%)

第2章 調査の結果

小学生	問 24 子育てに関して、地域の人にどのようなことを望みますか。（当てはまる番号すべてに○）
● 子育てに関して地域の人に望むことは、「子どもが危険なことや、悪いことをしたときには注意して欲しい（57.9%）」が最も多く、次いで「子どもや親子連れに対して、気軽にあいさつをしたり、声をかけて欲しい（32.4%）」「特にない・わからない（26.5%）」となっています。 ● 前回と比較すると、「子どもが危険なことや、悪いことをしたときには注意して欲しい」は前回よりも 4.7 ポイント低下するなど、全般的に低下しています。 ● 地区別では、須走地区は「用事があるときなどに、子どもを預かってほしい」が3位に入っています。	



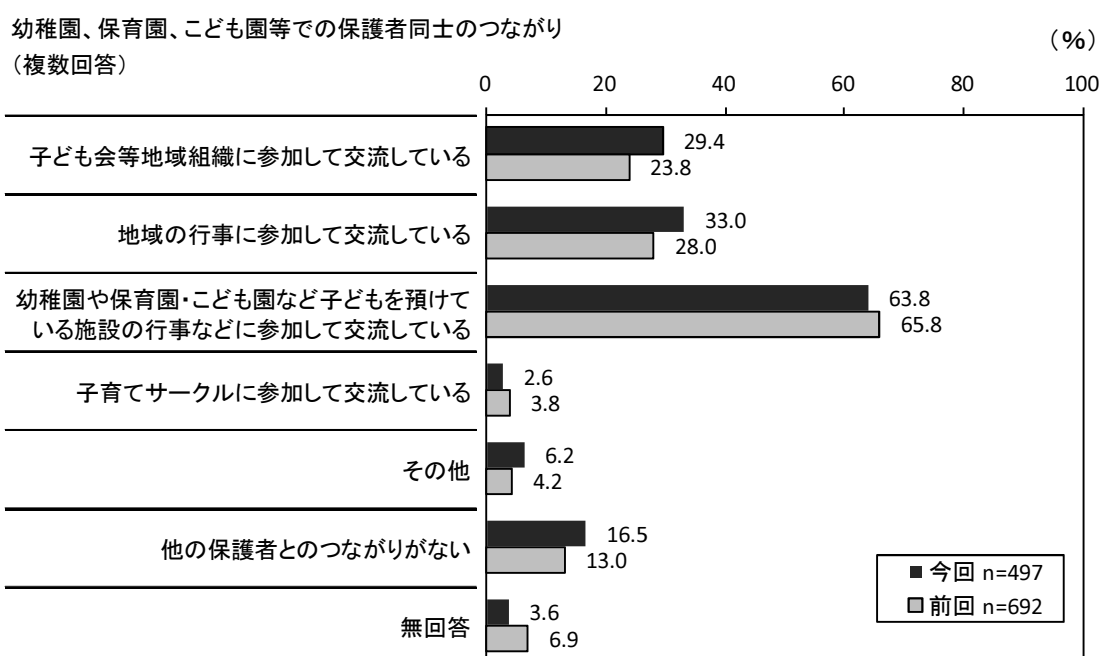
地区別：上位 3 位

	1位	2位	3位
成美地区 107 件	子どもが危険なことや、悪いことをしたときには注意して欲しい (64.5%)	子どもや親子連れに対して、気軽にあいさつをしたり、声をかけて欲しい (28.0%)	親子が参加するイベントなど、多世代の交流に参加して欲しい (10.3%)
明倫地区 90 件	〃 (55.6%)	〃 (37.8%)	〃 (12.2%)
足柄地区 61 件	〃 (60.7%)	〃 (31.1%)	〃 (8.2%)
北郷地区 203 件	〃 (58.1%)	〃 (36.0%)	〃 (10.3%)
須走地区 147 件	〃 (53.7%)	〃 (27.9%)	用事があるときなどに、子どもを預かってほしい (10.9%)

(3) 保護者同士のつながり

未就学 問 30 幼稚園、保育園、こども園等での保護者同士のつながりがありますか。（当てはまる番号すべてに○）

- 幼稚園、保育園、こども園等での保護者同士のつながりは、「幼稚園や保育園・こども園など子どもを預けている施設の行事などに参加して交流している（63.8%）」が最も多く、次いで「地域の行事に参加して交流している（33.0%）」「子ども会等地域組織に参加して交流している（29.4%）」となっています。
- 前回と比較すると、第2位の「地域の行事に参加して交流している」及び第3位の「子ども会等地域組織に参加して交流している」は3割前後となり、前回よりも5～6ポイント上昇しています。一方、「他の保護者とのつながりがない」は1割台半ばと少ないものの、前回よりも3.5ポイント上昇しています。
- 地区別では、いずれの地区も順位はほぼ同じであるものの、須走地区は「地域の行事に参加して交流している」及び「子ども会等地域組織に参加して交流している」という比率が低くなっています。

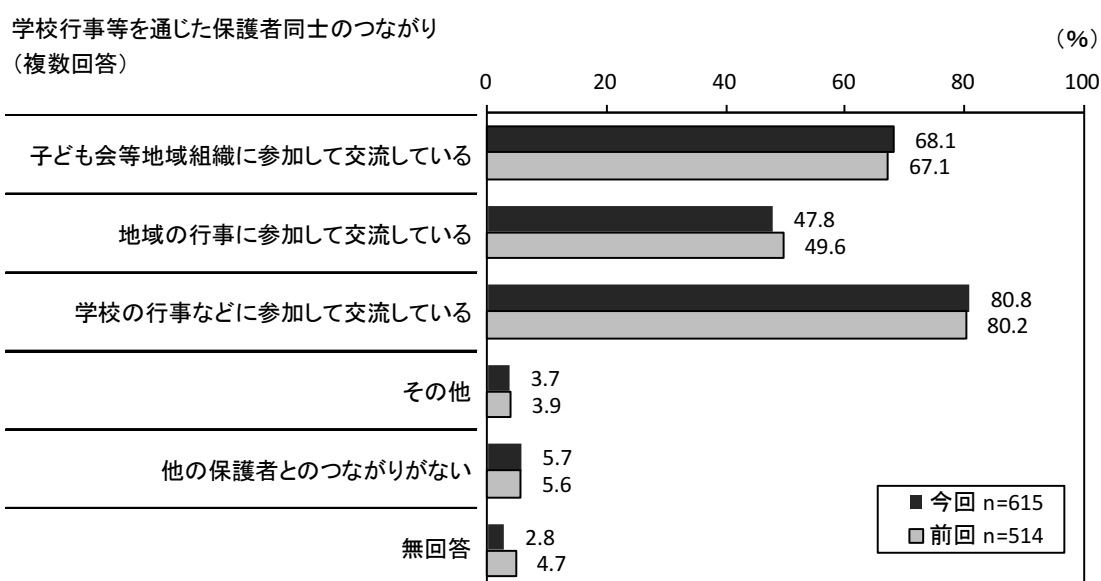


地区別：上位3位

	1位	2位	3位
成美地区 61 件	幼稚園や保育園・こども園など子どもを預けている施設の行事などに参加して交流している (65.6%)	地域の行事に参加して交流している (29.5%)	※同率2位 子ども会等地域組織に参加して交流している (29.5%)
明倫地区 78 件	〃 (60.3%)	〃 (34.6%)	〃 (28.2%)
足柄地区 55 件	〃 (49.1%)	〃 (38.2%)	※同率2位 〃 (38.2%)
北郷地区 179 件	〃 (69.3%)	〃 (36.9%)	〃 (33.0%)
須走地区 120 件	〃 (63.3%)	〃 (25.8%)	〃 (20.8%)

第2章 調査の結果

小学生	問 25 学校行事等を通じた保護者同士のつながりがありますか。（当てはまる番号すべてに○）
● 学校行事等を通じた保護者同士のつながりは、「学校の行事などに参加して交流している（80.8%）」が最も多く、次いで「子ども会等地域組織に参加して交流している（68.1%）」「地域の行事に参加して交流している（47.8%）」となっています。 ● 前回と比較すると、いずれも前回と同程度となっています。 ● 地区別では、いずれの地区も順位はほぼ同じであるものの、北郷地区は「地域の行事に参加して交流している」が6割台半ばに上ります。一方、須走地区は、「子ども会等地域組織に参加して交流している」及び「地域の行事に参加して交流している」が4～5割台にとどまっています。	



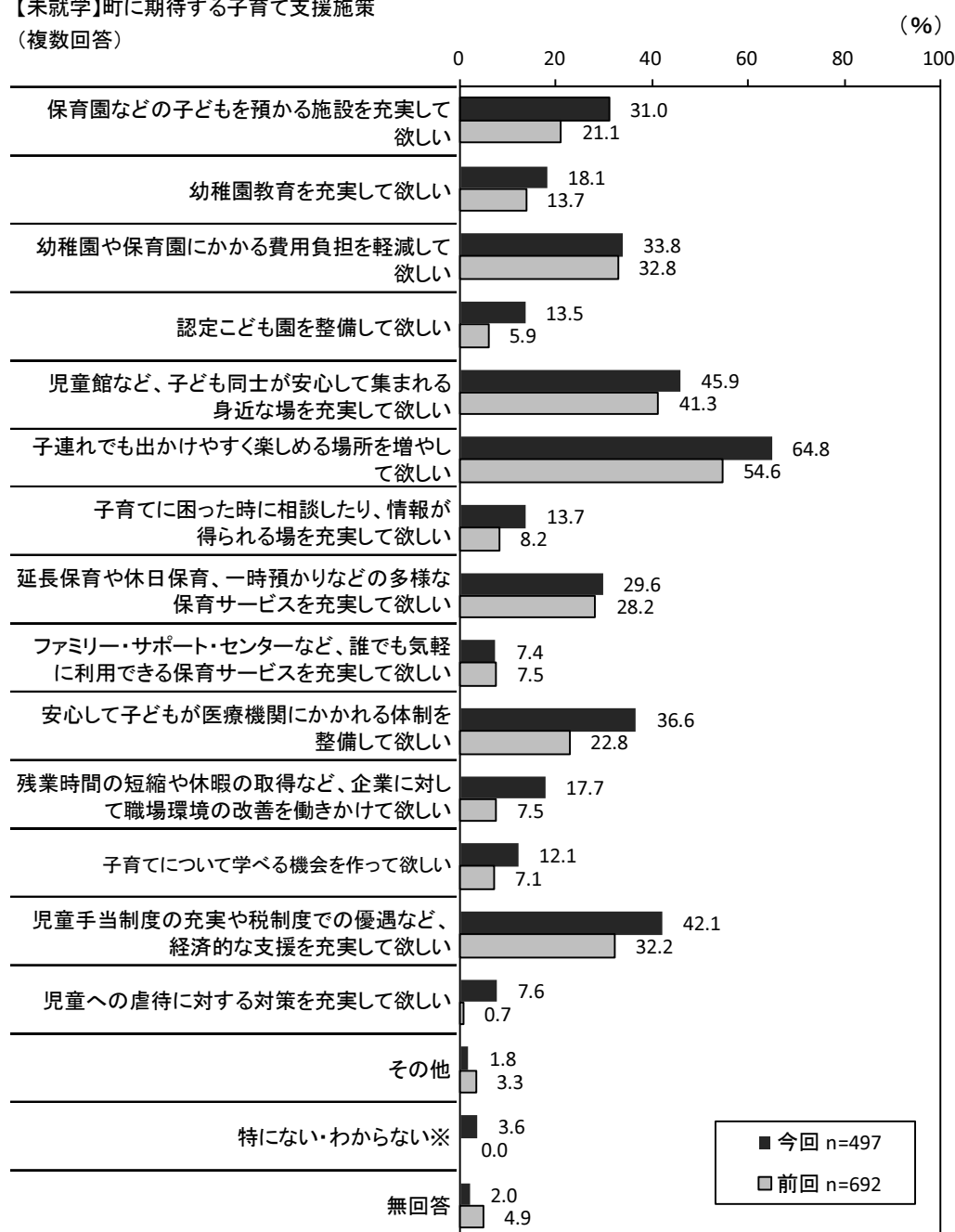
地区別：上位3位

	1位	2位	3位
成美地区 107 件	学校の行事などに参加して交流している (82.2%)	子ども会等地域組織に参加して交流している (80.4%)	地域の行事に参加して交流している (58.9%)
明倫地区 90 件	〃 (78.9%)	〃 (71.1%)	〃 (48.9%)
足柄地区 61 件	〃 (85.2%)	〃 (80.3%)	〃 (65.6%)
北郷地区 203 件	〃 (81.3%)	〃 (70.0%)	〃 (42.9%)
須走地区 147 件	〃 (79.6%)	〃 (51.7%)	〃 (40.1%)

(4) 町に期待する子育て支援施策

未就学	問 31 将来の小山町にさらなる充実を期待する子育て支援施策についてお答えください。 (当てはまる番号すべてに○)
●	町に期待する子育て支援施策は、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい(64.8%)」が最も多く、次いで「児童館など、子ども同士が安心して集まれる身近な場を充実して欲しい(45.9%)」「児童手当制度の充実や税制度での優遇など、経済的な支援を充実して欲しい(42.1%)」となっています。
●	前回と比較すると全体的に上昇しており、中でも「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい」は36.6%と前回よりも13.8ポイント上昇しています。

【未就学】町に期待する子育て支援施策
(複数回答)



※前回調査では選択肢なし

第2章 調査の結果

- 地区別では、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」が明倫地区及び北郷地区で7割前後に上ります。

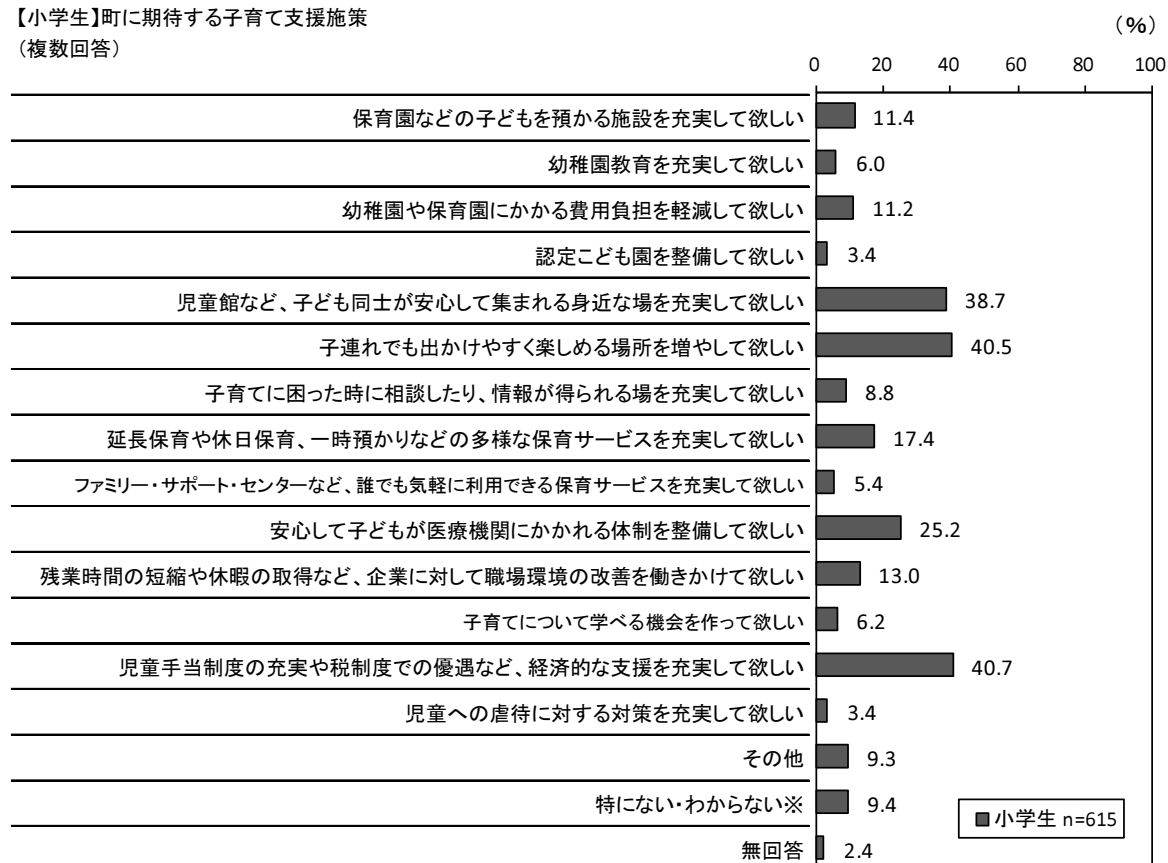
地区別：上位3位

	1位	2位	3位
成美地区 61 件	子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい (67.2%)	児童館など、子ども同士が安心して集まれる身近な場を充実して欲しい (50.8%)	児童手当制度の充実や税制度での優遇など、経済的な支援を充実して欲しい (39.3%)
明倫地区 78 件	〃 (69.2%)	〃 (47.4%)	〃 (44.9%)
足柄地区 55 件	〃 (54.5%)	※同率1位 児童手当制度の充実や税制度での優遇など、経済的な支援を充実して欲しい (54.5%)	幼稚園や保育園にかかる費用負担を軽減して欲しい (40.0%)
北郷地区 179 件	〃 (70.9%)	児童館など、子ども同士が安心して集まれる身近な場を充実して欲しい (46.4%)	児童手当制度の充実や税制度での優遇など、経済的な支援を充実して欲しい (43.6%)
須走地区 120 件	〃 (56.7%)	〃 (46.7%)	安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備して欲しい (39.2%)

小学生 問 23 将来の小山町にさらなる充実を期待する子育て支援施策についてお答えください。
(当てはまる番号すべてに○)

- 町に期待する子育て支援施策は、「児童手当制度の充実や税制度での優遇など、経済的な支援を充実して欲しい(40.7%)」及び「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい(40.5%)」が拮抗し、次いで「児童館など、子ども同士が安心して集まれる身近な場を充実して欲しい(38.7%)」となっています。
- 地区別では、明倫地区は「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」が5割強となっています。

【小学生】町に期待する子育て支援施策
(複数回答)



※前回調査では選択肢なし

地区別：上位3位

	1位	2位	3位
成美地区 107 件	児童手当制度の充実や税制度での優遇など、経済的な支援を充実して欲しい (45.8%)	児童館など、子ども同士が安心して集まれる身近な場を充実して欲しい (44.9%)	子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい (39.3%)
明倫地区 90 件	子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい (52.2%)	児童手当制度の充実や税制度での優遇など、経済的な支援を充実して欲しい (47.8%)	児童館など、子ども同士が安心して集まれる身近な場を充実して欲しい (46.7%)
足柄地区 61 件	児童手当制度の充実や税制度での優遇など、経済的な支援を充実して欲しい (39.3%)	子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい (36.1%)	児童館など、子ども同士が安心して集まれる身近な場を充実して欲しい (32.8%)
北郷地区 203 件	〃 (38.9%)	〃 (37.9%)	〃 (33.5%)
須走地区 147 件	児童館など、子ども同士が安心して集まれる身近な場を充実して欲しい (38.8%)	※同率1位 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい (38.8%)	児童手当制度の充実や税制度での優遇など、経済的な支援を充実して欲しい (36.1%)